

上三川町まちづくりアンケート調査報告書

令和7年3月

上三川町

目次

第1章 調査の実施概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の概要.....	3
3 回収結果.....	3
4 報告書の見方.....	3
第2章 調査の結果.....	5
1 回答者の属性.....	7
2 幸福度やまちへの愛着度、定住意向について.....	11
3 町の住みやすさについて.....	24
4 まちの現状と今後の取組について.....	29
5 あなたの日ごろの行動などについて.....	46
6 協働のまちづくりとコミュニティ活動等への参加について.....	68
7 デジタルの活用について.....	76
8 自由意見.....	83

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的

本調査は、「上三川町第8次総合計画」の策定にあたり、まちづくりに対する町民の意向などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施したものである。

2 調査の概要

調査種別	町民アンケート調査
調査対象	15歳以上の町内在住者
調査方法	郵送配布、郵送回収・インターネット経由での回収
調査期間	令和6年10月1日（火）～10月15日（火）

3 回収結果

配付数	有効回収数			有効回答率
			合計	
	郵送	Webフォーム		
3,000件	998件	205件	1,203件	40.1%

4 報告書の見方

- (1) グラフ中の「n」(net)は、その質問への回答者数を表しています。
- (2) 集計では、その質問の回答者数を基数として小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (3) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問では、通常その回答比率の合計は100%を超えます。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等が得られなかった回答を除いているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数が異なる場合があります。
- (5) 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。
- (6) クロス集計結果では、属性の回答者数が少数の場合、割合が極端な値になりやすいため、参考にとどめます。また、属性別の結果に顕著な差がない場合、集計結果は参考までの掲載とし、本文中では触れないものとします。
- (7) 前回調査は令和元年度、前々回調査は平成26年度に実施した調査との比較を行っています。

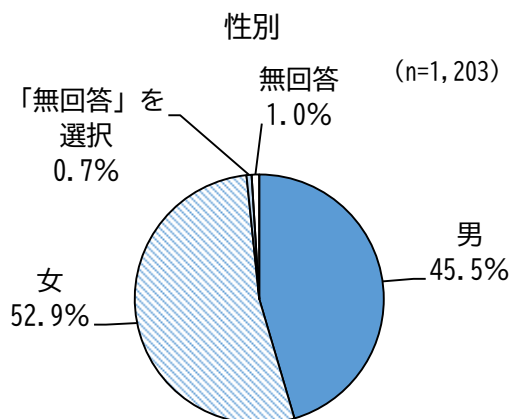
第2章 調査の結果

1 回答者の属性

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。(令和6年9月1日現在でお答え下さい)

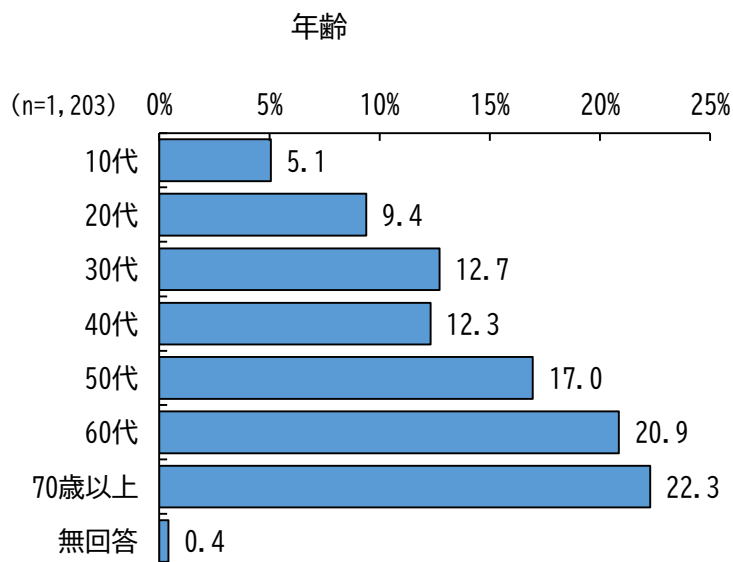
(1) あなたの性別

性別は、「女」52.9%、男「45.5%」、「無回答」を選択「0.7%」となっています。



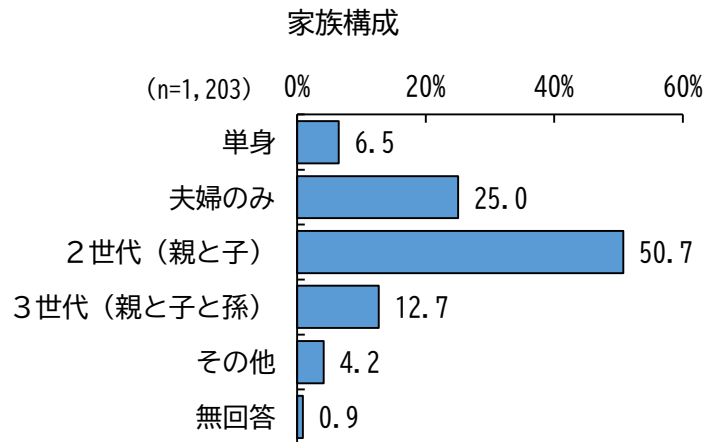
(2) あなたの年齢

年齢は、「70歳以上」22.3%が最も多く、次いで「60代」20.9%、「50代」17.0%と続きます。



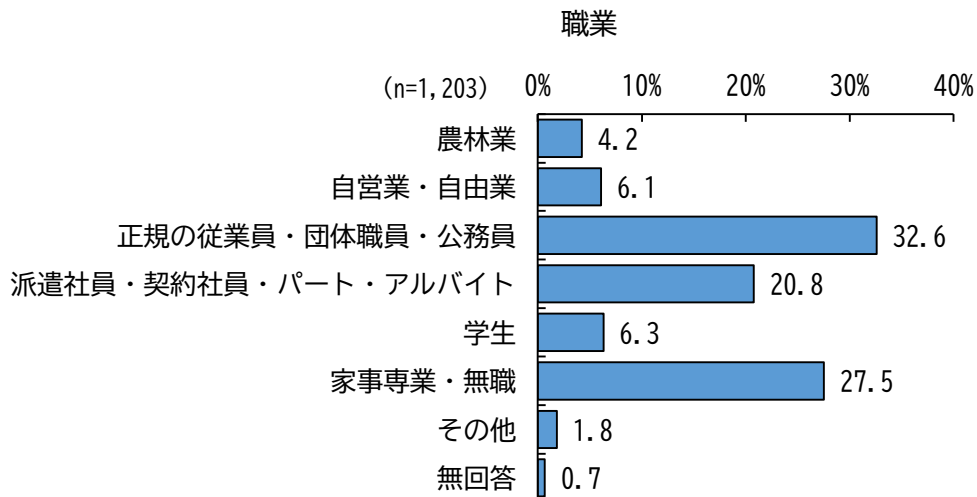
(3) あなたの家族構成

家族構成は、「2世代（親と子）」50.7%が最も多く、次いで「夫婦のみ」25.0%、「3世代（親と子と孫）」12.7%、「単身」6.5%、「その他」4.2%となっています。



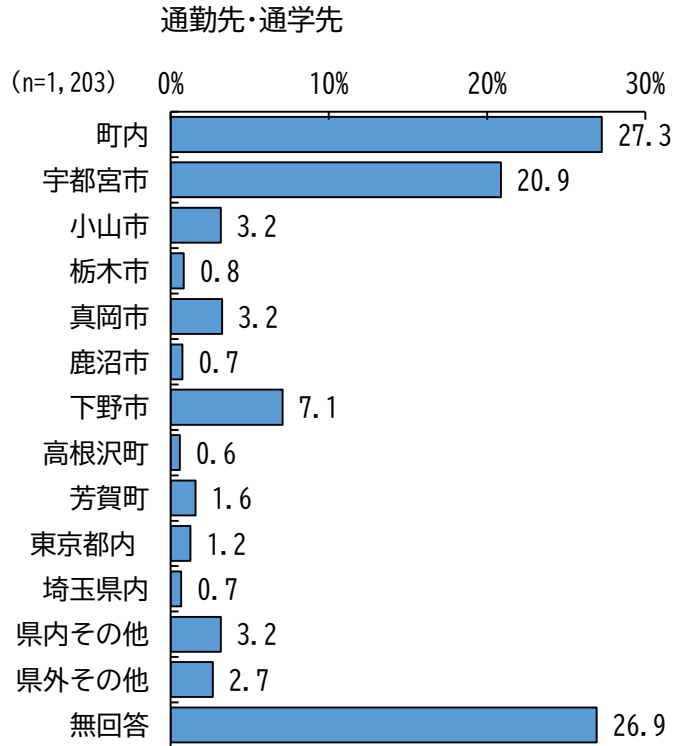
(4) あなたの職業

職業は、「正規の従業員・団体職員・公務員」32.6%が最も多く、次いで「家事専業・無職」27.5%、「派遣職員・契約社員・パート・アルバイト」20.8%などとなっています。



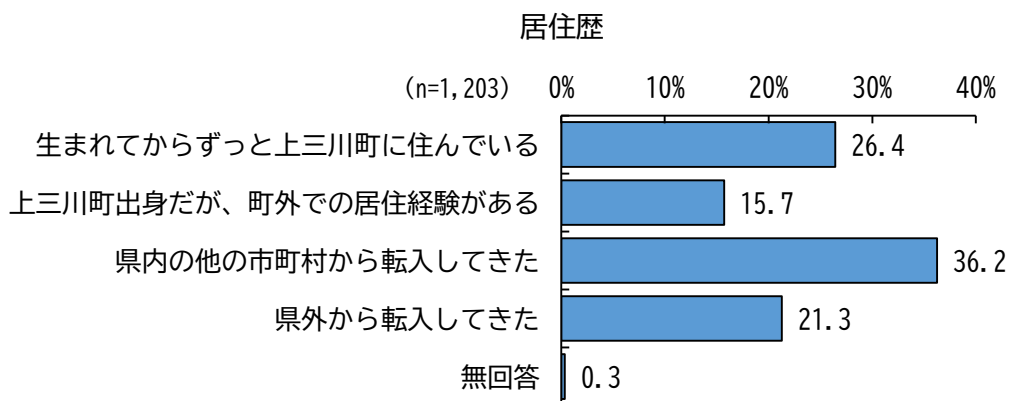
(5) あなたの通勤先・通学先

通勤先・通学先は、「町内」27.3%が最も多く、次いで「宇都宮市」20.9%、「下野市」7.1%、「小山市」「真岡市」「県内その他」いずれも3.2%、「県外その他」2.7%と続きます。



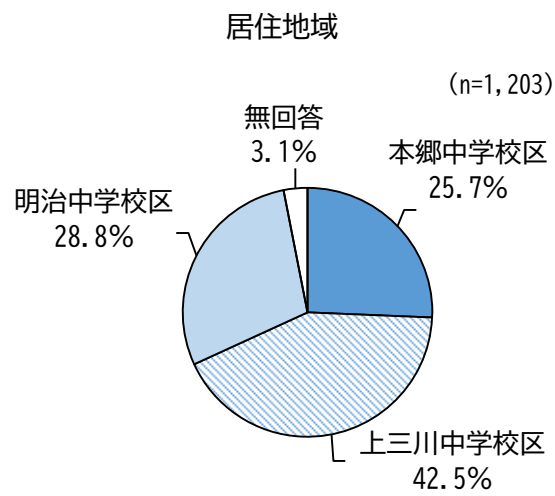
(6) あなたの居住歴

居住歴は、「県内の他の市町村から転入してきた」36.2%が最も多く、次いで「生まれてからずっと上三川町に住んでいる」26.4%、「県外から転入してきた」21.3%、「上三川町出身だが、町外での居住経験がある」15.7%となっています。



(7) あなたの居住地

居住地は、「上三川中学校区」42.5%、「明治中学校区」28.8%、「本郷中学校区」25.7%となっています。



2 幸福度やまちへの愛着度、定住意向について

問2 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点ぐらいになると思いますか。該当する点数に○をしてください。

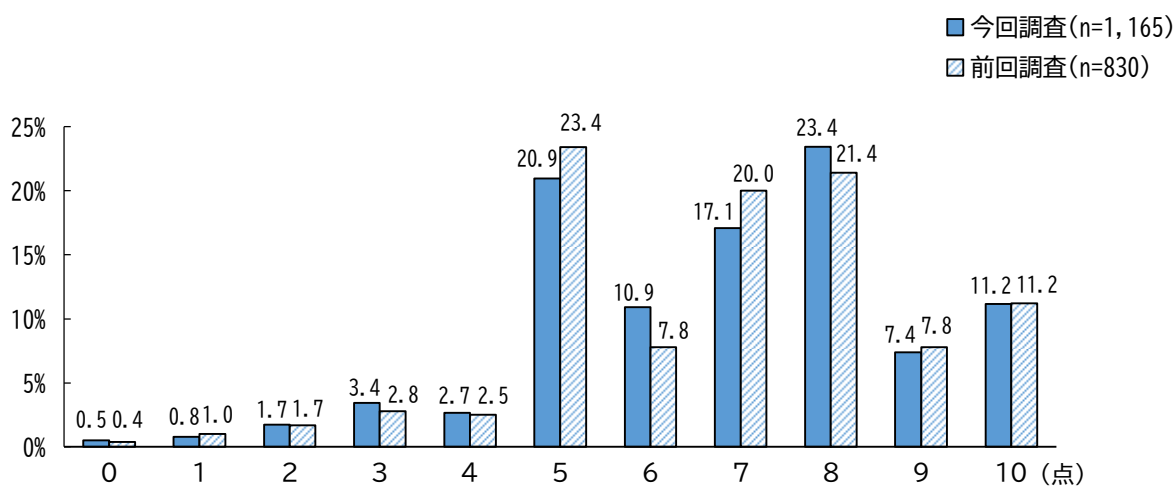
とても不幸せ					どちらとも いえない					とても 幸せ
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

前回調査との比較を行うため、無回答を除いた再集計を行っています。幸福度については、「とても幸せ」を10点、「どちらともいえない」を5点、「とても不幸せ」を0点としています。

「8点」の割合が最も多く23.4%、次いで「5点」20.9%、「7点」17.1%と続きます。全体の平均値は「6.8点」となります。

前回調査では、「5点」23.4%が最も多く、次いで「8点」21.4%となっています。「5点」は減少し、「8点」は増加しています。全体の平均値は「6.8点」で今回調査と同様です。

現在の幸福度(前回調査との比較)



【性別】

男女ともに「8点」が最も多く、男性 24.5%、女性 23.0%であり、次いでどちらともいえないの「5点」が男性 22.8%、女性 18.6%となっています。「9点」「10点」は女性が男性を上回ります。「0点」から「4点」の合計は男性 11.1%、女性 8.2%です。

平均値は、男性「6.6点」、女性「7.0点」、女性が男性を上回ります。

【年代別】

10代から60代では「8点」が最も多くなっていますが、70歳以上では「5点」が最も多くなっています。「0点」から「4点」の合計は、30代 13.6%、40代 13.3%、20代 11.7%、50代 10.2%などです。

【居住歴別】

生まれてからずっと住んでいる人、Uターンで最も多いのは「5点」、県内他市町村から転入してきた人、県外から転入してきた人で最も多いのは「8点」であり、生まれてからずっと住んでいる人及びUターンと、転入してきた人たちとの違いが見られます。

【居住地域別】

いずれの地域も「8点」が最も多くなっていますが、明治中学校区が他の地区を上回ります。

現在の幸福度(属性別)

単位:%

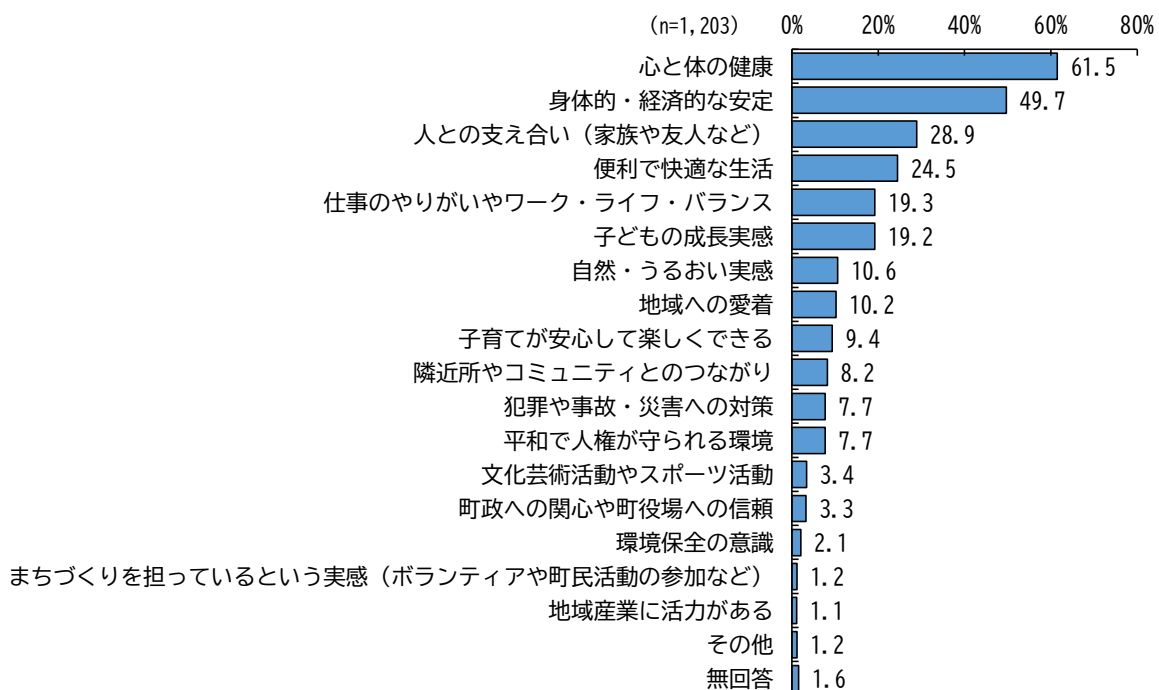
		(n=)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
性別	男	527	0.0	0.6	2.1	4.7	2.7	22.8	10.2	18.6	24.5	5.1	8.7
	女	618	1.0	0.8	1.5	2.3	2.6	18.6	11.8	16.0	23.0	9.4	13.1
年代別	10代	58	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	12.1	10.3	17.2	22.4	13.8	20.7
	20代	107	0.9	0.9	5.6	0.9	3.7	15.0	11.2	17.8	22.4	4.7	16.8
	30代	148	0.7	0.7	3.4	6.1	2.7	18.9	9.5	19.6	21.6	6.1	10.8
	40代	142	1.4	2.1	1.4	3.5	4.9	18.3	11.3	14.8	26.1	6.3	12.0
	50代	196	0.5	0.0	0.5	6.6	2.6	18.9	9.2	18.9	27.0	4.1	11.7
	60代	244	0.4	0.8	1.6	1.6	2.9	23.0	9.8	17.6	25.0	9.8	7.4
	70歳以上	262	0.0	0.8	0.8	2.3	1.5	27.9	13.7	14.9	19.8	8.4	9.9
居住歴別	生まれてからずっと	305	0.7	1.0	2.3	2.3	2.6	23.9	9.8	15.1	21.6	6.6	14.1
	Uターン	182	0.0	0.0	1.6	4.4	2.7	24.7	10.4	18.7	23.1	6.6	7.7
	県内他市町村から転入	424	0.9	1.2	1.4	2.1	3.1	19.3	12.0	16.3	24.8	7.3	11.6
	県外から転入	250	0.0	0.4	1.6	6.4	2.0	17.2	10.8	19.6	23.6	8.8	9.6
地域別	本郷中学校区	294	0.3	0.3	1.0	2.4	2.0	23.1	12.2	17.3	23.8	7.1	10.2
	上三川中学校区	504	0.4	0.8	2.4	5.0	2.8	19.2	10.1	16.3	22.6	8.5	9.9
	明治中学校区	340	0.9	1.2	1.5	2.1	2.9	18.8	10.9	18.2	24.4	5.6	13.5

問3 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。あなたのお気持ちに近い番号を3つまで選んでください。(3つまで○印)

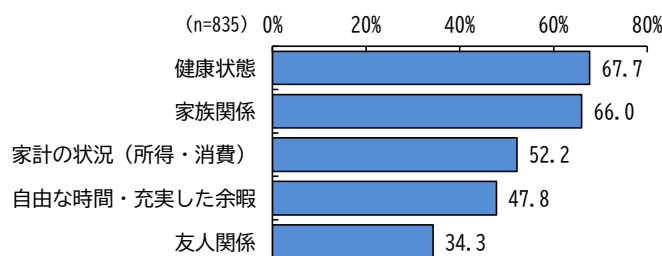
幸福感を判断する際に重視する事項は、「心と体の健康」61.5%が最も多く、次いで「身体的・経済的な安定」49.7%、「人との支えあい(家族や友人など)」28.9%、「便利で快適な生活」24.5%、「仕事のやりがいやワーク・ライフ・バランス」19.3%と続きます。

前回調査とは選択肢が違うため単純比較はできませんが、前回調査では「健康状況」「家族関係」「家計の状況(所得・消費)」と続いており、「家族関係」の重視度がやや低くなっています。

幸福感を判断する際に重視した事項



幸福感の判断に重視する事項(前回調査・上位5位)



【性別】

「心と身体の健康」は女性62.3%、男性60.7%といずれも最も多くなっています。男性が女性を上回るのは「身体的・経済的な安定」「仕事のやりがいやワーク・ライフ・バランス」「地域への愛着」などに対し、女性が男性を上回るのは「人との支えあい(家族や友人など)」「子どもの成長実感」「子育てが安心して楽しくできる」などとなっています。なかでも「人との支えあい(家族や友人など)」については、女性32.7%が男性24.7%を大きく上回ります。

【年代別】

いずれの年代も「心と身体の健康」が最も多くあげられています。30代及び50代のみ他の年代の6割台を下回る5割台となっています。「心と体の健康」の次にあげられているのは、20代以上では「身体的・経済的な安定」ですが、10代のみ「人との支え合い（家族や友人など）」があげられ、47.6%と他の年代を大きく上回ります。

幸福感を判断する際に重視した事項(属性別)

単位: %

		(n=)	心と体の健康	身体的・経済的な安定	人との支え合い(家族や友人など)	便利で快適な生活	仕事のやりがいやワーク・ライフ・バランス	子どもの成長実感	自然・つるおい実感	地域への愛着	子育てが安心して楽しくできる	隣近所やコミュニティのつながり
性別	男	547	60.7	52.3	24.7	24.1	21.0	17.0	11.7	11.9	7.3	9.0
	女	636	62.3	47.5	32.7	24.7	17.9	21.1	10.1	8.6	11.3	7.2
年代別	10代	61	65.6	37.7	47.5	34.4	13.1	0.0	11.5	11.5	0.0	8.2
	20代	113	63.7	39.8	31.0	32.7	22.1	3.5	13.3	9.7	9.7	4.4
	30代	153	52.9	45.8	25.5	23.5	26.8	30.7	7.2	5.2	32.7	5.2
	40代	148	66.2	60.8	18.9	16.2	25.7	37.8	3.4	10.1	18.9	2.0
	50代	204	58.8	53.9	21.1	27.0	28.9	26.5	10.8	9.3	6.4	7.8
	60代	251	64.9	55.0	27.5	23.5	17.9	13.1	11.2	8.4	2.8	7.6
	70歳以上	268	60.4	45.5	39.2	22.8	5.6	13.4	14.9	15.3	1.5	16.0
居住歴別	生まれてからずっと	318	63.2	43.7	35.5	22.6	19.8	13.8	10.7	12.9	5.3	8.2
	Uターン	189	59.3	52.4	25.9	16.9	22.2	18.0	11.6	16.9	6.3	7.9
	県内他市町村から転入	436	60.1	50.7	30.0	28.4	17.9	22.7	10.8	5.5	14.4	9.2
	県外から転入	256	63.7	53.9	21.5	25.0	18.8	21.1	9.8	9.8	7.8	7.0
地域別	居住 本郷中学校区	309	64.4	51.5	26.5	26.9	17.2	20.4	12.0	11.3	7.1	8.7
	上三川中学校区	511	62.4	51.3	29.4	23.3	19.6	19.2	9.4	11.9	11.0	7.4
	明治中学校区	346	57.8	48.3	30.6	23.7	21.7	19.1	10.7	6.6	8.7	8.4

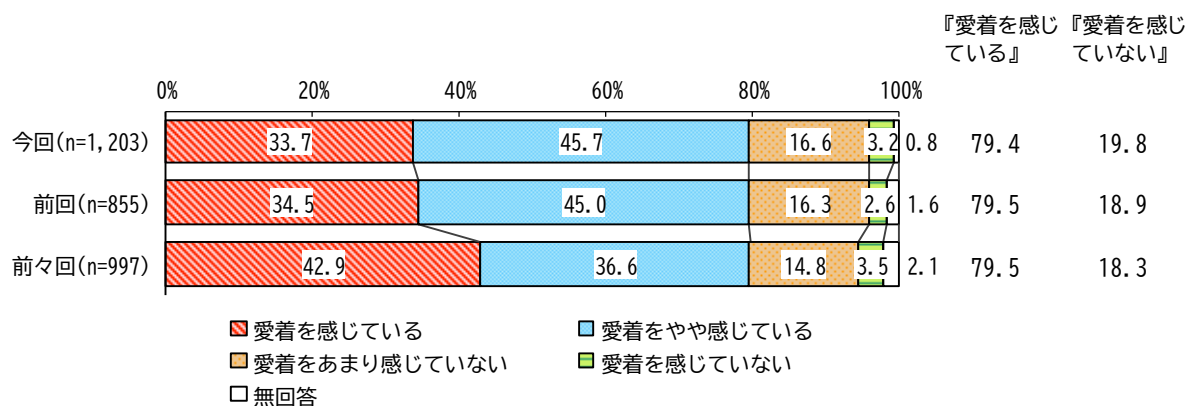
		(n=)	策 犯罪や事故・災害への対	環 境 平和で人権が守られる	活 動 文化芸術活動やスポーツ	町 政への関心や町役場への信頼	環 境保全の意識	ま ちづくりを担っているという実感(ボランティアや町民活動の参加など)	地 域産業に活力がある	そ の 他	無 回 答
性別	男	547	8.8	5.3	4.4	3.5	3.1	1.5	1.8	1.5	1.8
	女	636	7.1	9.6	2.5	3.0	1.3	0.9	0.5	0.9	1.4
年代別	10代	61	4.9	11.5	6.6	1.6	1.6	0.0	3.3	0.0	1.6
	20代	113	12.4	11.5	2.7	3.5	1.8	0.9	0.0	0.9	0.0
	30代	153	5.9	5.2	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.7
	40代	148	7.4	7.4	4.1	2.0	0.7	0.0	0.7	2.0	0.7
	50代	204	6.4	5.4	1.5	1.5	0.5	0.0	1.0	1.0	1.5
	60代	251	7.6	9.6	4.4	3.6	3.6	1.6	1.6	1.2	2.4
	70歳以上	268	9.0	6.3	2.6	7.1	4.1	3.4	1.5	0.4	2.6
居住歴別	生まれてからずっと	318	7.5	10.7	2.8	4.4	2.8	1.3	2.2	1.3	2.5
	Uターン	189	6.3	7.4	5.8	2.1	2.6	0.5	0.5	1.1	0.5
	県内他市町村から転入	436	8.0	7.1	3.0	1.1	1.4	0.9	0.7	1.4	1.1
	県外から転入	256	8.6	5.1	2.7	6.3	2.0	2.0	0.8	0.8	2.0
地域別	居住 本郷中学校区	309	6.8	7.8	4.5	3.6	2.3	0.6	0.6	0.0	1.0
	上三川中学校区	511	6.8	7.8	3.1	2.5	1.2	1.2	1.0	2.3	2.0
	明治中学校区	346	9.0	7.5	2.9	3.8	3.2	1.4	1.7	0.3	1.2

問4 あなたは、上三川町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。(1つに○印)

「自分のまち」としての愛着については、「愛着を感じている」33.7%、「愛着をやや感じている」45.7%、合わせた『愛着を感じている』は79.4%に対し、「愛着を感じていない」3.2%、「愛着をあまり感じていない」16.6%、合わせた『愛着を感じていない』19.8%となっています。

前回調査及び前々回調査との比較では、「愛着を感じている」は前々回調査の42.9%から大きく減少していますが、『愛着を感じている』は79%台で推移しています。一方、『愛着を感じていない』はやや増えています。

上三川町への「自分のまち」としての愛着度(経年比較)



【性別】

『愛着を感じている』は女性80.8%が男性78.1%をやや上回ります。『愛着を感じていない』は男性20.6%が女性18.7%を上回ります。

【年代別】

『愛着を感じている』は10代86.9%、70代以上85.0%、60代80.5%の順であり、50代が73.5%と少なくなっています。これに対し、『愛着を感じていない』は50代で25.0%、20代23.9%、40代22.3%、30代22.2%などとなっています。

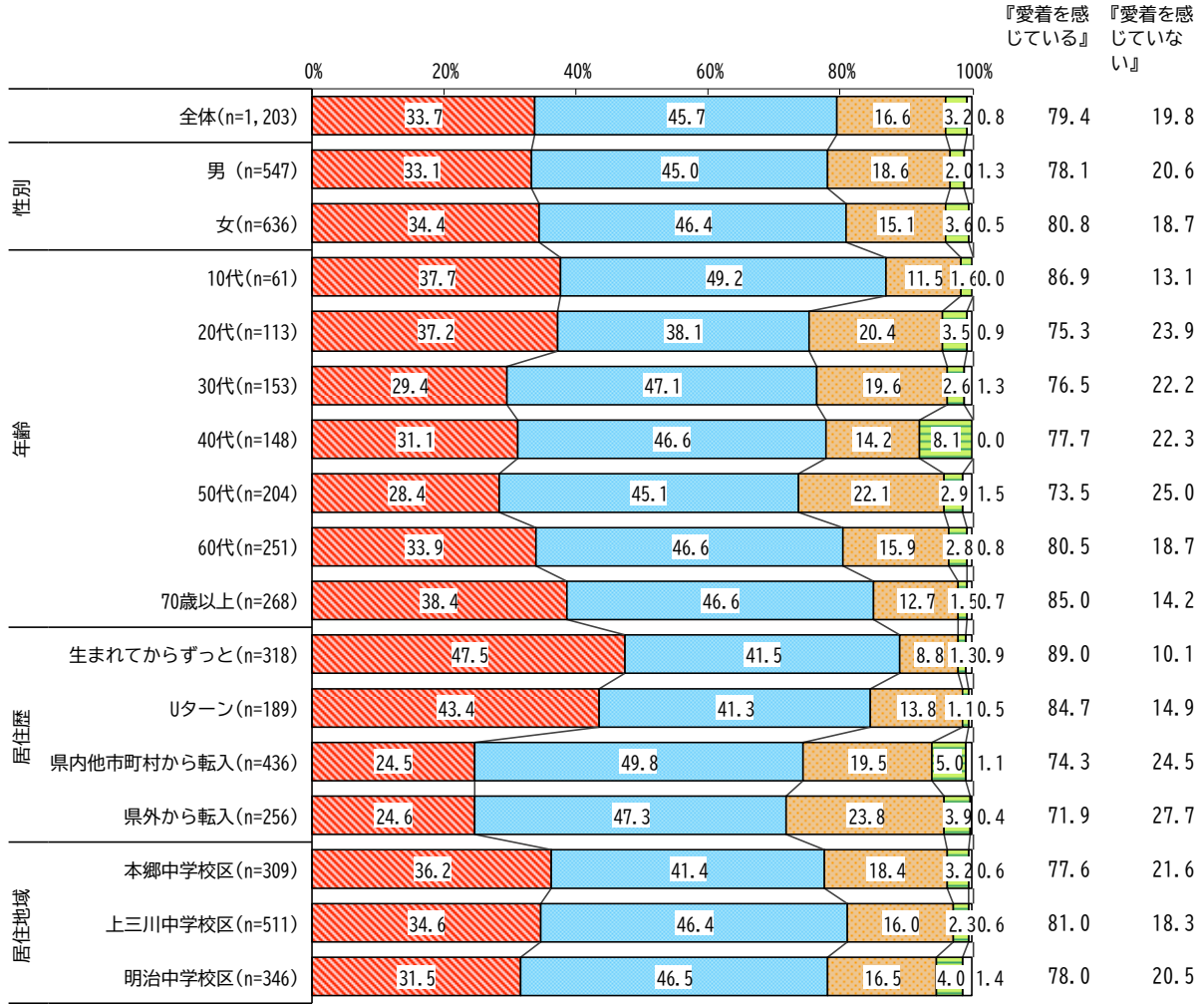
【居住歴別】

『愛着を感じている』は生まれてからずっと住んでいる人、Uターンで8割台ですが、県内他市町村から転入してきた人、県外から転入してきた人では7割台にとどまります。

【居住地域別】

『愛着を感じている』は上三川中学校区81.0%、明治中学校区78.0%、本郷中学校区77.6%となっています。

上三川町への「自分のまち」としての愛着度(属性別)



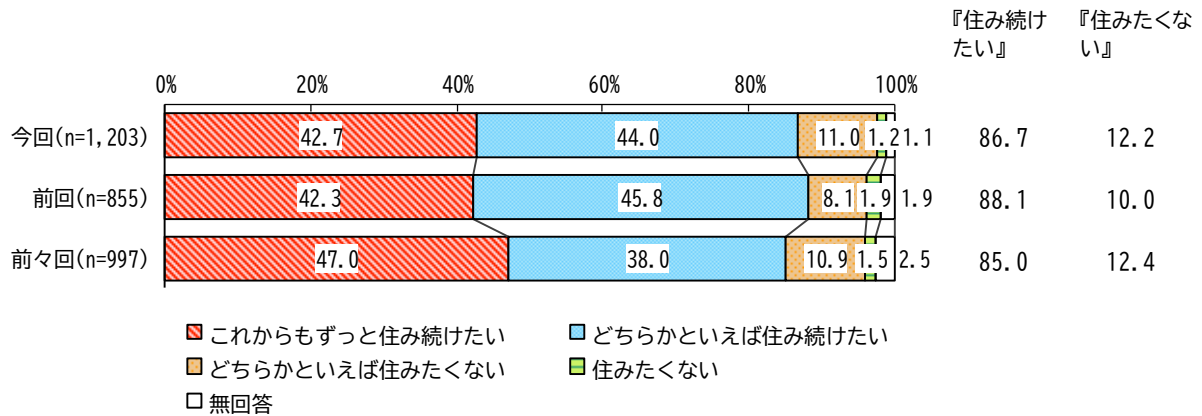
- 『愛着を感じている』
- 『愛着をやや感じている』
- 『愛着をあまり感じていない』
- 『愛着を感じていない』
- 無回答

問5 あなたは、これからも上三川町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

今後の定住意向について、「これからもずっと住み続けたい」42.7%、「どちらかといえば住み続けたい」44.0%、合わせた『住み続けたい』は86.7%に対し、「どちらかといえば住みたくない」11.0%、「住みたくない」1.2%、合わせた『住みたくない』は12.2%となっています。

前回調査及び前々回調査との比較では、『住み続けたい』は前回調査でやや増加したものの、今回調査ではやや減少しています。

今後の上三川町での定住意向(経年比較)



【性別】

「これからもずっと住み続けたい」は男性46.1%が女性40.1%を上回り、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』についても男性88.1%が女性86.0%を上回ります。

【年代別】

「これからもずっと住み続けたい」は年齢とともに増加し、70歳以上では6割を超えています。『住み続けたい』は、10代では7割台ですが、20代から60代では8割台、70歳以上では9割を超えています。『住みたくない』は10代23.0%、50代17.2%、20代15.1%の順となっています。

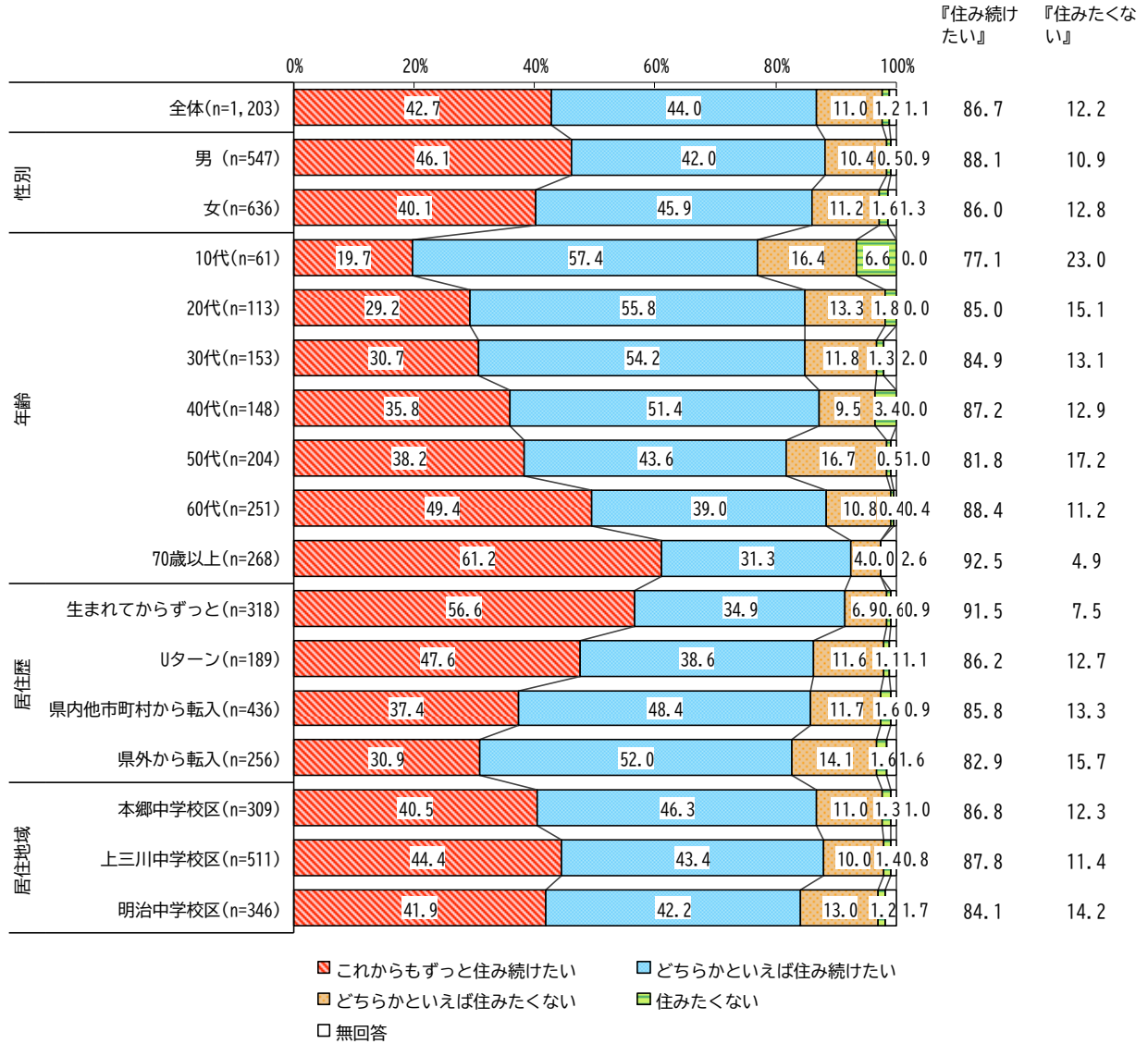
【居住歴別】

「これからもずっと住み続けたい」は生まれてからずっと住んでいる人は56.6%ですが、Uターン47.6%、県内他市町村から転入してきた人37.4%、県外から転入してきた人30.9%であり、『住み続けたい』についても生まれてからずっと住んでいる人91.5%、Uターン86.2%、県内他市町村から転入してきた人85.8%、県外から転入してきた人82.9%の順となっています。

【居住地域別】

「これからもずっと住み続けたい」は上三川中学校区 44.4%、明治中学校区 41.9%、本郷中学校区 40.5%となっています。『住み続けたい』については上三川中学校区 87.8%、本郷中学校区 86.8%、明治中学校区 84.1%となっています。

今後の上三川町での定住意向(属性別)

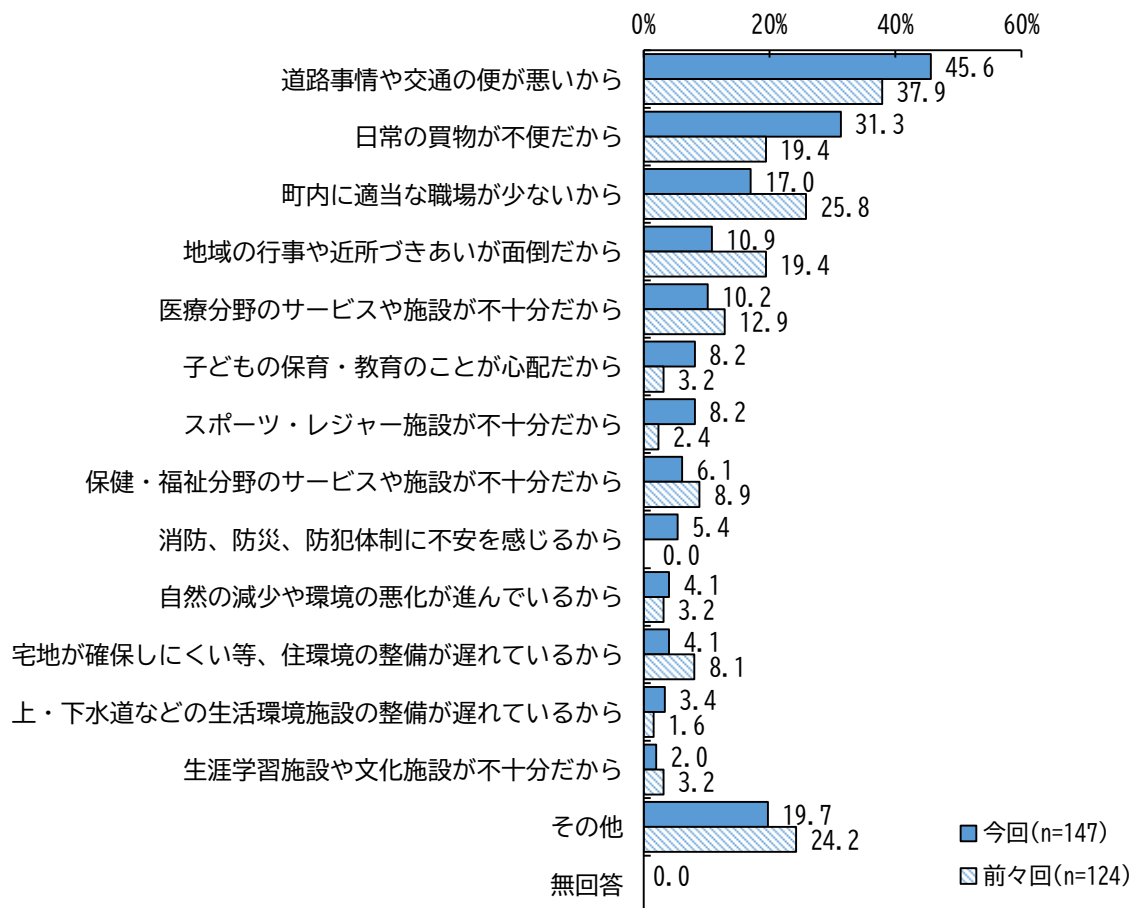


問6 問5で「3. どちらかといえば住みたくない」または「4. 住みたくない」に○印をつけた方にうかがいます。 その主な理由はなんですか。(2つまで○印)

定住したくない理由として最も多いのが、「道路事情や交通の便が悪いから」45.6%、次いで「日常の買物が不便だから」31.3%、「町内に適当な職場が少ないから」17.0%、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」10.9%、「医療分野のサービスや施設が不十分だから」10.2%と続きます。

前々回調査との比較では、「日常の買物が不便だから」が10ポイント以上、「道路事情や交通の便が悪いから」が約8ポイント増加しているのに対し、「町内に適当な職場が少ないから」、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」がそれぞれ約8ポイント減少しています。また、前々回調査よりも増えている項目は、「子供の保育・教育のことが心配だから」「スポーツ・レジャー施設が不十分だから」などがあげられています。

定住したくない理由(前々回調査との比較)



●「その他」の意見の趣旨 ※()内の数値は意見数

「出身地へ戻る予定がある」(3)、「子育て世帯への支援が少ない」(2)、「交通や移動が不便」(2)などの回答があげられています。

【性別】

男女ともに「道路事情や交通の便が悪いから」「日常の買い物が不便だから」の順で多くあげられています。いずれも女性の各 53.1%、38.3%が男性の各 36.7%、21.7%を大きく上回ります。さらに、女性が男性を上回る項目として「町内に適当な職場が少ないから」「医療分野のサービスや施設が不十分だから」「子供の保育・教育のことが心配だから」があげられています。

【年代別】

10代、20代では「町内に適当な職場が少ないから」「道路事情や交通の便が悪いから」「日常の買い物が不便だから」にほぼ集約されます。40代から60代では「道路事情や交通の便が悪いから」、70歳以上で「日常の買い物が不便だから」が最も多くなっています。

【居住歴別】

生まれてからずっと住んでいる人では「町内に適当な職場が少ないから」「日常の買い物が不便だから」「道路事情や交通の便が悪いから」が同程度であげられています。Uターン、県内他市町村から転入してきた人、県外から転入してきた人では「道路事情や交通の便が悪いから」が最も多くなっています。なおUターンでは、「町内に適当な職場が少ないから」も多くなっています。

【居住地域別】

本郷中学校区及び上三川中学校区では「道路事情や交通の便が悪いから」、明治中学校地区では「日常の買物が不便だから」が最も多くなっています。

定住したくない理由(属性別)

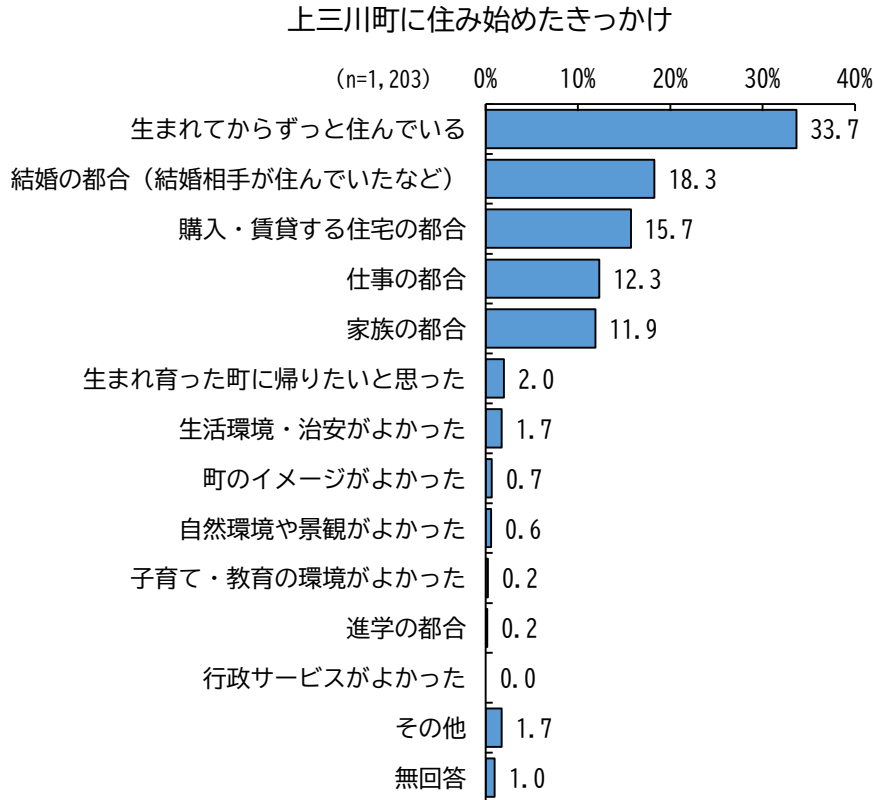
単位: %

		(n=)	道路事情や交通の便が悪 いから	日常の買物が不便だから	町内に適当な職場が少 ないから	地域の行事や近所づきあ いが面倒だから	医療分野のサービスや施 設が不十分だから	子どもの保育・教育のこ とが心配だから	スポーツ・レジャー施設が 不十分だから	保健・福祉分野のサービ スや施設が不十分だから	消防、防災、防犯体制に 不安を感じるから	自然の減少や環境の悪 化が進んでいるから
性別	男	60	36.7	21.7	11.7	15.0	1.7	0.0	10.0	8.3	8.3	6.7
	女	81	53.1	38.3	19.8	8.6	16.0	13.6	6.2	4.9	2.5	2.5
年代別	10代	14	42.9	35.7	50.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0
	20代	17	58.8	23.5	35.3	11.8	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0
	30代	20	15.0	10.0	10.0	25.0	15.0	40.0	25.0	5.0	10.0	5.0
	40代	19	47.4	42.1	15.8	5.3	21.1	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0
	50代	35	54.3	28.6	8.6	8.6	14.3	2.9	2.9	14.3	5.7	2.9
	60代	28	50.0	35.7	10.7	10.7	3.6	0.0	7.1	7.1	3.6	10.7
	70歳以上	13	38.5	53.8	0.0	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7
居住歴別	生まれてからずっと	24	25.0	25.0	29.2	12.5	0.0	8.3	20.8	4.2	4.2	4.2
	Uターン	24	50.0	41.7	33.3	4.2	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
	県内他市町村から転入	58	44.8	32.8	6.9	8.6	17.2	8.6	5.2	3.4	10.3	5.2
	県外から転入	40	55.0	27.5	12.5	17.5	2.5	12.5	5.0	10.0	2.5	5.0
地域別 居住	本郷中学校区	38	57.9	31.6	18.4	7.9	7.9	2.6	5.3	5.3	7.9	2.6
	上三川中学校区	58	48.3	24.1	17.2	15.5	10.3	12.1	5.2	5.2	3.4	5.2
	明治中学校区	49	32.7	38.8	14.3	8.2	10.2	8.2	14.3	8.2	6.1	4.1

		(n=)	住宅が確保しにくい等、住 環境の整備が遅れているか ら	上・下水道などの生活環境 施設の整備が遅れているか ら	生涯学習施設や文化施設が 不十分だから	その他	無回答
性別	男	60	8.3	6.7	3.3	31.7	0.0
	女	81	1.2	1.2	1.2	11.1	0.0
年代別	10代	14	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	20代	17	0.0	0.0	0.0	35.3	0.0
	30代	20	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0
	40代	19	10.5	5.3	5.3	10.5	0.0
	50代	35	5.7	2.9	0.0	17.1	0.0
	60代	28	3.6	10.7	3.6	17.9	0.0
	70歳以上	13	7.7	0.0	7.7	15.4	0.0
居住歴別	生まれてからずっと	24	4.2	8.3	0.0	25.0	0.0
	Uターン	24	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	県内他市町村から転入	58	6.9	5.2	3.4	17.2	0.0
	県外から転入	40	2.5	0.0	2.5	25.0	0.0
地域別 居住	本郷中学校区	38	2.6	5.3	2.6	15.8	0.0
	上三川中学校区	58	3.4	3.4	0.0	25.9	0.0
	明治中学校区	49	6.1	2.0	4.1	16.3	0.0

問7 上三川町に住み始めたきっかけを教えてください。(1つに○印)

「生まれてからずっと住んでいる」33.7%、次いで「結婚の都合(結婚相手が住んでいたなど)」18.3%、「購入・賃貸する住宅の都合」15.7%、「仕事の都合」12.3%、「家族の都合」11.9%と続きます。



【性別】

「生まれてからずっと住んでいる」は男性 39.7%、女性 28.6%となっています。「仕事の都合」は男性 20.7%が女性 5.2%を大きく上回りますが、「結婚の都合(結婚相手が住んでいたなど)」「家族の都合」などは女性が男性を上回ります。

【年代別】

「生まれてからずっと住んでいる」は10代 77.0%、20代 53.1%、70歳以上 36.6%の順となっています。30代は「生まれてからずっと住んでいる」27.5%、「結婚の都合(結婚相手が住んでいたなど)」19.0%、「購入・賃貸する住宅の都合」18.3%、40代は「結婚の都合(結婚相手が住んでいたなど)」27.0%、「生まれてからずっと住んでいる」26.4%、「家族の都合」12.8%、50代は「購入・賃貸する住宅の都合」27.5%、「生まれてからずっと住んでいる」21.1%、「結婚の都合(結婚相手が住んでいたなど)」18.1%となっています。「購入・賃貸する住宅の都合」は50代で最も多い割合となっています。

【居住歴別】

県内他市町村から転入してきた人では「結婚の都合(結婚相手が住んでいたなど)」、
 県外から転入してきた人は「仕事の都合」がそれぞれ4割弱と最も多い割合となっています。

【居住地域別】

すべての地域で「生まれてからずっと住んでいる」が最も多くなっていますが、次いで本郷中学校区と明治中学校区では「購入・賃貸する住宅の都合」、上三川中学校区では「結婚の都合(結婚相手が住んでいたなど)」があげられています。

上三川町に住み始めたきっかけ(属性別)

単位: %

		(n=)	生まれてからずっと住んでいる	結婚の都合(結婚相手が住んでいたなど)	購入・賃貸する住宅の都合	仕事の都合	家族の都合	生まれ育った町に帰りたいと思った	生活環境・治安がよかった	町のイメージがよかった	自然環境や景観がよかった	子育て・教育の環境がよかった
性別	男	547	39.7	9.3	12.6	20.7	10.4	2.4	1.5	0.9	0.5	0.0
	女	636	28.6	25.8	18.4	5.2	12.9	1.7	2.0	0.5	0.6	0.5
年代別	10代	61	77.0	0.0	1.6	6.6	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	113	53.1	5.3	8.0	10.6	17.7	0.9	0.0	1.8	0.0	0.0
	30代	153	27.5	19.0	18.3	11.1	13.7	1.3	2.6	1.3	0.7	0.0
	40代	148	26.4	27.0	12.8	7.4	15.5	2.7	3.4	1.4	0.7	0.7
	50代	204	21.1	18.1	27.5	12.3	10.8	2.5	2.5	0.5	0.0	0.5
	60代	251	30.3	23.5	15.9	13.5	9.2	2.8	1.6	0.0	1.6	0.0
	70歳以上	268	36.6	18.3	13.1	16.8	8.6	1.9	1.1	0.4	0.4	0.0
居住歴別	生まれてからずっと	318	97.8	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
	Uターン	189	49.7	2.1	6.9	1.1	22.8	12.2	1.1	0.0	0.0	0.0
	県内他市町村から転入	436	0.0	37.8	29.8	11.5	11.2	0.2	3.2	1.6	0.7	0.5
	県外から転入	256	0.0	19.9	17.2	37.5	18.0	0.0	2.0	0.0	1.6	0.4
地域別 居住	本郷中学校区	309	37.5	15.5	19.4	10.0	7.4	2.9	2.6	0.3	1.0	0.0
	上三川中学校区	511	33.7	20.5	10.4	13.5	13.9	2.2	1.6	0.8	0.0	0.2
	明治中学校区	346	32.7	16.5	19.4	11.8	13.0	0.9	1.2	0.6	1.2	0.6

		(n=)	進学の都合	行政サービスがよかった	その他	無回答
性別	男	547	0.0	0.0	1.3	0.7
	女	636	0.3	0.0	2.2	1.3
年代別	10代	61	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	113	0.0	0.0	2.7	0.0
	30代	153	0.7	0.0	1.3	2.6
	40代	148	0.0	0.0	1.4	0.7
	50代	204	0.0	0.0	2.9	1.5
	60代	251	0.4	0.0	1.2	0.0
	70歳以上	268	0.0	0.0	1.9	1.1
居住歴別	生まれてからずっと	318	0.0	0.0	0.3	0.6
	Uターン	189	0.5	0.0	3.2	0.5
	県内他市町村から転入	436	0.2	0.0	2.1	1.1
	県外から転入	256	0.0	0.0	2.0	1.6
地域別 居住	本郷中学校区	309	0.0	0.0	2.6	0.6
	上三川中学校区	511	0.2	0.0	1.8	1.4
	明治中学校区	346	0.3	0.0	1.2	0.9

3 町の住みやすさについて

問8 あなたが感じる「上三川町のくらしの実感」を教えてください。また、あなたにとっての「住みやすさを考える上での重要度」を教えてください。(それぞれに1つ○印)

(1) くらしの実感

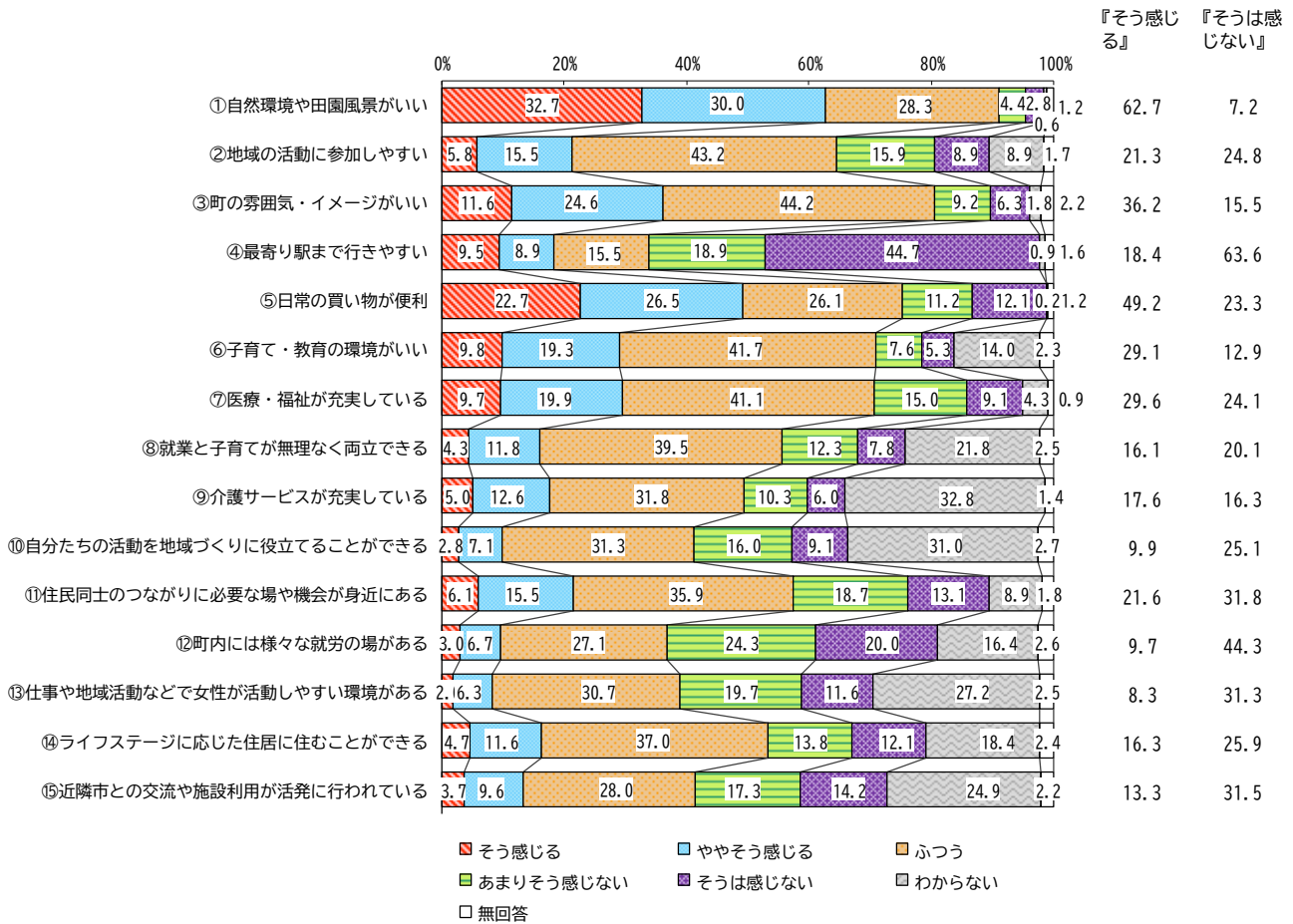
くらしの実感で「そう感じる」が多いのは、「自然環境や田園風景がいい」32.7%、「日常の買い物が便利」22.7%、「町の雰囲気・イメージがいい」11.6%、「子育て・教育の環境がいい」9.8%、「医療・福祉が充実している」9.7%の順となっています。

「ややそう感じる」を合わせた『そう感じる』は、「自然環境や田園風景がいい」62.7%、「日常の買い物が便利」49.2%、「町の雰囲気・イメージがいい」36.2%、「医療・福祉が充実している」29.6%、「子育て・教育の環境がいい」29.1%、「住民同士のつながりに必要な場や機会が身近にある」21.6%、「地域の活動に参加しやすい」21.3%などとなっています。住民同士のつながり、地域の活動が加わります。

これに対し、「そうは感じない」が多いのは、「最寄り駅まで行きやすい」44.9%で、「町内には様々な就労の場がある」20.0%、「近隣市との交流や施設利用が活発に行われている」14.2%、「住民同士のつながりに必要な場や機会が身近にある」13.1%、「日常の買い物が便利」「ライフステージに応じた住居に住むことができる」とともに12.1%、「仕事や地域活動などで女性が活動しやすい環境がある」11.6%の順となっています。

「あまりそう感じない」を合わせた『そうは感じない』は、「最寄り駅まで行きやすい」63.6%、「町内には様々な就労の場がある」44.3%、「住民同士のつながりに必要な場や機会が身近にある」31.8%、「近隣市との交流や施設利用が活発に行われている」31.5%、「仕事や地域活動などで女性が活動しやすい環境がある」31.3%であり、「そうは感じない」と重なります。

上三川町のくらしの実感



【性別】

『そう感じる』の上位5位は全体と同じですが、いずれも女性が男性を上回ります。

【年代別】

全体での上位5位を年代別で見ると、「自然環境や田園風景がいい」は10代、20代、「日常の買い物が便利」は20代、30代、「町の雰囲気・イメージがいい」「医療・福祉が充実している」は20代、70歳以上、「子育て・教育の環境がいい」は40代で比較的多くあげられています。

上三川町のくらしの実感(『そう感じる』上位5位・属性別)

		単位: %					
		(n=)	1位	2位	3位	4位	5位
			①自然環境や田園風景がいい	⑤日常の買い物が便利	③町の雰囲気・イメージがいい	⑦医療・福祉が充実している	⑥子育て・教育の環境がいい
全体		1,203	62.7	49.2	36.2	29.6	29.1
性別	男	547	61.2	48.4	33.1	27.4	27.0
	女	636	64.2	50.4	39.3	31.7	31.1
年代別	10代	61	68.9	46.0	47.5	29.5	29.5
	20代	113	77.0	62.8	62.0	39.0	31.0
	30代	153	63.4	58.8	45.8	28.8	34.7
	40代	148	62.2	50.0	37.1	27.0	39.2
	50代	204	62.7	46.1	37.2	24.5	32.3
	60代	251	63.0	48.2	26.7	26.7	23.9
	70歳以上	268	54.4	41.8	24.6	33.5	21.6

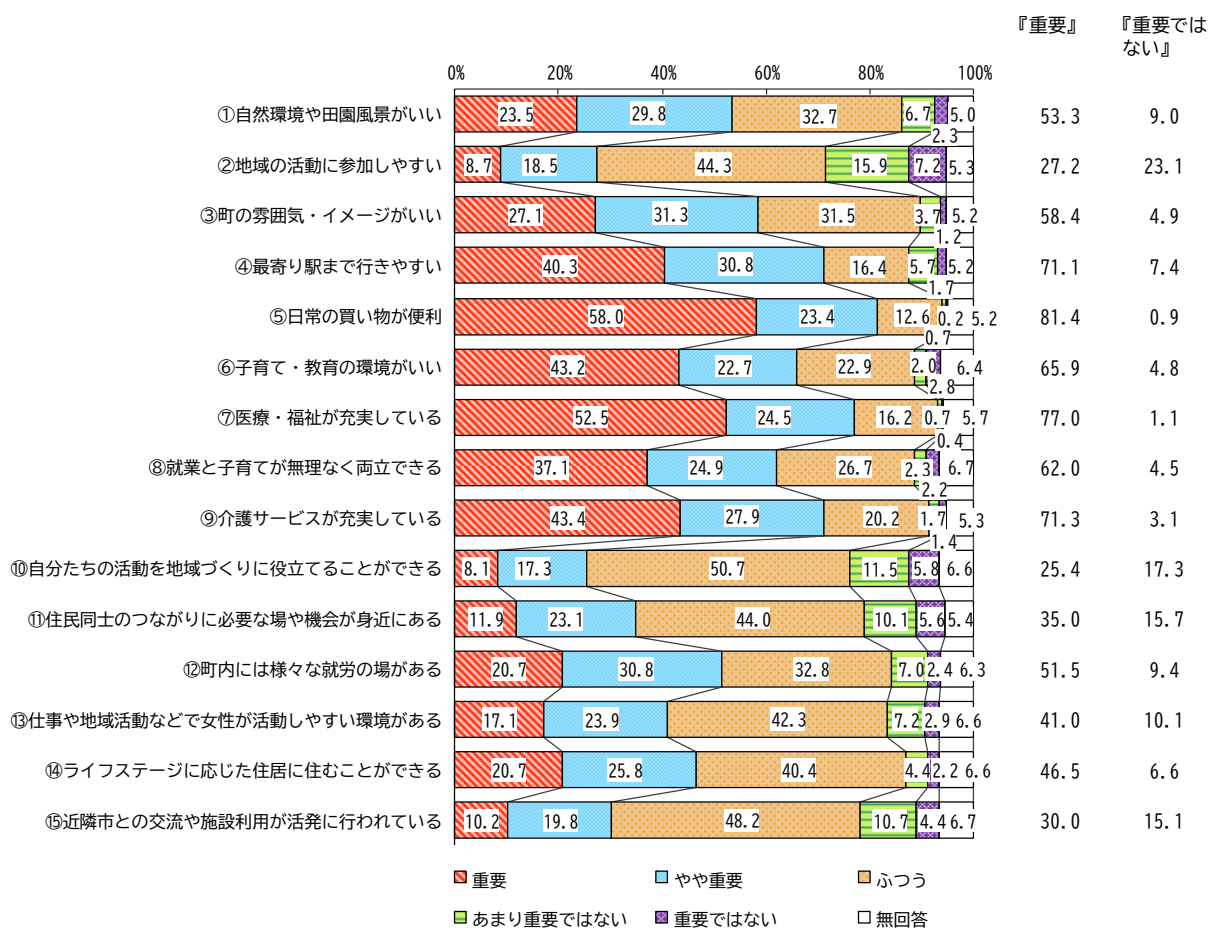
(2) 住みやすさを考える上での重要度

住みやすさを考える上での重要度は、「重要」が多いのは「日常の買い物が便利」58.0%、「医療・福祉が充実している」52.5%、「介護サービスが充実している」43.4%、「子育て・教育の環境がいい」43.2%、「最寄り駅まで行きやすい」40.3%が上位にあげられています。

「やや重要」を合わせた『重要』についてもほぼ同様の順位であり、「日常の買い物が便利」81.4%、「医療・福祉が充実している」77.0%、「介護サービスが充実している」71.3%、「最寄り駅まで行きやすい」71.1%、「子育て・教育の環境がいい」65.9%、「町の雰囲気・イメージがいい」58.4%と続きます。

「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『重要ではない』は、「地域の活動に参加しやすい」23.1%、「自分たちの活動を地域づくりに役立てることができる」17.3%、「住民同士のつながりに必要な場や機会がある」15.7%となっています。

住みやすさを考える上での重要度



【性別】

くらしの実感と同様に上位の項目すべて女性が男性を上回ります。

【年代別】

全体での上位5位を年代別で見ると、「日常の買い物が便利」は20代、30代を中心に多く、「医療・福祉が充実している」は20代から40代、「介護サービスが充実している」は30代から60代、「最寄り駅まで行きやすい」は10代、20代、「子育て・教育の環境がいい」は30代、40代で多くなっています。

住みやすさを考える上での重要度(『重要』上位5位・属性別)

単位：%

		(n=)	1位 ⑤日常の買い物が便利	2位 ⑦医療・福祉が充実している	3位 ⑨介護サービスが充実している	4位 ④最寄り駅まで行きやすい	5位 ⑥子育て・教育の環境がいい
全体		1,203	81.4	77.0	71.3	71.1	65.9
性別	男	547	78.8	73.3	68.2	69.7	61.8
	女	636	83.9	80.5	74.1	72.1	69.8
年代別	10代	61	86.9	75.4	65.6	86.9	70.5
	20代	113	93.8	85.8	63.8	86.8	74.3
	30代	153	91.5	90.2	76.5	74.5	83.0
	40代	148	87.8	81.7	69.6	74.3	78.3
	50代	204	86.8	78.4	74.6	76.0	68.2
	60代	251	78.1	76.9	77.7	67.8	59.4
	70歳以上	268	64.2	62.3	65.0	56.0	48.5

(3) くらしの実感と住みやすさを考える上での重要度

くらしの実感で『そう感じる』、住みやすさを考える上での『重要度』の上位を比較してみます。

上位5位までを比較すると、実感度も高く、重要度も高い項目として「日常の買い物が便利」、「子育て・教育の環境がいい」、「医療・福祉が充実している」をあげることができます。くらしの実感としては悪くないけれどもさらに充実して欲しいとのニーズがうかがえます。

なお、重要度が3位の「介護サービスが充実している」、4位の「最寄り駅まで行きやすい」の実感度は低くなっています。

くらしの実感度と住みやすさを考える上での重要度
 (『そう感じる』・『重要』の回答割合)

単位: %

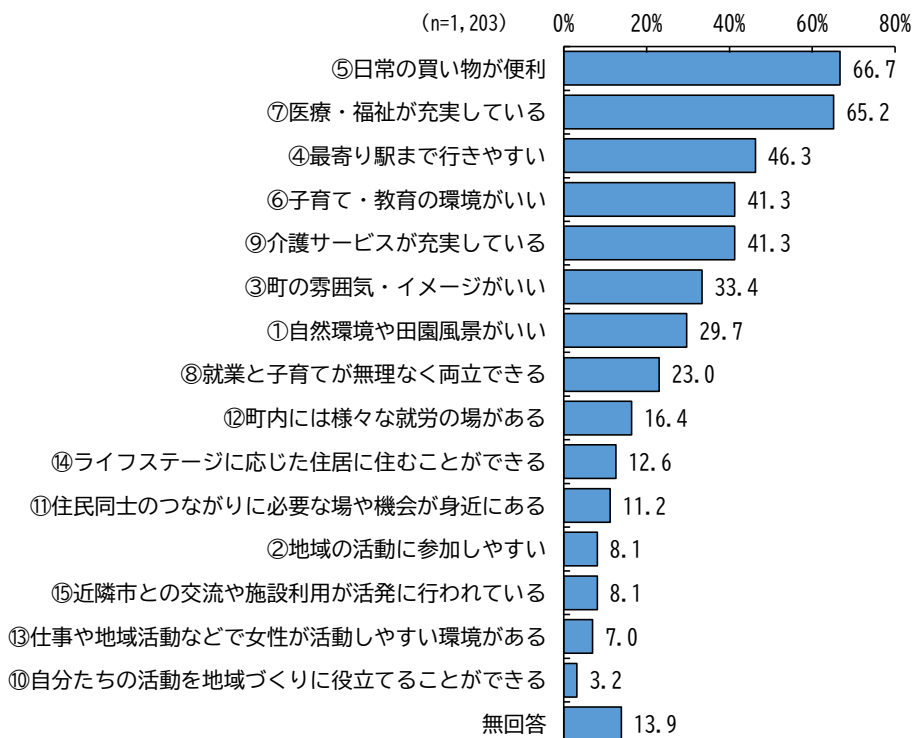
	実感度 『そう感じる』	重要度 『重要』
① 自然環境や田園風景がいい	① 62.7	⑧ 57.3
② 地域の活動に参加しやすい	⑦ 21.3	⑭ 27.2
③ 町の雰囲気・イメージがいい	③ 36.2	⑦ 58.4
④ 最寄り駅まで行きやすい	⑧ 18.4	④ 71.1
⑤ 日常の買い物が便利	② 49.2	① 81.4
⑥ 子育て・教育の環境がいい	⑤ 29.1	⑤ 65.9
⑦ 医療・福祉が充実している	④ 29.6	② 77.0
⑧ 就業と子育てが無理なく両立できる	⑪ 16.1	⑥ 62.0
⑨ 介護サービスが充実している	⑨ 17.6	③ 71.3
⑩ 自分たちの活動を地域づくりに役立てることができる	⑬ 9.9	⑮ 25.4
⑪ 住民同士のつながりに必要な場や機会が身近にある	⑥ 21.6	⑫ 35.0
⑫ 町内には様々な就労の場がある	⑭ 9.7	⑨ 51.5
⑬ 仕事や地域活動などで女性が活動しやすい環境がある	⑮ 8.3	⑪ 41.0
⑭ ライフステージに応じた住居に住むことができる	⑩ 16.3	⑩ 46.5
⑮ 近隣市との交流や施設利用が活発に行われている	⑫ 13.3	⑬ 30.0

○数字は実感度・重要度の高い順位

①～⑮の中から特に重要だと思うことを5つあげてください。

特に重要だと思うことについては、「日常の買い物が便利」が66.7%で最も多く、次いで「医療・福祉が充実している」65.2%、「最寄り駅まで行きやすい」46.3%、「子育て・教育の環境がいい」41.3%、「介護サービスが充実している」41.3%と続きます。

①～⑮の中で特に重要だと思うこと



4 まちの現状と今後の取組について

問9 町では、これまでに上三川町第7次総合計画（平成28年度～令和7年度）にもとづき、さまざまな施策を進めています。あなたは、以下に示す分野ごとの取組について、それぞれどのように感じていますか。次の2つの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

（それぞれに1つ○印）

※ご記入にあたって

満足度・・・各欄の左側に記す項目ごとについて、その現状をどのように感じているかを、5段階のうちでもっとも近い番号に○をつけて下さい。

重要度・・・上三川町のまちづくりや発展のために、今後重点的に取り組むことを期待する度合いについて、5段階のうちでもっとも近い番号に○をつけて下さい。

（1）満足度

「満足している」は、「上・下水道の整備」24.3%、「公園・緑地・水辺空間の整備」13.6%、「消防・防災体制の充実」12.6%の順ですが、「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』でも同様の順位となります。

これに対し、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『不満』は、「道路・交通網の整備」28.5%、「市街地の整備」23.0%、「観光・レクリエーションの振興」20.6%、「消費者対策の充実」20.4%、「商業の振興」19.7%などとなっています。

〈分野1 “安心安全・定住”のまちづくり〉

『満足』は、「上下水道の整備」62.0%、「消防・防災体制の充実」45.4%、「交通安全・防犯体制の充実」37.9%、「市街地の整備」27.4%などに対し、『不満』は、「市街地の整備」23.0%、「調和のとれた土地利用の推進」17.6%、「交通安全・防犯体制の充実」14.1%などとなっています。

〈分野2 “子ども・健康・福祉”のまちづくり〉

『満足』は、「健康づくり・医療体制の充実」38.3%、「子育て支援の充実」35.4%、「学校教育の充実」32.4%と続き、以下「社会福祉体制の充実」28.1%、「高齢者支援の充実」24.9%、「障がい者支援の充実」20.4%と福祉関連の項目が続いています。これに対し、『不満』は、「高齢者支援の充実」11.8%、「健康づくり・医療体制の充実」11.0%、「社会福祉体制の充実」10.6%となっています。

〈分野3 “産業・しごと・活力”のまちづくり〉

『満足』は、「工業の振興」22.1%、「農業の振興」21.8%、「商業の振興」16.4%、「消費者対策の充実」13.2%となっています。「商業の振興」「消費者対策の充実」については、『不満』が各19.7%、20.4%と『満足』を上回ります。

〈分野4 “交通・交流・連携”のまちづくり〉

「道路・交通網の整備」は、『満足』35.1%、『不満』28.5%となっています。「国際化、地域間交流の推進」「観光・レクリエーションの振興」は、『不満』が『満足』を上回ります。

〈分野5 “人・文化・スポーツ”のまちづくり〉

『満足』は、「スポーツの振興」24.6%、「生涯学習の充実」22.7%、「芸術・文化の振興」21.8%、「青少年の健全育成」19.8%といずれの項目も同程度となっています。『不満』については、いずれも1ケタ台となっています。

〈分野6 “自然・環境”のまちづくり〉

『満足』は、「公園・緑地・水辺空間の整備」51.6%、「環境衛生の充実」42.8%、「環境・景観の保全と創造」34.1%となっています。これに対し、『不満』は、「公園・緑地・水辺空間の整備」13.9%、「環境・景観の保全と創造」11.6%、「環境衛生の充実」9.8%となっています。

〈分野7 “コミュニティ・地域力”のまちづくり〉

『満足』は、「コミュニティ活動の推進」21.7%、「人権尊重社会の実現」19.7%、「男女共同参画社会の形成」14.5%に対し、『不満』は、いずれも1ケタ台となっています。

〈分野8 “協働・健全財政”のまちづくり〉

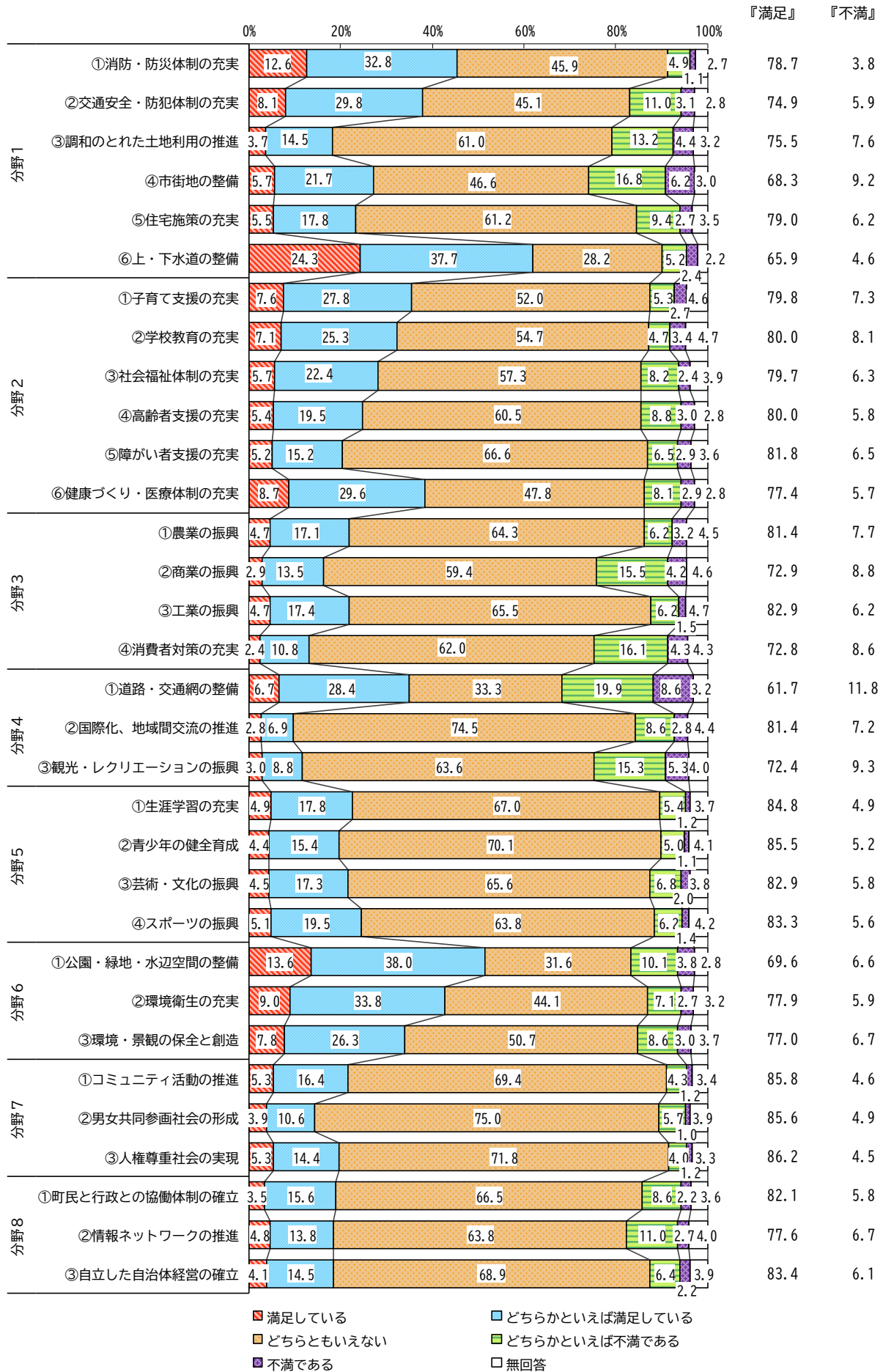
『満足』は、「町民と行政との協働体制の確立」19.1%、「情報ネットワークの推進」「自立した自治体経営の確立」ともに18.6%となっています。これに対し、『不満』は、「情報ネットワークの推進」13.7%、「町民と行政との協働体制の確立」10.8%、「自立した自治体経営の確立」8.6%となっています。

(2) 属性にみる不満度20%以上

性別、年代、居住歴、居住地域すべての属性であげられているのは、「道路・交通網の整備」、「市街地の整備」は女性や若い世代ではあげられていませんが、ほぼ共通してあげられています。「観光・レクリエーションの振興」「消費者対策の充実」についても多くがあげられています。

「商業の振興」は40代から60代、転入してきた人にあげられています。

分野ごとの取組についての満足度



属性にみる不満度 20%以上(性別・年代別)

単位: %

		性別		年代別						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
(n=)		547	636	61	113	153	148	204	251	268
分野1	①消防・防災体制の充実	7.0	5.1	0.0	1.8	7.2	8.1	4.9	4.4	9.7
	②交通安全・防犯体制の充実	16.9	12.0	9.8	13.3	19.0	23.0	10.8	11.6	12.7
	③調和のとれた土地利用の推進	22.1	13.9	6.5	12.4	13.1	16.3	16.1	22.3	22.8
	④市街地の整備	28.2	18.7	13.1	15.9	23.5	25.0	21.0	27.5	24.6
	⑤住宅施策の充実	15.6	8.8	4.9	7.1	13.1	13.5	15.2	14.4	10.1
	⑥上・下水道の整備	9.5	6.3	4.9	6.2	10.4	10.1	7.9	7.2	6.4
分野2	①子育て支援の充実	8.3	7.7	8.2	6.2	16.3	12.1	6.9	5.6	4.9
	②学校教育の充実	8.1	8.1	14.7	5.3	15.0	12.1	7.8	5.6	4.1
	③社会福祉体制の充実	12.5	9.3	13.1	8.9	11.1	7.4	8.9	11.2	13.4
	④高齢者支援の充実	14.6	9.3	8.2	7.1	8.5	6.8	8.9	16.0	17.9
	⑤障がい者支援の充実	11.0	7.7	9.8	5.3	9.1	12.1	7.4	11.6	9.4
	⑥健康づくり・医療体制の充実	10.9	11.0	11.5	5.3	14.4	12.8	9.8	12.4	10.5
分野3	①農業の振興	12.1	6.9	0.0	7.1	8.5	7.5	4.9	12.4	14.6
	②商業の振興	21.4	18.1	13.1	17.7	18.9	20.3	24.5	20.3	17.9
	③工業の振興	10.8	4.9	1.6	4.4	7.2	10.1	8.4	9.6	7.5
	④消費者対策の充実	24.6	16.3	3.2	11.5	26.8	26.4	19.1	20.7	22.4
分野4	①道路・交通網の整備	29.6	27.7	36.1	25.6	28.1	32.4	28.9	30.7	23.1
	②国際化・地域間交流の推進	11.6	11.4	11.4	13.2	10.4	13.5	14.8	8.4	10.1
	③観光・レクリエーションの振興	22.1	19.3	24.6	18.6	20.2	23.0	21.1	19.9	19.4
分野5	①生涯学習の充実	7.5	5.5	9.8	3.6	4.0	8.1	8.8	6.0	6.4
	②青少年の健全育成	7.4	5.0	1.6	4.4	3.3	8.1	6.4	8.4	5.6
	③芸術・文化の振興	8.8	8.9	8.2	7.1	9.8	11.5	8.9	8.4	7.4
	④スポーツの振興	9.3	6.2	1.6	6.2	9.8	14.2	6.9	7.2	5.6
分野6	①公園・緑地・水辺空間の整備	15.2	12.8	11.5	5.3	20.2	19.6	13.7	14.4	11.6
	②環境衛生の充実	12.1	7.9	6.5	3.6	13.0	14.2	7.9	10.8	9.7
	③環境・景観の保全と創造	13.9	9.5	13.1	4.4	14.3	12.9	8.9	14.0	11.9
分野7	①コミュニティ活動の推進	6.4	4.9	3.2	4.4	5.9	7.4	5.4	5.2	5.6
	②男女共同参画社会の形成	6.4	7.0	6.5	7.1	7.2	7.4	4.9	7.2	6.7
	③人権尊重社会の実現	5.1	5.3	6.6	7.1	7.2	5.4	4.4	4.4	4.1
分野8	①町民と行政との協働体制の確立	12.6	9.3	9.8	4.4	13.8	14.9	12.8	10.4	9.0
	②情報ネットワークの推進	16.8	10.8	18.1	15.1	12.5	18.9	15.2	13.2	8.9
	③自立した自治体経営の確立	9.5	7.7	11.5	3.6	9.2	10.8	9.8	9.6	7.0

属性にみる不満度 20%以上(居住歴別・居住地域別)

単位:%

		居住歴別				居住地域別		
		生まれてからずっと	Uターン	県内他市町村から転入	県外から転入	本郷中学校地区	上三川中学校区	明治中学校区
(n=)		318	189	436	256	309	511	346
分野1	①消防・防災体制の充実	6.0	5.3	6.0	6.7	9.3	13.3	6.1
	②交通安全・防犯体制の充実	13.9	11.1	15.4	14.5	14.6	17.6	14.5
	③調和のとれた土地利用の推進	17.6	23.3	14.5	19.2	19.1	23.9	17.3
	④市街地の整備	22.6	26.4	20.9	25.0	23.6	14.7	22.5
	⑤住宅施策の充実	10.4	14.8	11.5	13.3	11.3	8.6	10.1
	⑥上・下水道の整備	6.6	7.9	8.5	7.4	5.2	8.6	8.4
分野2	①子育て支援の充実	6.6	6.9	9.4	8.2	7.8	7.6	8.6
	②学校教育の充実	6.0	7.9	8.8	9.8	10.3	7.8	6.7
	③社会福祉体制の充実	11.9	10.5	10.3	9.8	12.6	9.9	10.4
	④高齢者支援の充実	13.5	12.2	11.0	10.9	11.0	11.3	14.5
	⑤障がい者支援の充実	11.7	10.6	7.8	8.6	10.6	9.0	8.9
	⑥健康づくり・医療体制の充実	11.7	11.6	11.2	9.7	10.7	10.9	12.1
分野3	①農業の振興	12.3	11.1	6.7	9.0	10.7	7.6	10.7
	②商業の振興	15.7	22.2	20.8	21.1	18.8	21.0	19.7
	③工業の振興	6.2	8.5	8.3	8.2	9.7	7.3	7.3
	④消費者対策の充実	18.6	16.9	22.0	23.0	21.4	20.4	19.4
分野4	①道路・交通網の整備	25.5	25.9	29.4	32.5	29.5	26.4	30.9
	②国際化、地域間交流の推進	11.0	13.3	10.5	11.7	12.6	11.7	9.2
	③観光・レクリエーションの振興	19.2	23.3	20.4	20.4	21.3	21.6	17.9
分野5	①生涯学習の充実	4.1	7.9	6.8	7.8	7.1	5.1	7.8
	②青少年の健全育成	5.9	6.4	4.5	8.2	6.5	5.9	5.8
	③芸術・文化の振興	6.3	8.9	10.6	8.6	8.4	8.7	9.5
	④スポーツの振興	7.6	9.5	7.6	6.3	8.7	6.3	8.9
分野6	①公園・緑地・水辺空間の整備	11.3	18.0	13.3	15.6	12.7	14.7	14.2
	②環境衛生の充実	9.4	12.2	9.0	10.2	9.1	9.9	10.2
	③環境・景観の保全と創造	11.6	12.1	11.4	11.3	11.7	11.5	11.5
分野7	①コミュニティ活動の推進	4.7	5.3	5.2	7.1	4.2	6.5	5.5
	②男女共同参画社会の形成	6.3	6.4	6.6	7.5	7.7	6.5	6.4
	③人権尊重社会の実現	6.3	5.3	4.1	5.5	5.2	5.3	5.2
分野8	①町民と行政との協働体制の確立	11.0	13.2	10.5	9.4	10.0	11.7	10.4
	②情報ネットワークの推進	14.5	14.3	13.1	12.9	17.8	11.7	13.3
	③自立した自治体経営の確立	8.2	8.0	8.0	10.9	9.4	8.8	8.1

(3) 重要度

「重視している」は「交通安全・防犯体制の充実」49.9%、「上・下水道の整備」43.2%、「健康づくり・医療体制の充実」43.0%、「消防・防災体制の充実」42.6%、「道路・交通網の整備」40.1%、「子育て支援の充実」「学校教育の充実」とともに39.0%などとなっています。

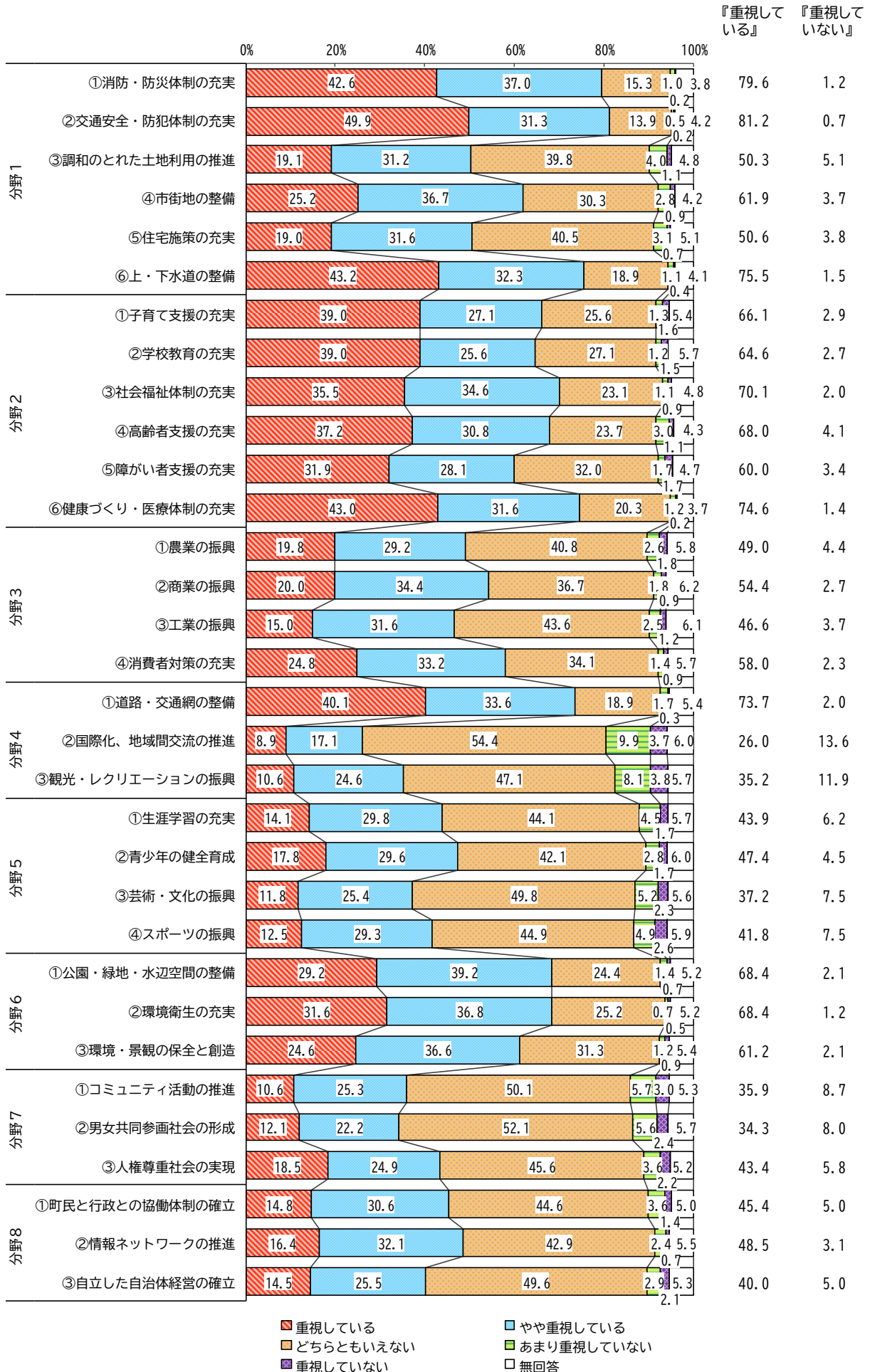
「やや重視している」を合わせた『重視している』は、「交通安全・防犯体制の充実」81.2%は同じ1位ですが、次の「消防・防災体制の充実」79.6%は、「上・下水道の整備」75.5%、「健康づくり・医療体制の充実」74.6%を上回ります。さらに「道路・交通網の整備」73.7%、「社会福祉体制の充実」70.1%、「高齢者支援の充実」68.0%と続きます。これら福祉関連は「子育て支援の充実」66.1%、「学校教育の充実」64.6%を上回ります。

(4) 属性にみる重要度70%以上

性別、年代、居住歴、居住地域すべての属性であげられているのは、「消防・防災体制の充実」「交通安全・防犯体制の充実」「上・下水道の整備」、また、70歳以上を除いたすべての属性であげられているのは「健康づくり・医療体制の充実」「道路・交通網の整備」、さらには「社会福祉体制の充実」も多くの属性であげられています。

一方、「子育て支援の充実」「学校教育の充実」「公園・緑地・水辺空間の整備」「環境衛生の充実」は、10代から30代、40代を中心にあげられています。

分野ごとの取組についての重要度



属性にみる重要度 70%以上(性別・年代別)

単位: %

		性別		年代別						
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
(n=)		547	636	61	113	153	148	204	251	268
分野1	①消防・防災体制の充実	78.1	81.1	88.6	83.2	84.3	71.6	75.5	81.6	79.1
	②交通安全・防犯体制の充実	80.8	81.9	86.9	91.2	85.7	77.7	79.9	80.9	76.1
	③調和のとれた土地利用の推進	52.5	48.8	54.1	61.1	53.6	46.6	48.0	53.4	44.0
	④市街地の整備	63.8	60.1	73.8	80.5	74.5	59.4	57.3	59.0	51.1
	⑤住宅施策の充実	51.7	49.7	57.4	70.0	55.6	50.7	50.5	44.2	43.6
	⑥上・下水道の整備	75.9	75.5	72.1	83.2	70.6	73.0	75.5	77.3	75.4
分野2	①子育て支援の充実	63.8	68.6	77.0	74.3	77.1	70.3	65.7	63.0	54.1
	②学校教育の充実	62.6	67.0	82.0	76.2	76.5	69.6	61.2	60.6	52.2
	③社会福祉体制の充実	67.0	73.7	80.3	77.9	80.3	58.1	70.6	70.2	64.9
	④高齢者支援の充実	64.0	71.7	70.4	62.0	64.1	56.1	73.6	72.9	69.1
	⑤障がい者支援の充実	57.4	62.6	68.9	60.1	58.2	54.0	62.2	61.4	58.9
	⑥健康づくり・医療体制の充実	70.9	78.6	83.7	81.4	78.5	70.9	73.1	76.1	69.4
分野3	①農業の振興	50.3	48.6	57.4	59.3	53.6	40.5	46.1	49.0	46.3
	②商業の振興	55.9	53.3	60.7	70.8	58.1	54.7	57.8	50.2	44.4
	③工業の振興	51.4	42.8	54.1	61.9	45.8	42.6	46.1	43.4	44.0
	④消費者対策の充実	59.8	56.9	59.0	69.0	68.6	62.8	58.3	57.0	44.8
分野4	①道路・交通網の整備	74.8	72.8	83.6	84.1	83.6	75.0	77.0	71.4	59.7
	②国際化・地域間交流の推進	24.4	27.8	39.4	37.1	30.1	29.0	25.0	18.7	21.2
	③観光・レクリエーションの振興	33.8	36.7	59.0	48.6	36.6	39.2	33.3	27.9	28.4
分野5	①生涯学習の充実	40.7	47.1	57.4	51.3	49.1	41.2	39.7	45.5	36.9
	②青少年の健全育成	47.7	47.6	62.3	56.6	51.6	50.0	41.7	45.8	41.0
	③芸術・文化の振興	34.3	40.3	50.8	46.9	38.6	33.1	31.4	39.9	32.8
	④スポーツの振興	42.4	41.8	59.0	49.6	41.8	47.3	39.7	37.5	36.6
分野6	①公園・緑地・水辺空間の整備	67.3	69.7	78.7	76.1	81.1	71.0	66.6	66.5	56.3
	②環境衛生の充実	68.0	69.1	85.3	83.1	80.4	69.6	69.6	66.1	51.5
	③環境・景観の保全と創造	60.7	62.3	73.7	72.6	69.9	66.2	64.2	59.3	44.8
分野7	①コミュニティ活動の推進	34.0	38.3	50.8	42.5	35.9	33.1	35.3	31.9	35.1
	②男女共同参画社会の形成	32.4	36.3	52.5	47.8	39.9	31.1	31.4	28.7	29.8
	③人権尊重社会の実現	40.0	46.6	68.9	58.4	49.7	42.6	41.2	36.6	35.4
分野8	①町民と行政との協働体制の確立	47.9	43.7	44.3	54.9	48.3	45.3	43.6	47.0	40.3
	②情報ネットワークの推進	50.4	47.3	57.4	60.2	52.9	54.7	51.0	48.6	33.2
	③自立した自治体経営の確立	42.6	38.7	54.1	45.1	38.6	40.6	42.6	39.9	33.5

属性にみる重要度 70%以上(居住歴別・居住地域別)

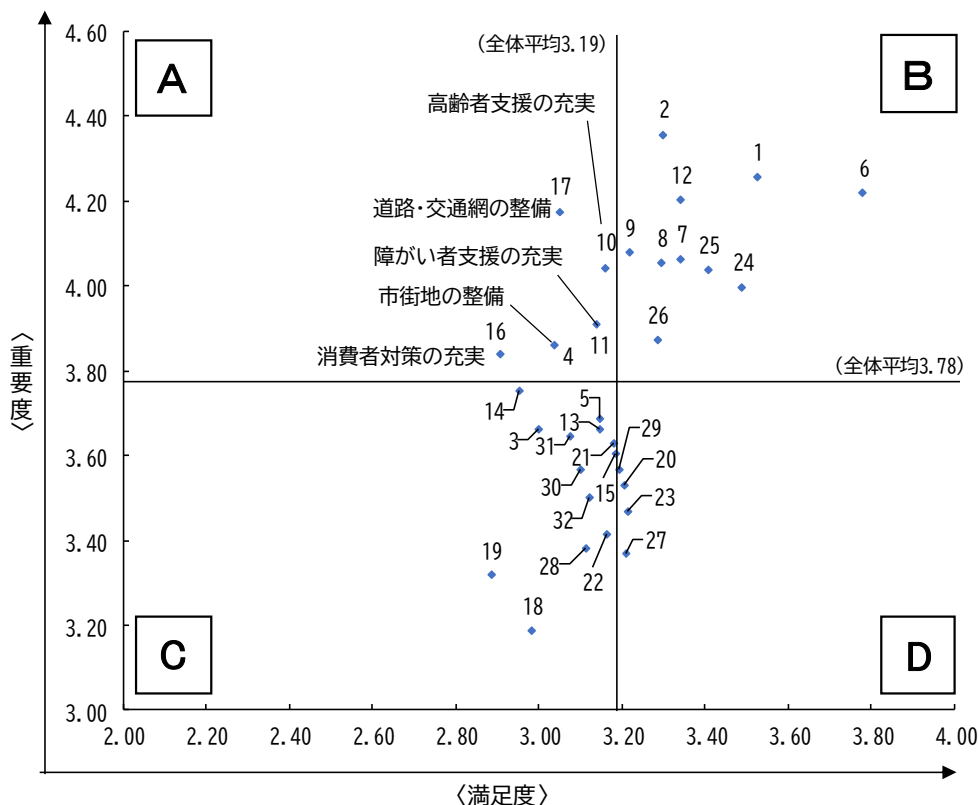
単位: %

		居住歴別				居住地域別		
		生まれてからずっと	Uターン	県内他市町村から転入	県外から転入	本郷中学校地区	上三川中学校区	明治中学校区
(n=)		318	189	436	256	309	511	346
分野1	①消防・防災体制の充実	80.8	77.8	78.4	81.6	79.9	80.5	80.0
	②交通安全・防犯体制の充実	82.1	78.3	78.9	86.0	81.6	82.6	80.0
	③調和のとれた土地利用の推進	55.3	50.8	45.2	51.9	49.2	51.1	50.9
	④市街地の整備	64.5	66.1	57.8	61.7	59.5	65.3	59.8
	⑤住宅施策の充実	51.2	48.1	49.5	52.8	51.4	53.2	47.4
	⑥上・下水道の整備	74.6	75.6	72.5	81.7	75.1	75.9	76.3
分野2	①子育て支援の充実	65.7	63.0	66.3	68.3	66.3	68.5	65.3
	②学校教育の充実	67.3	59.8	63.3	67.2	67.3	66.2	62.8
	③社会福祉体制の充実	70.5	73.5	67.9	71.1	71.5	72.2	68.2
	④高齢者支援の充実	66.6	71.9	65.1	70.7	70.5	67.5	67.4
	⑤障がい者支援の充実	63.2	60.8	58.7	57.4	63.8	62.0	55.8
	⑥健康づくり・医療体制の充実	73.9	74.6	71.6	80.8	74.7	76.5	73.9
分野3	①農業の振興	52.5	54.5	48.0	42.2	46.3	51.4	50.3
	②商業の振興	51.6	58.2	54.1	55.5	52.8	58.3	52.6
	③工業の振興	46.6	51.9	44.9	45.7	49.2	48.7	43.6
	④消費者対策の充実	55.0	59.3	57.8	61.3	57.3	62.2	54.7
分野4	①道路・交通網の整備	71.7	75.2	72.5	77.0	71.9	76.5	73.1
	②国際化、地域間交流の推進	27.3	27.5	25.5	23.9	24.6	28.1	25.2
	③観光・レクリエーションの振興	36.2	33.9	35.5	34.0	33.9	37.0	34.1
分野5	①生涯学習の充実	41.2	42.4	45.8	44.5	42.3	44.3	45.3
	②青少年の健全育成	48.1	45.0	46.1	50.0	49.6	49.1	45.4
	③芸術・文化の振興	34.9	35.9	37.3	40.6	33.3	39.1	39.3
	④スポーツの振興	40.8	40.7	43.3	41.1	41.4	42.3	42.5
分野6	①公園・緑地・水辺空間の整備	64.8	69.4	67.4	73.4	69.9	69.8	66.7
	②環境衛生の充実	67.2	70.9	66.5	71.1	68.6	70.5	68.2
	③環境・景観の保全と創造	59.7	63.0	59.9	64.1	63.1	63.0	59.5
分野7	①コミュニティ活動の推進	36.2	37.0	36.0	34.4	32.4	39.5	35.8
	②男女共同参画社会の形成	34.9	38.1	32.6	33.2	34.3	36.8	31.5
	③人権尊重社会の実現	45.0	45.5	43.1	39.8	43.7	44.5	42.2
分野8	①町民と行政との協働体制の確立	45.3	47.0	44.5	46.5	45.3	48.1	44.0
	②情報ネットワークの推進	47.8	52.4	47.3	48.8	53.1	49.5	46.5
	③自立した自治体経営の確立	38.7	44.5	37.2	44.1	43.1	42.9	36.1

(5) 満足度・重要度の散布図

各分野の施策について、加重平均値を求め、散布図を作成します。

各施策における満足度・重要度(加重平均値)



- (A) 優先・充実 重要度は高いが、満足度が低い項目。満足度を上げるために優先して改善しなければならない項目。
- (B) 維持・向上 重要度も満足度も高い項目。引き続き、満足度が下がらないようにする必要がある。
- (C) 改善 重要度も満足度も低い項目。「(A) 優先・充実」の次に改善を必要とする項目。
- (D) 現状維持 満足度は高いが重要度は低い項目。当面は現状を維持する項目。

●算出方法

満足度指数：「満足＝5点」、「やや満足＝4点」、「普通＝3点」、「やや不満＝2点」、「不満＝1点」として、それぞれの回答者数に掛けた数値を、回答者の合計（無回答数除く）で割ったもので、この値が5に近いほど満足で、1に近いほど不満であることを示す指数。

重要度指数：「重要＝5点」、「やや重要＝4点」、「普通＝3点」、「あまり重要でない＝2点」、「重要でない＝1点」として、それぞれの回答者数に掛けた数値を、回答者の合計（無回答数除く）で割ったもので、この値が5に近いほど重要度が高く、1に近いほど重要度が低いことを示す指数。

A 優先・充実	B 維持・向上
4 市街地の整備 10 高齢者支援の充実 11 障がい者支援の充実 16 消費者対策の充実 17 道路・交通網の整備	1 消防・防災体制の充実 2 交通安全・防犯体制の充実 6 上・下水道の整備 7 子育て支援の充実 8 学校教育の充実 9 社会福祉体制の充実 12 健康づくり・医療体制の充実 24 公園・緑地・水辺空間の整備 25 環境衛生の充実 26 環境・景観の保全と創造
C 改善	C 現状維持
3 調和のとれた土地利用の推進 5 住宅施策の充実 13 農業の振興 14 商業の振興 15 工業の振興 18 国際化、地域間交流の推進 19 観光・レクリエーションの振興 21 青少年の健全育成 22 芸術・文化の振興 28 男女共同参画社会の形成 30 町民と行政との協働体制の確立 31 情報ネットワークの推進 32 自立した自治体経営の確立	20 生涯学習の充実 23 スポーツの振興 27 コミュニティ活動の推進 29 人権尊重社会の実現

分野別・各施策における満足度・重要度(加重平均値)

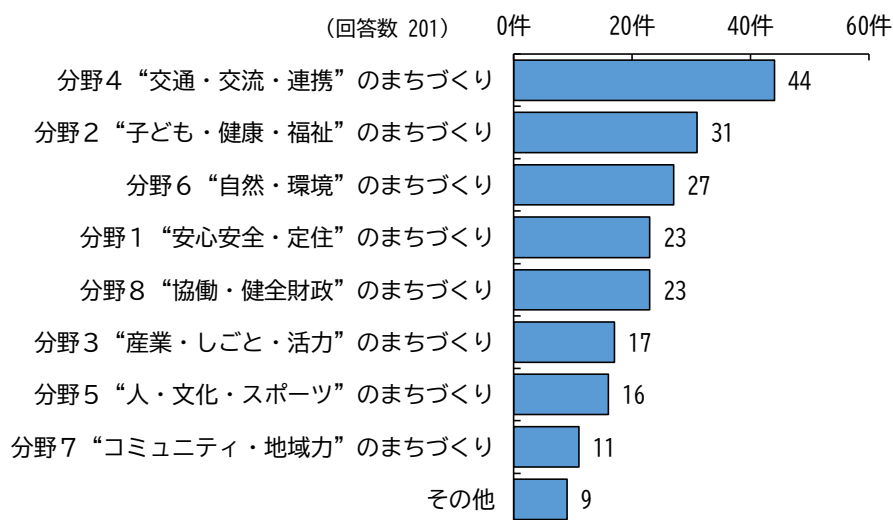
単位：%

		満足度	重要度
分野1	①消防・防災体制の充実	3.52	4.26
	②交通安全・防犯体制の充実	3.30	4.36
	③調和のとれた土地利用の推進	3.00	3.66
	④市街地の整備	3.04	3.86
	⑤住宅施策の充実	3.15	3.69
	⑥上・下水道の整備	3.78	4.22
分野2	①子育て支援の充実	3.34	4.06
	②学校教育の充実	3.29	4.05
	③社会福祉体制の充実	3.22	4.08
	④高齢者支援の充実	3.16	4.04
	⑤障がい者支援の充実	3.14	3.91
	⑥健康づくり・医療体制の充実	3.34	4.20
分野3	①農業の振興	3.15	3.66
	②商業の振興	2.95	3.75
	③工業の振興	3.18	3.60
	④消費者対策の充実	2.90	3.84
分野4	①道路・交通網の整備	3.05	4.18
	②国際化、地域間交流の推進	2.98	3.19
	③観光・レクリエーションの振興	2.88	3.32
分野5	①生涯学習の充実	3.21	3.53
	②青少年の健全育成	3.18	3.63
	③芸術・文化の振興	3.16	3.41
	④スポーツの振興	3.22	3.47
分野6	①公園・緑地・水辺空間の整備	3.49	4.00
	②環境衛生の充実	3.41	4.04
	③環境・景観の保全と創造	3.28	3.87
分野7	①コミュニティ活動の推進	3.21	3.37
	②男女共同参画社会の形成	3.11	3.38
	③人権尊重社会の実現	3.19	3.57
分野8	①町民と行政との協働体制の確立	3.10	3.57
	②情報ネットワークの推進	3.07	3.64
	③自立した自治体経営の確立	3.12	3.50

上記の中でご意見がありましたら、番号とご意見をお書きください。
 ※満足度で「不満である」を選択した場合は、具体的な取組やその理由をお書きください。

「不満である」の理由について、1,203 人中 136 人より 201 件の意見が寄せられました。分野別では、「分野4 “交通・交流・連携” のまちづくり」に関する意見が最多となっています。各分野への主な意見を以下原文の通り掲載しています。

満足度で「不満である」と回答のあった分野



●主な意見（○数字は各施策の番号です。※P32、P34 を参照）

〈分野1 “安心安全・定住” のまちづくり〉 23 件

- ・②：街灯を増やしてほしい。（夜は真っ暗で危険）（男性、20 代）
- ・③：土地利用について かなりの空地が目立っている。雑草などが生い茂って物騒です。（女性、60 代）

〈分野2 “子ども・健康・福祉” のまちづくり〉 31 件

- ・①：子育て支援ですが、下野市のようにパパ・ママへ託児支援チケットがほしい（女性、30 代）
- ・②：学校設備（体育館にエアコンがない・スポーツ備品が古いまま。）（女性、40 代）
- ・⑤：就労継続支援事業所と生活介護作業所の併用利用がわが町ではできない理由を説明してもらえず不誠実に感じています。障がいを持つ若者が就業し、家庭を持ちたいという夢が叶えられるよう町の支援をお願いします。（男性、60 代）

〈分野3 “産業・しごと・活力” のまちづくり〉 17 件

- ・①：工業も大切なのはわかります。食の面では農業も活性化して大切にしてほしい。（女性、40 代）
- ・②：商業施設が少ないので（町内に）誘致してほしい。（男性、30 代）

〈分野4 “交通・交流・連携”のまちづくり〉44件

- ・①：もうちょっと、町外へ向かうバスを増やしてみたいか、特に雀宮駅、宇都宮駅、真岡方面へ向かうバスがあれば、その方面に向かう通学通勤者は助かるのではないかと思う(すでに実施しているのであればすみません)(男性、10代)
- ・①：国道新4号の整備をしてほしい。ひび割れや穴で運転しにくい所がある(女性、30代)
- ・②：海外の移住者の方が自転車で夜道を蛇行運転していたりすることが多く、本当に怖いです。今まで生きてきた環境が違うので日本の常識を押し付けるのも違いますが、誰かが控えて欲しいことを伝えないとずっと伝わらないままのような気がします。然るべき立場の方が相手を尊重して指摘しないままだと、お互いにいい気持ちで暮らせないと思います。(女性、20代)

〈分野5 “人・文化・スポーツ”のまちづくり〉16件

- ・①：毎年、中央公民館の講座の対象が男性向け・女性向けと区別されており、ORIGAMII プラザとなった今も、希望した講座が受けられないのが現状である。多様性のこの時代、男女差別はいい加減にやめてほしい。(女性、60代)
- ・④：いきいきプラザはロビーなど有効活用を進めた方が良いのでは？全体的にスカスカしている。公共交通の便がもう一つ。(男性、50代)

〈分野6 “自然・環境”のまちづくり〉27件

- ・①：公園があまりきれいではないので子供を連れて行きにくい。公園の草がすごいのできれいにしてほしい。(女性、30代)
- ・②：環境衛生の中で公衆トイレが洋式でない場所が多く、改修を願いたい。(男性、60代)
- ・③：整備されていない雑木林、何とかしてください。(男性、50代)

〈分野7 “コミュニティ・地域力”のまちづくり〉11件

- ・①：コミュニティ活動ですが、何年も前から(自治体で)何となく続けているイメージがあります。各自治体の環境の変化に応じて活動をやめたり、他の活動に移行したりと柔軟に対応できないのでしょうか？強制的なコミュニティ活動に意味はあるのでしょうか？(女性、50代)
- ・③：女性とは人間ではないのか？そもそも長男以外は酷い差別である。(女性、40代)

〈分野8 “協働・健全財政”のまちづくり〉23件

- ・①：町民と行政の間で情報の共有を行う。広報等のみならず、オンラインなどを使ってLive配信する等。財政やこれからの上三川町の課題などを町民に共有して解決をしていくような町にしたい。(男性、30代)
- ・②：回覧物が多いので、ネット環境に沿った情報公開をしてもいいと思う。紙の無駄使いも減らせる。(女性、50代)

〈その他〉 9件

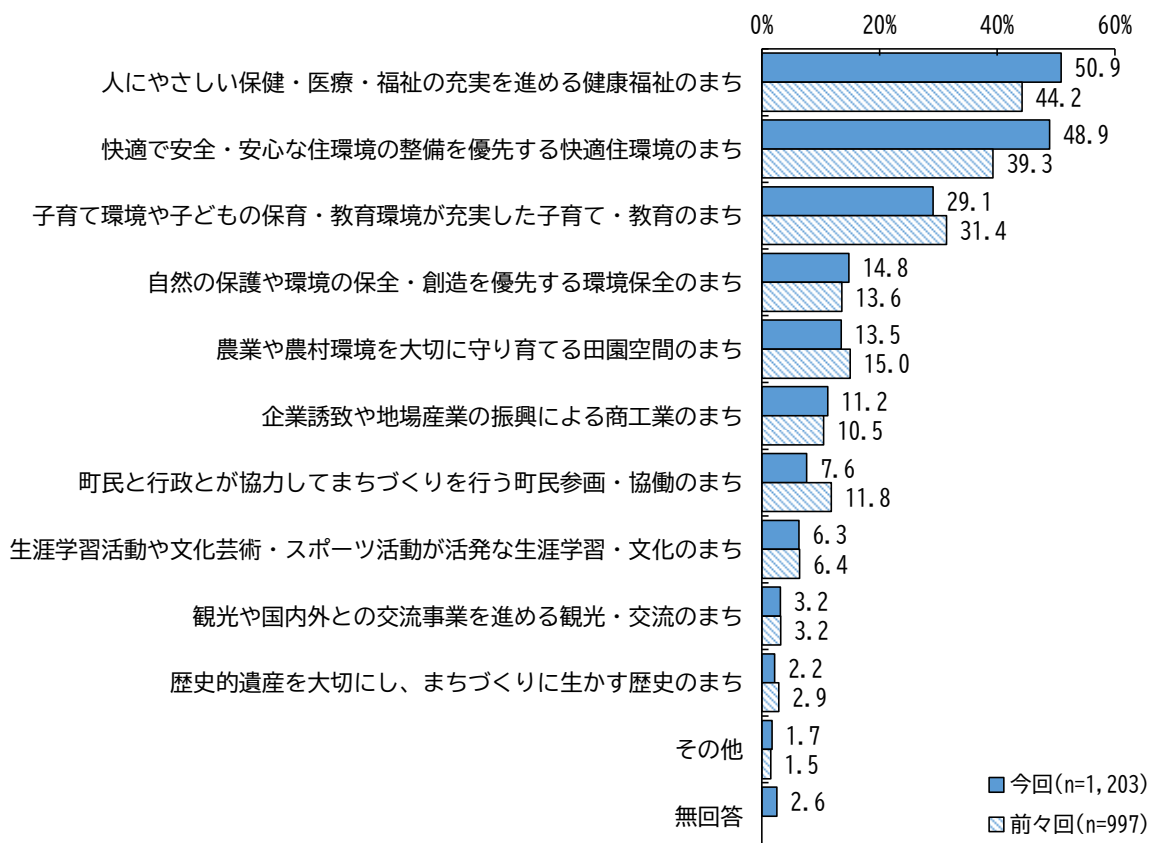
- ・宇都宮市に近いというメリットはあるが、上三川町単独で考えた時に全体的な物足りなさがある。(男性、40代)
- ・各項目の満足度のおたずねだが、これだけの項目に現状把握をできている一般人などいないだろうと思われる質問項目である。私にはかなり無理がある回答をしたといわざるを得ない。(男性、60代)

問 10 あなたは、今後のまちづくりにおいて、上三川町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。(2つまで○印)

「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」50.9%次いで「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」48.9%、以下差があり、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」29.1%、「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」14.8%、「農業や農村環境を大切に守り育てる田園空間のまち」13.5%と続きます。

前々回調査との比較では、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」、「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」がいずれも増加しています。「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」「農業や農村環境を大切に守り育てる田園空間のまち」「町民と行政とが協力してまちづくりを行う町民参画・協働のまち」などはやや減っています。

上三川町をどのような特色のあるまちにすべきか(前々回調査との比較)



【性別】

「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」は女性の55.3%が男性46.3%を大きく上回ります。

【年代別】

「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」は10代59.0%、20代45.1%、40代50.0%でそれぞれ多く、「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」は30代55.6%、50代以上は「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」で50代56.4%、60代60.2%、70歳以上54.5%となっています。

上三川町をどのような特色のあるまちにすべきか(属性別)

単位: %

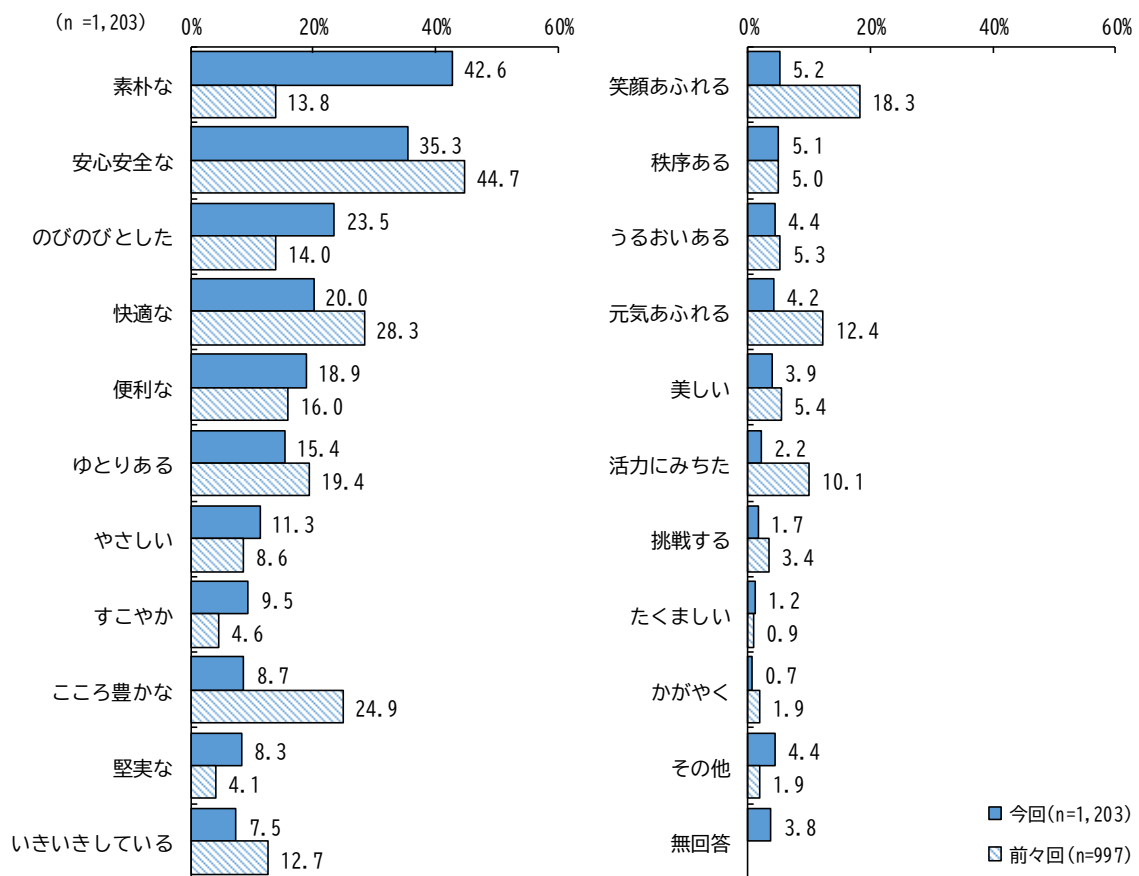
		(n=)	人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち	快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち	子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち	自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち	農業や農村環境を大切に守り育てる田園空間のまち	企業誘致や地場産業の振興による商工業のまち	町民と行政とが協力してまちづくりを行う町民参画・協働のまち	生涯学習活動や文化芸術・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化のまち	観光や国内外との交流事業を進める観光・交流のまち	歴史的遺産を大切に、まちづくりに生かす歴史のまち	その他	無回答
性別	男	547	46.3	46.6	26.9	17.4	13.7	13.7	9.1	6.9	3.7	1.8	2.2	3.5
	女	636	55.3	50.3	31.1	12.7	13.2	9.0	6.4	5.8	2.8	2.4	1.4	1.9
年代別	10代	61	44.3	59.0	23.0	18.0	9.8	4.9	4.9	6.6	9.8	1.6	1.6	3.3
	20代	113	35.4	45.1	36.3	26.5	21.2	6.2	4.4	5.3	2.7	1.8	3.5	1.8
	30代	153	43.8	51.0	55.6	13.1	8.5	7.8	3.9	3.3	2.6	2.6	1.3	1.3
	40代	148	42.6	50.0	43.9	11.5	7.4	9.5	3.4	8.8	5.4	4.1	2.7	2.0
	50代	204	56.4	51.0	24.0	12.7	12.7	16.2	5.4	6.4	2.0	1.5	1.0	2.9
	60代	251	60.2	51.0	20.3	13.5	14.7	13.5	6.0	4.8	2.4	2.0	2.4	2.0
	70歳以上	268	54.5	42.5	16.0	14.9	16.4	11.9	17.2	8.6	2.6	1.9	0.7	4.1
居住歴別	生まれてからずっと	318	50.3	48.7	26.1	18.2	17.9	7.9	8.8	5.7	2.8	0.9	1.3	3.8
	Uターン	189	54.5	39.2	28.0	13.8	17.5	15.3	7.9	5.8	2.6	1.1	2.6	2.6
	県内他市町村から転入	436	47.7	50.7	33.3	14.2	10.6	11.5	6.2	7.6	3.2	2.3	1.6	2.3
	県外から転入	256	54.3	52.7	26.6	12.5	9.8	12.1	8.2	5.5	3.9	4.3	2.0	1.6
地域別 居住	本郷中学校区	309	52.4	47.6	29.1	14.2	13.3	11.0	7.4	5.8	3.2	1.9	1.6	3.6
	上三川中学校区	511	50.3	49.1	32.1	13.3	13.3	11.7	6.8	6.7	3.3	2.3	2.3	2.0
	明治中学校区	346	50.3	48.6	25.1	17.3	14.2	11.0	9.0	6.4	3.2	1.7	1.2	2.3

問 11 あなたが、いまの上三川町のイメージに近い言葉と思うものはどれですか。(3つまで○印)

いまの上三川町のイメージに近い言葉として、「素朴な」42.6%が最も多く、次いで「安心安全な」35.3%、「のびのびとした」23.5%、「快適な」20.0%、「便利な」18.9%と続きます。

前々回調査との比較では、「素朴な」が大きく増加しており、「のびのびとした」も増加が目立ちます。一方で、「こころ豊かな」、「笑顔あふれる」は大きく減少し、「安心安全な」も減少が目立ちます。

いまの上三川町のイメージに近いと思う言葉(前々回調査との比較)



【性別】

「素朴な」は、男性 41.3%、女性 43.4%となっています。男女差がややあるものとして「安心安全な」「美しい」「堅実な」は男性が女性を上回り、「のびのびとした」「笑顔あふれる」は女性が男性を上回ります。

【年代別】

20代から60代では「素朴な」が多くなっていますが、なかでも50代は59.4%と他の年代を上回ります。10代は「のびのびとした」が41.0%、70歳以上では「安心安全な」が57.1%と多くなっています。

【居住歴別】

生まれてからずっと住んでいる人は「安心安全な」が39.6%と「素朴な」38.7%をやや上回りますが、Uターン及び転入してきた人はいずれも「素朴な」をあげています。また、県内他市町村から転入してきた人で「便利な」が多くなっています。

【居住地域別】

いずれの地域も「素朴な」が4割台と多くなっていますが、「安心安全な」は本郷中学校区で39.8%、「便利な」は上三川中学校区でやや多くなっています。

いまの上三川町のイメージに近いと思う言葉(属性別)

		(n=)	素朴な	安心安全な	のびのびとした	快適な	便利な	ゆとりある	やさしい	すやか	こころ豊かな	堅実な	いきいきしている
性別	男	547	41.3	38.4	20.1	19.2	18.5	16.6	10.6	8.4	8.8	10.4	6.4
	女	636	43.4	33.0	26.7	20.6	19.7	14.6	11.5	10.5	8.5	6.8	8.5
年代別	10代	61	34.4	23.0	41.0	24.6	9.8	13.1	18.0	8.2	6.6	3.3	9.8
	20代	113	36.3	23.0	24.8	25.7	22.1	23.0	14.2	13.3	6.2	5.3	8.0
	30代	153	39.9	20.3	34.6	24.2	24.2	15.0	13.7	13.1	7.8	6.5	10.5
	40代	148	41.2	32.4	29.1	20.3	17.6	16.9	6.1	8.1	6.8	2.7	13.5
	50代	204	57.4	26.5	19.6	23.0	19.1	15.2	8.3	11.3	6.4	9.3	3.9
	60代	251	41.4	39.0	21.5	14.3	17.1	13.5	11.2	8.0	11.6	10.4	6.0
	70歳以上	268	38.8	57.1	14.2	17.2	19.0	14.2	12.3	7.1	10.4	12.3	6.0
居住歴別	生まれてからずっと	318	38.7	39.6	22.0	19.5	15.4	14.5	13.5	9.1	11.6	6.9	5.0
	Uターン	189	47.1	33.3	24.3	20.1	18.0	14.3	7.9	9.5	8.5	8.5	9.5
	県内他市町村から転入	436	44.5	31.9	23.6	20.0	23.4	16.3	10.6	9.2	6.7	8.5	9.2
	県外から転入	256	40.2	37.1	24.6	20.7	16.4	16.0	12.1	10.5	8.6	9.8	6.3
地域別 居住	本郷中学校区	309	45.6	39.8	27.5	17.2	16.5	18.4	10.4	11.7	10.0	8.4	5.2
	上三川中学校区	511	41.3	34.1	21.1	21.3	22.3	15.3	11.0	8.8	7.2	10.2	9.2
	明治中学校区	346	43.1	32.7	24.0	20.2	15.6	13.6	11.8	8.7	9.5	6.4	6.6

単位: %

		(n=)	笑顔あふれる	秩序ある	うるおいある	元気あふれる	美しい	活気にみちた	挑戦する	たくましい	かがやく	その他	無回答
性別	男	547	3.3	6.6	4.9	4.2	5.5	2.4	2.0	1.1	1.1	5.3	4.2
	女	636	6.9	3.6	4.1	4.2	2.7	2.0	1.4	1.3	0.3	3.6	3.3
年代別	10代	61	4.9	6.6	6.6	6.6	3.3	1.6	0.0	0.0	1.6	3.3	3.3
	20代	113	3.5	5.3	7.1	3.5	4.4	1.8	0.9	1.8	0.9	4.4	2.7
	30代	153	3.3	5.9	2.0	5.2	5.9	1.3	1.3	0.7	0.7	3.3	1.3
	40代	148	4.7	2.0	2.7	2.0	1.4	2.0	0.0	0.7	0.0	8.8	2.0
	50代	204	2.5	4.4	1.5	3.4	4.4	0.5	1.5	1.5	0.0	4.4	2.0
	60代	251	6.4	3.2	6.8	3.2	3.6	2.8	2.0	1.6	0.8	5.6	4.4
	70歳以上	268	8.2	8.2	5.2	6.0	3.7	3.7	3.4	1.1	1.1	1.9	7.8
居住歴別	生まれてからずっと	318	6.6	7.9	4.7	6.0	4.4	1.9	1.6	0.3	1.3	4.7	6.3
	Uターン	189	3.2	3.2	5.3	4.8	2.6	1.6	2.6	1.1	0.5	5.3	1.6
	県内他市町村から転入	436	5.0	5.0	4.6	3.0	3.2	3.0	0.5	1.6	0.2	4.1	3.4
	県外から転入	256	5.1	3.1	3.1	3.9	5.5	1.6	3.1	1.6	0.8	3.9	3.1
地域別 居住	本郷中学校区	309	5.2	5.5	4.2	2.9	3.9	2.9	1.0	1.0	0.6	4.2	3.6
	上三川中学校区	511	4.9	5.7	3.9	3.9	3.1	1.2	1.8	1.2	0.6	5.3	2.7
	明治中学校区	346	4.3	4.3	5.5	6.1	5.2	2.9	2.0	1.2	0.6	3.5	5.2

5 あなたの日ごろの行動などについて

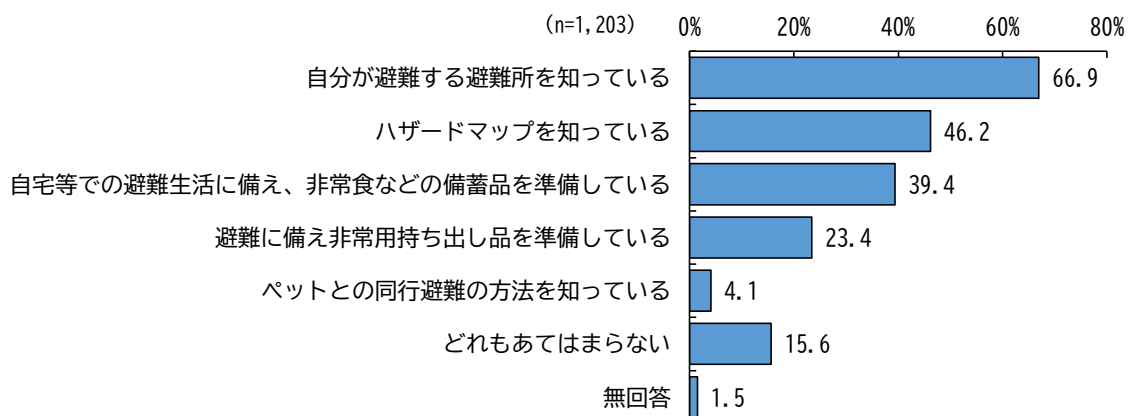
問 12 あなたの日頃の行動などについて、それぞれの項目ごとにお答えください。

(1) 豪雨や地震などによる災害が発生したときの避難場所や持ち出し品等について、あなたにあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

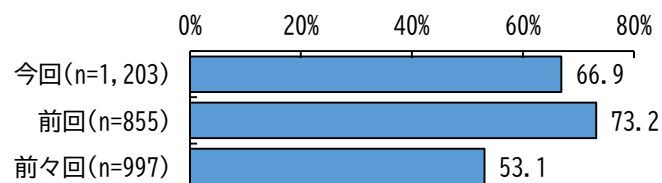
災害発生時の避難場所や持ち出し品について、「自分が避難する場所を知っている」66.9%、次いで「ハザードマップを知っている」46.2%、「自宅等での避難生活に備え、非常食などの備蓄品を準備している」39.4%、「ペットとの同行避難の方法を知っている」4.1%の順であり、「どれもあてはまらない」は15.6%となっています。

避難場所を知っている割合は、前回調査よりやや減少しています。

災害が発生したときの避難場所や持ち出し品等



自分が避難する避難所を知っている割合(経年比較)



【性別】

「自分が避難する避難所を知っている」は、男性 66.4%、女性 67.5%で同程度となっています。一方で、「ハザードマップを知っている」は男性 49.2%が女性 44.3%を上回るのに対し、「自宅等での避難生活に備え、非常食などの備蓄品を準備している」は女性 41.7%が男性 36.9%を上回ります。

【年代別】

「自分が避難する避難所を知っている」は、60代 74.9%、70歳以上 70.9%、10代 70.5%で多くなっていますが、30代では 52.3%、20代では 54.0%にとどまっています。

【居住歴別】

「自分が避難する避難所を知っている」は、生まれてからずっと住んでいる人よりも転入してきた人の方が多くなっています。

【居住地区別】

「自分が避難する避難所を知っている」は本郷中学校区 72.5%、明治中学校区 70.5%、上三川中学校区 62.8%となっています。

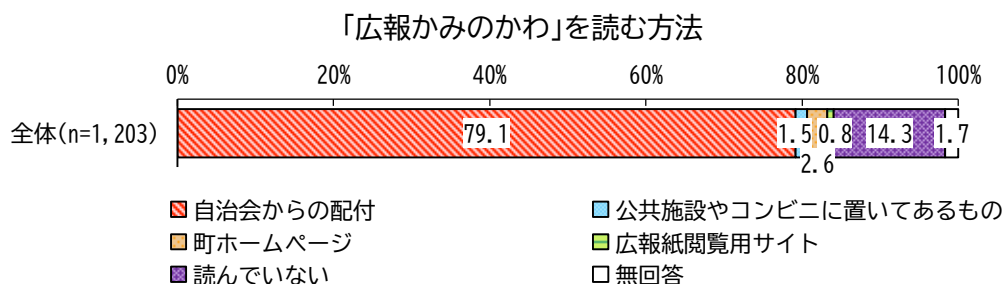
災害が発生したときの避難場所や持ち出し品等(属性別)

単位: %

		(n=)	自分が避難する避難所を知っている	ハザードマップを知っている	自宅等での避難生活に備え、非常食などの備蓄品を準備している	避難に備え非常用持ち出し品を準備している	ペットとの同行避難の方法を知っている	どれもあてはまらない	無回答
性別	男	547	66.4	49.2	36.9	24.7	3.8	16.8	1.6
	女	636	67.5	44.3	41.7	22.3	4.4	14.5	1.3
年代別	10代	61	70.5	44.3	37.7	18.0	6.6	14.8	0.0
	20代	113	54.0	34.5	33.6	22.1	6.2	28.3	0.9
	30代	153	52.3	38.6	41.2	34.0	5.9	26.1	0.0
	40代	148	67.6	45.9	36.5	25.7	2.7	16.2	0.0
	50代	204	68.6	49.0	40.2	21.6	5.4	12.3	1.5
	60代	251	74.9	51.8	46.2	19.5	2.0	12.0	0.4
	70歳以上	268	70.9	49.3	35.1	22.8	3.0	10.4	4.9
居住歴別	生まれてからずっと	318	64.2	42.1	34.0	18.6	4.7	18.2	3.8
	Uターン	189	64.6	45.5	33.9	23.3	0.5	17.5	1.1
	県内他市町村から転入	436	68.1	47.0	40.4	25.7	5.5	13.5	0.7
	県外から転入	256	69.9	50.8	48.4	25.8	3.5	14.8	0.4
地域別 居住	本郷中学校区	309	72.5	47.6	39.2	19.4	3.6	12.9	1.6
	上三川中学校区	511	62.8	46.8	38.2	23.7	3.9	18.4	0.8
	明治中学校区	346	70.5	46.2	41.9	27.5	4.9	12.4	1.7

(2) 「広報かみのかわ」は、主にどんな方法で読んでいますか。(1つに○印)

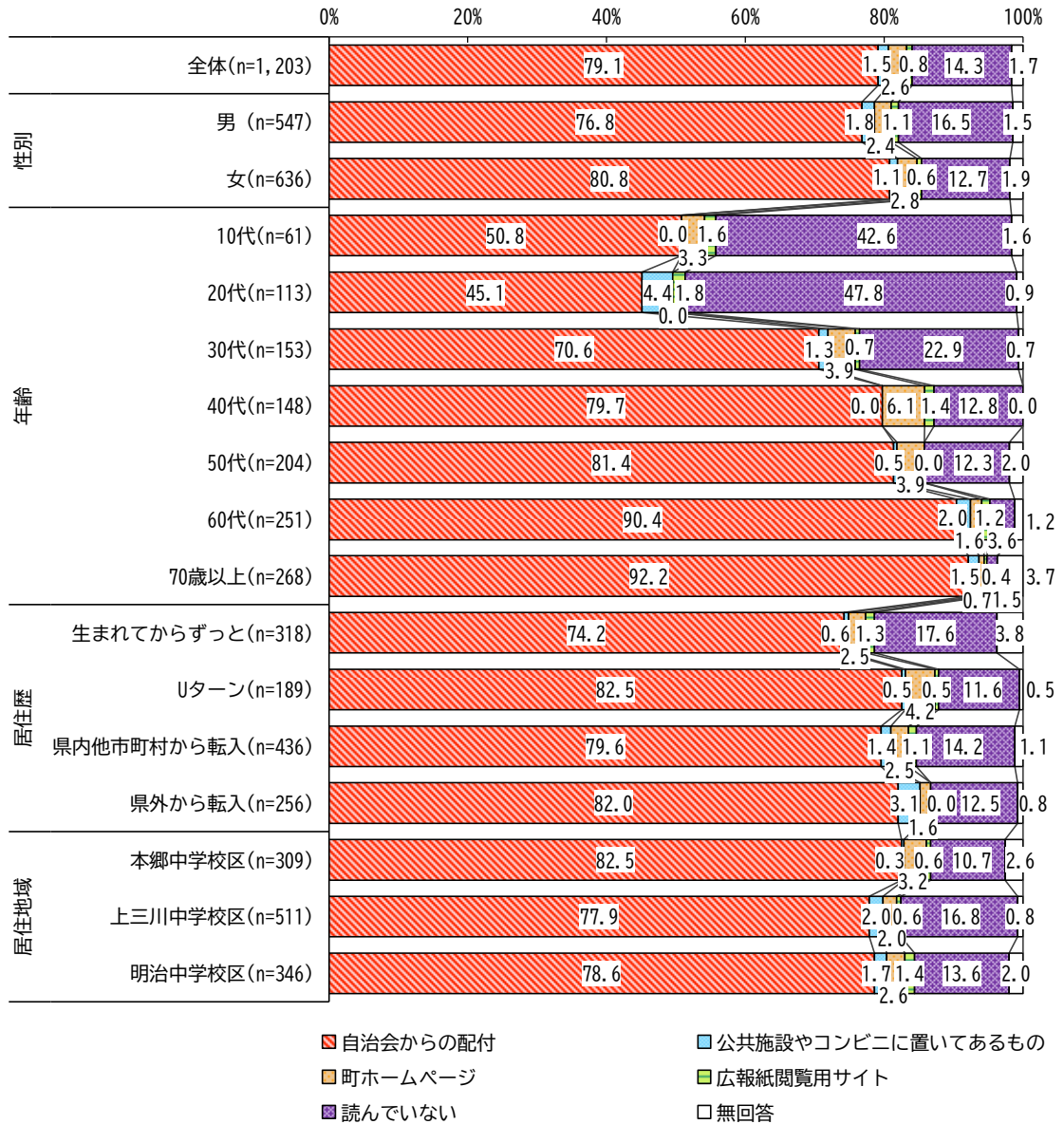
「広報かみのかわ」を読む方法について、「自治会からの配布」が79.1%と約8割となっています。次いで「町ホームページ」2.6%、「公共施設やコンビニに置いてあるもの」1.5%、「広報紙閲覧用サイト」0.8%であり、「読んでいない」は14.3%となっています。



【年代別】

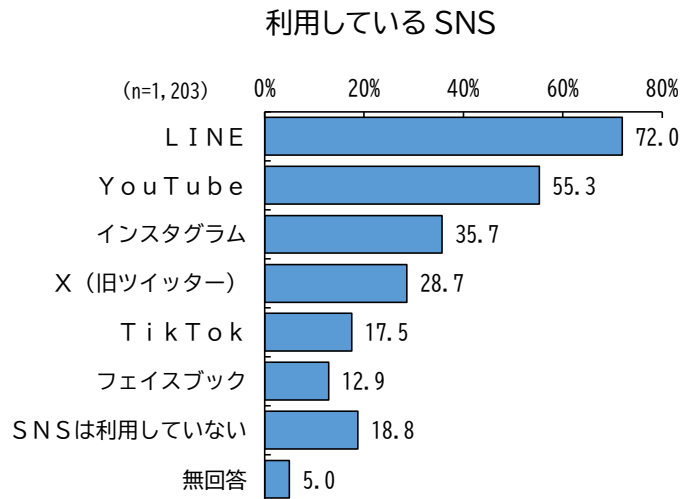
「自治会からの配布」は年齢に比例して70歳以上92.2%、60代90.4%、50代81.4%、40代79.7%、30代70.6%であり、20代になると45.1%、10代50.8%にとどまります。10代、20代は「読んでいない」が各42.6%、47.8%となっています。

「広報かみのかわ」を読む方法(属性別)



(3) 利用しているSNSはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

利用しているSNSについて、「LINE」72.0%、次いで「YouTube」55.3%、「インスタグラム」35.7%、「X (旧ツイッター)」28.7%、「TikTok」17.5%、「フェイスブック」12.9%となっています。一方、「SNSは利用していない」は18.8%となっています。



【性別】

「LINE」は、女性76.1%が男性68.2%を、「インスタグラム」についても女性42.3%が男性27.8%を上回ります。「インスタグラム」については大きな差があります。

【年代別】

「LINE」は、20代で98.2%、10代95.1%と若い世代では9割を超えています。30代から50代は8割台、60代67.7%、70歳以上35.4%となっています。

「YouTube」「インスタグラム」「TikTok」は、「LINE」と同じく10代、20代の若い世代に多く、年齢とともに利用は少なくなります。「SNSは利用していない」は70歳以上で42.9%となっています。

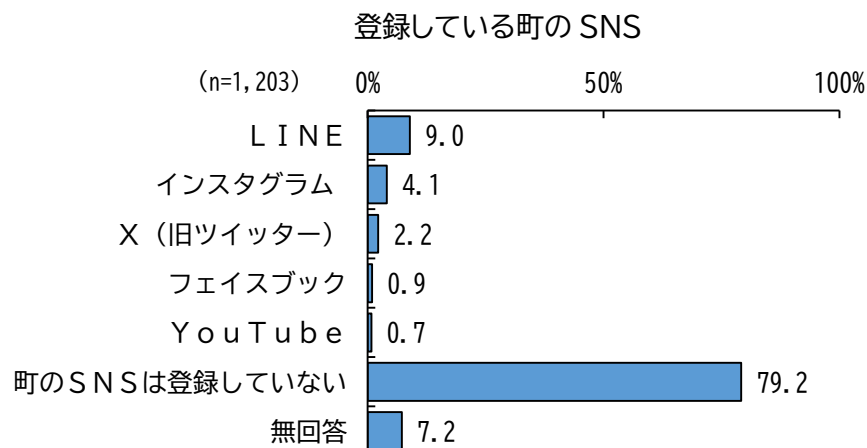
利用している SNS(属性別)

単位：%

		(n=)	LINE	YouTube	インスタグラム	X(旧ツイッター)	TikTok	フェイスブック	SNSは利用していない	無回答
性別	男	547	68.2	55.2	27.8	27.8	14.3	15.2	21.2	4.2
	女	636	76.1	55.8	42.3	29.4	20.6	11.2	16.2	5.5
年代別	10代	61	95.1	93.4	72.1	65.6	65.6	13.1	0.0	0.0
	20代	113	98.2	90.3	75.2	78.8	40.7	7.1	0.9	0.9
	30代	153	86.3	81.7	63.4	46.4	21.6	21.6	7.2	0.0
	40代	148	88.5	70.9	56.8	40.5	23.0	23.6	5.4	0.0
	50代	204	81.9	58.3	37.7	25.0	18.6	20.6	13.2	1.0
	60代	251	67.7	45.8	14.3	11.6	6.0	9.2	24.7	2.8
	70歳以上	268	35.4	14.6	1.9	1.9	1.5	2.2	42.9	18.7
居住歴別	生まれてからずっと	318	67.0	53.5	34.0	33.0	20.1	9.1	22.0	6.9
	Uターン	189	73.5	54.0	37.6	29.6	19.0	18.5	19.6	3.7
	県内他市町村から転入	436	73.9	58.3	40.1	28.2	19.0	13.5	17.7	4.1
	県外から転入	256	74.2	53.5	28.9	23.8	10.5	12.5	16.0	5.1
地域別 居住	本郷中学校区	309	72.2	56.0	36.6	27.5	15.2	12.3	18.8	5.5
	上三川中学校区	511	73.6	55.6	35.6	29.9	17.6	12.9	17.8	3.7
	明治中学校区	346	73.4	56.4	35.5	29.2	20.2	14.2	18.8	4.3

(4) 町のSNSを登録されていますか。(あてはまるものすべてに○印)

登録している町のSNSは、「LINE」9.0%、次いで「インスタグラム」4.1%、「X(旧ツイッター)」2.2%、「フェイスブック」0.9%、「YouTube」0.7%であり、「町のSNSは登録していない」は79.2%となっています。



【性別】

「LINE」は、女性 10.2%が男性 7.3%をやや上回り、「インスタグラム」についても女性 5.0%が男性 2.7%を上回ります。これに対し、「町の SNS は登録していない」は男性 83.4%が女性 75.8%を上回ります。

【年代別】

「LINE」は、40代 10.8%、60代 10.0%、30代及び50代ともに 9.8%、70歳以上 9.7%と続き、若い世代の10代、20代は3%台にとどまります。10代では「LINE」よりも「X(旧ツイッター)」「インスタグラム」、20代では「インスタグラム」が多くなっています。「インスタグラム」は30代のみ 12.4%と1割を超えています。

「町の SNS は登録していない」は10代 90.2%、20代 89.4%、50代 83.8%、40代 80.4%、60代 80.1%、70代 77.1%、70歳以上 68.3%の順であり、年代とともに登録していないは少なくなります。

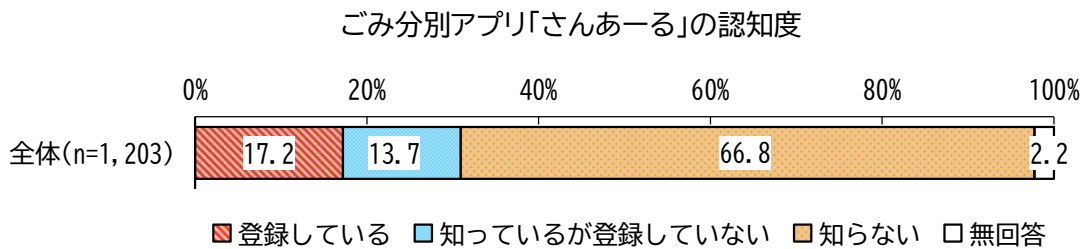
登録している町の SNS(属性別)

単位:%

		(n=)	LINE	インスタグラム	X(旧ツイッター)	フェイスブック	YouTube	町の SNS は登録していない	無回答
性別	男	547	7.3	2.7	2.9	0.9	0.7	83.4	5.9
	女	636	10.2	5.0	1.7	0.8	0.6	75.8	8.3
年代別	10代	61	3.3	4.9	4.9	1.6	0.0	90.2	1.6
	20代	113	3.5	5.3	2.7	1.8	0.9	89.4	0.9
	30代	153	9.8	12.4	3.3	0.7	0.7	77.1	0.7
	40代	148	10.8	6.1	4.7	1.4	2.7	80.4	0.7
	50代	204	9.8	3.9	1.5	1.5	0.0	83.8	2.5
	60代	251	10.0	1.2	1.2	0.4	0.0	80.1	8.0
	70歳以上	268	9.7	0.4	1.1	0.4	1.1	68.3	21.6
居住歴別	生まれてからずっと	318	8.2	5.0	2.8	1.9	0.6	77.0	9.7
	Uターン	189	6.9	3.7	2.1	0.5	0.0	80.4	8.5
	県内他市町村から転入	436	10.1	4.1	2.8	0.7	1.1	80.3	4.8
	県外から転入	256	9.8	3.1	0.8	0.4	0.8	78.9	7.4
地域別 居住	本郷中学校区	309	8.7	3.6	2.3	0.6	0.6	78.0	8.7
	上三川中学校区	511	9.0	4.9	2.0	1.4	0.6	80.8	5.3
	明治中学校区	346	9.2	2.6	2.9	0.6	0.9	79.2	7.8

(5) あなたは、ごみ分別アプリ「さんあーる」をご存じですか。(1つに○印)

「さんあーる」について、「知らない」が66.8%、次いで「登録している」17.2%、「知っているが登録していない」13.7%となっています。



【性別】

「登録している」は、女性18.2%、男性15.5%となっています。これに対し、「知らない」は男性68.2%、女性65.7%となっています。

【年代別】

「登録している」は、30代31.4%、40代27.0%、50代21.1%、60代17.9%、20代12.4%、10代6.6%、70歳以上4.1%と子育て世代で高い割合となっています。

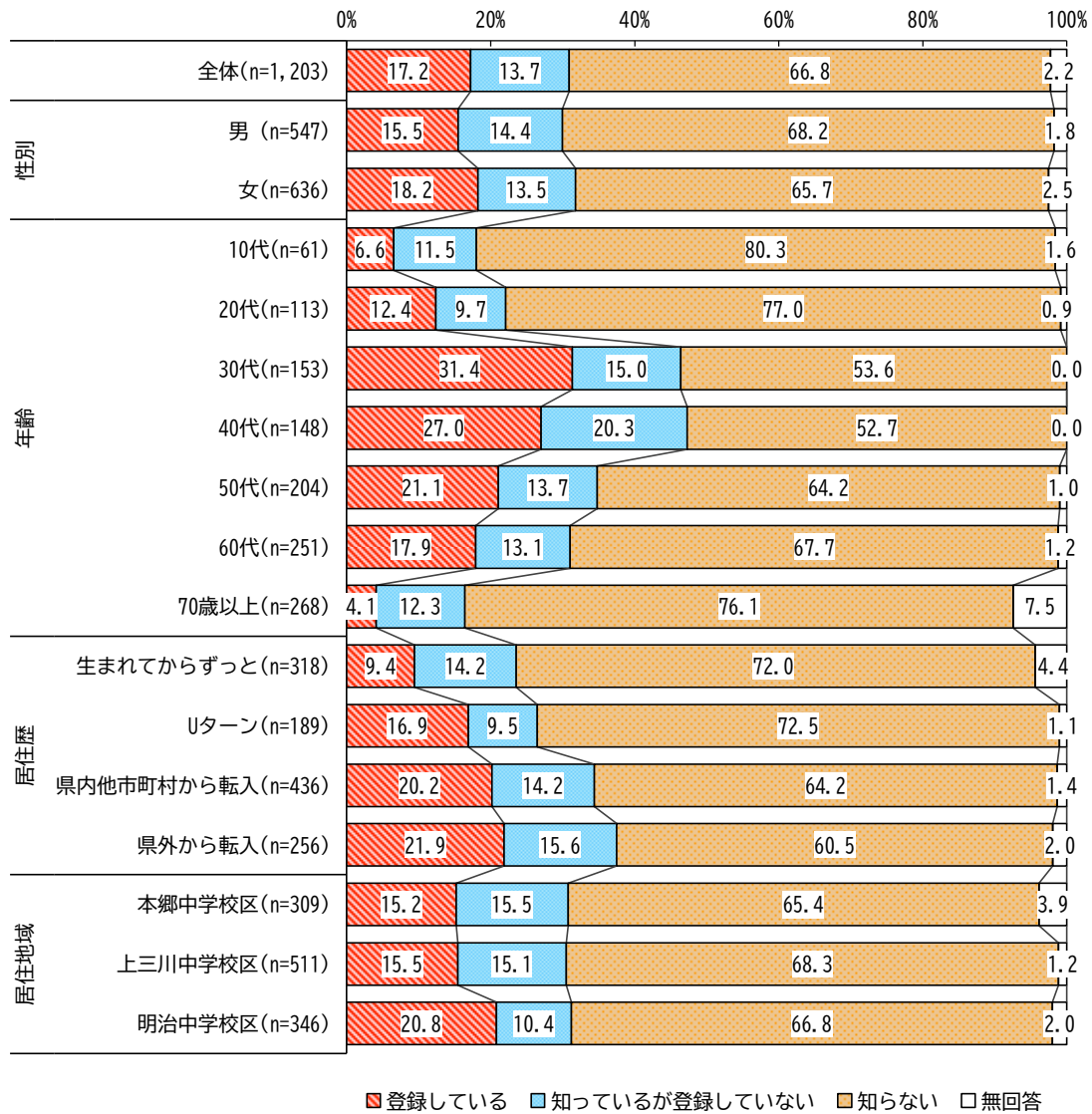
【居住歴別】

「登録している」は、生まれてからずっと住んでいる人9.4%、Uターン16.9%に対し、県内他市町村から転入してきた人20.2%、県外から転入してきた人21.9%というように、転入の人の方が高い割合となっています。

【居住地域別】

「登録している」は、明治中学校区20.8%と、上三川中学校区15.5%、本郷中学校区15.2%を上回ります。「知らない」は、上三川中学校区68.3%、明治中学校区66.8%、本郷中学校区65.4%となっています。

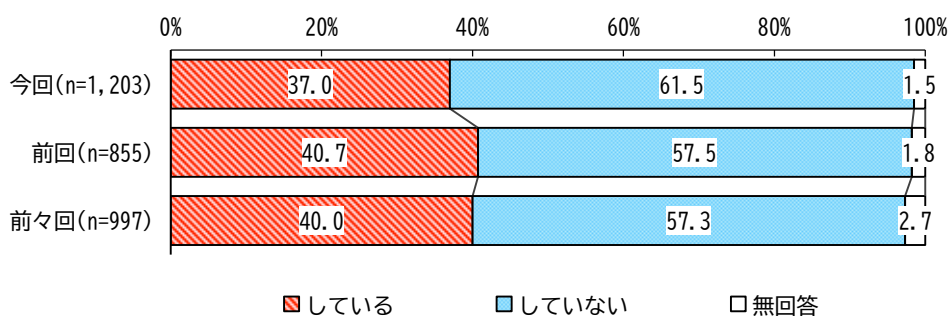
ごみ分別アプリ「さんあーる」の認知度(属性別)



(6) あなたは日頃、町内の商店（大型店以外）で買い物をしていますか。（1つに○印）

町内の商店（大型店以外）で買い物を「していない」61.5%、「している」37.0%となっています。前々回調査及び前回調査では、「している」が約4割台でしたが、今回調査では減少しています。

町内の商店(大型店以外)で買い物する割合(経年比較)



【性別】

「していない」は、男性 63.3%、女性 60.1%となっています。

【年代別】

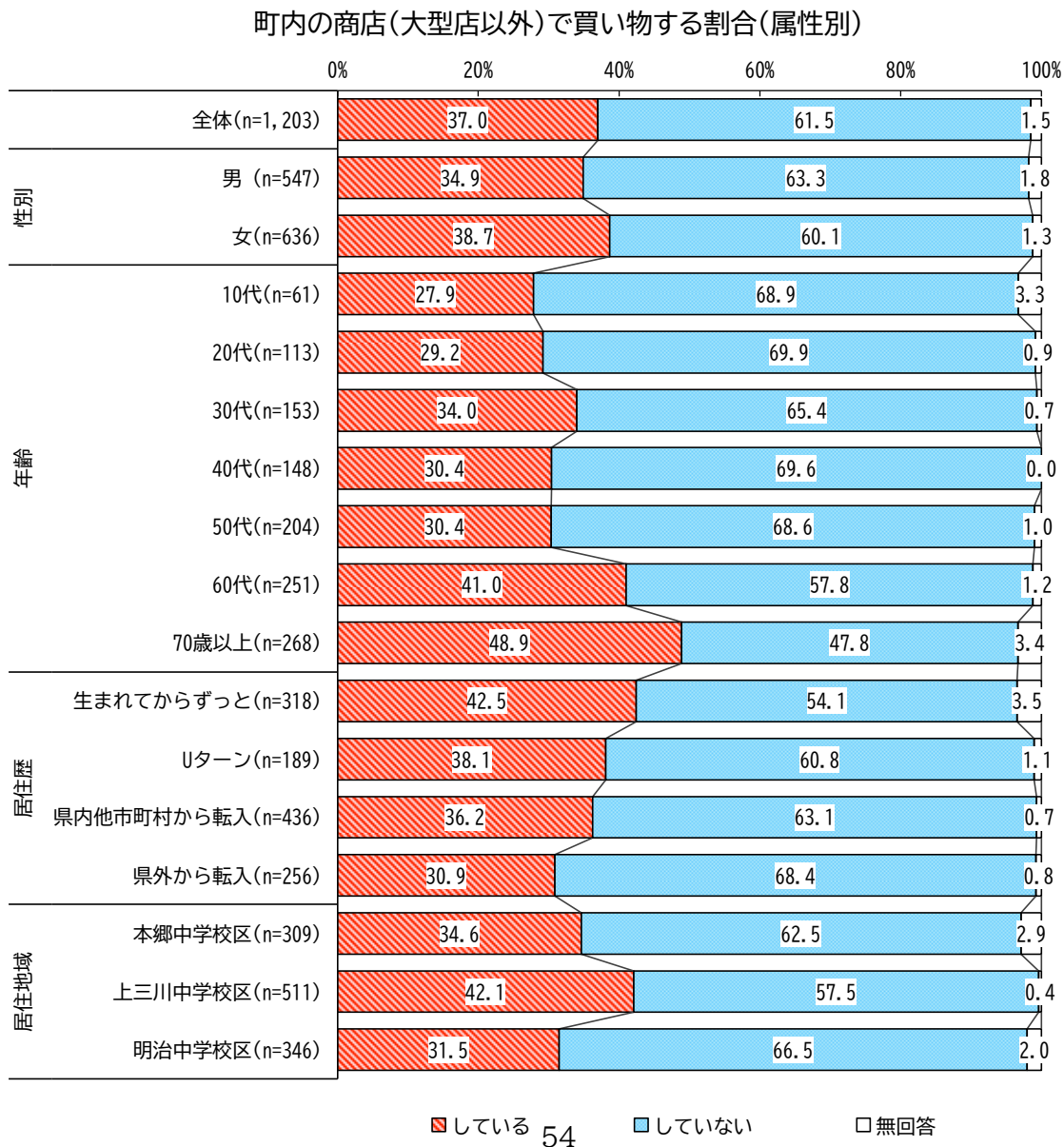
「している」は、70 歳以上 48.9%、60 代 41.0%、30 代 34.0%、40 代及び 50 代ともに 30.4%、20 代 29.2%、10 代 27.9%と若い年代で少なくなっています。

【居住歴別】

「している」は、生まれてからずっと住んでいる人 42.5%、Uターン 38.1%、県内他市町村から転入してきた人 36.2%、県外から転入してきた人 30.9%とある程度居住歴と相関しています。

【居住地域別】

「している」は、上三川中学校区 42.1%、本郷中学校区 34.6%、明治中学校区 31.5%となっています。

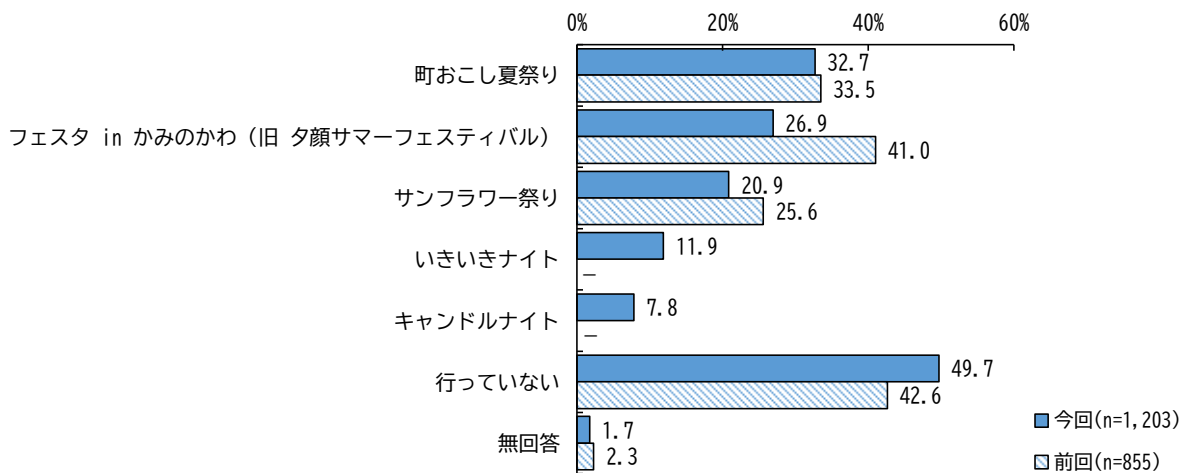


(7) あなたが、直近3年間の間で、行ったことがある上三川町のお祭りは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○印)

直近3年間で行ったことがある町のお祭りは、「町おこし夏祭り」32.7%、「フェスタ in かみのかわ (旧 夕顔サマーフェスティバル)」26.9%、「サンフラワー祭り」20.9%、「いきいきナイト」11.9%、「キャンドルナイト」7.8%であり、半数は「行っていない」49.7%となっている。

前回調査との比較では、「町おこし夏祭り」は同程度ですが、「フェスタ in かみのかわ (旧 夕顔サマーフェスティバル)」「サンフラワー祭り」は減少し、「行っていない」が増加しています。

直近3年間の間で行ったことがある上三川町のお祭り(前回調査との比較)



【性別】

「町おこし夏祭り」は、男性 34.7%が女性 31.0%を上回りますが、その他のお祭りは女性が男性を上回ります。「行っていない」は男性 52.7%、女性 47.2%となっています。

【年代別】

「町おこし夏祭り」は、30代 51.6%、10代 50.8%、40代 45.9%、20代 34.5%の順であり、50代以上では2割台にとどまります。

「フェスタ in かみのかわ (旧 夕顔サマーフェスティバル)」は、10代 49.2%、40代 41.2%、30代 39.2%、20代 32.7%、「町おこし夏祭り」と同じく40代以下で高い割合となっています。

「サンフラワー祭り」は、30代 31.4%、40代 23.6%、10代 23.0%、70歳以上 22.0%、60代 18.3%と幅広い年代となっています。

「いきいきナイト」「キャンドルナイト」は、30代、40代の子育て家庭がイメージできます。

「行っていない」は、60代 62.2%、50代 57.4%、70歳以上 56.0%、20代 43.4%、40代 41.9%の順となっています。20代は、50代以上と同じく「行っていない」が最も多くなっています。

【居住歴別】

「町おこし夏祭り」がいずれも多く、生まれてからずっと住んでいる人 36.8%、県内他市町村から転入してきた人 32.3%、Uターン 31.7%、県外から転入してきた人 28.9%となっています。

「フェスタ in かみのかわ (旧 夕顔サマーフェスティバル)」「サンフラワー祭り」「いきいきナイト」は、いずれも生まれてからずっと住んでいる人が他を上回ります。「キャンドルナイト」は、県内他市町村からの転入 9.2%が最も多くなっています。

【居住地域別】

「町おこし夏祭り」は、上三川中学校区 43.4%が本郷中学校区 25.2%、明治中学校区 23.1%を大きく上回ります。「フェスタ in かみのかわ (旧 夕顔サマーフェスティバル)」「いきいきナイト」「キャンドルナイト」も、上三川中学校区が他地域を上回ります。

「サンフラワー祭り」は、本郷中学校区 25.9%が他地域を上回ります。

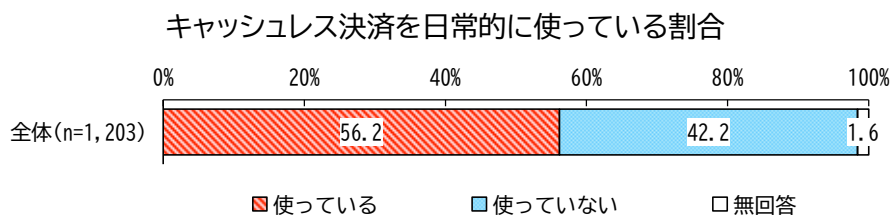
直近3年間の間で行ったことがある上三川町のお祭り(属性別)

		(n=)	町おこし夏祭り	フェスタ in かみのかわ (旧 夕顔サマーフェスティバル)	サンフラワー祭り	いきいきナイト	キャンドルナイト	行っていない	無回答
性別	男	547	34.7	24.5	19.4	9.3	6.4	52.7	2.0
	女	636	31.0	29.1	22.0	14.2	9.3	47.2	1.6
年代別	10代	61	50.8	49.2	23.0	23.0	9.8	24.6	1.6
	20代	113	34.5	32.7	13.3	9.7	5.3	43.4	2.7
	30代	153	51.6	39.2	31.4	24.2	19.0	30.1	0.0
	40代	148	45.9	41.2	23.6	25.0	20.3	41.9	0.7
	50代	204	22.5	23.0	16.2	7.8	5.4	57.4	1.0
	60代	251	23.1	17.1	18.3	7.6	3.6	62.2	1.6
	70歳以上	268	26.5	16.4	22.0	3.4	1.1	56.0	3.7
居住歴別	生まれてからずっと	318	36.8	34.3	24.5	12.9	6.6	41.8	3.5
	Uターン	189	31.7	25.4	16.9	12.2	7.4	54.0	1.1
	県内他市町村から転入	436	32.3	25.2	21.3	11.7	9.2	49.8	0.9
	県外から転入	256	28.9	21.5	18.4	10.9	7.4	56.3	1.6
地域別 居住	本郷中学校区	309	25.2	22.3	25.9	5.8	5.5	52.1	2.6
	上三川中学校区	511	43.4	31.1	20.7	18.2	11.4	44.0	0.6
	明治中学校区	346	23.1	26.0	17.3	8.7	4.9	56.1	2.6

単位:%

(8) あなたは、キャッシュレス決済を日常的に使っていますか。(1つに○印)

キャッシュレス決済の使用について、「使っている」56.2%、「使っていない」42.2%となっています。



【性別】

「使っている」は、女性 57.4%、男性 55.6%となっています。

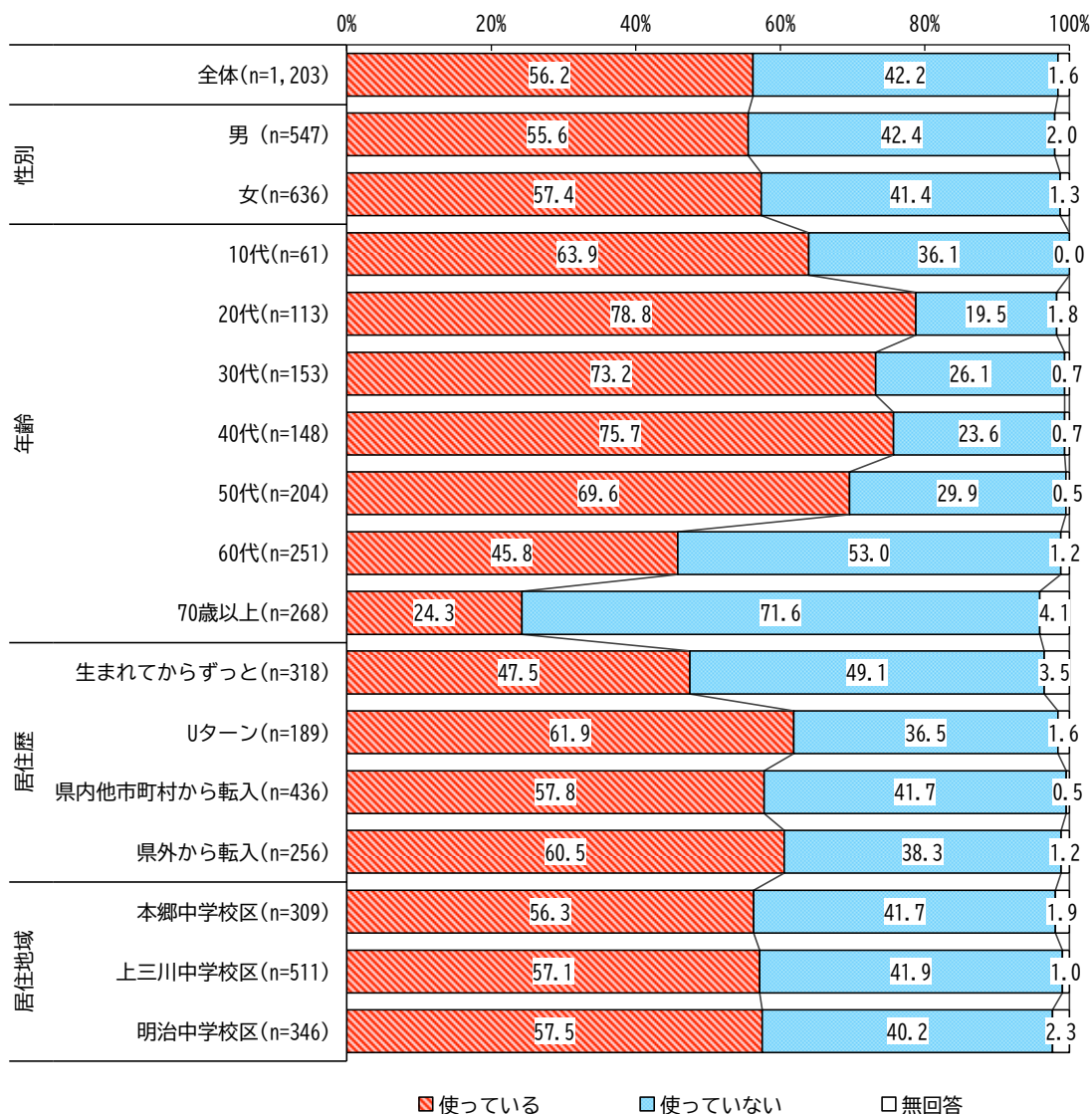
【年代別】

「使っている」は、20代 78.8%、40代 75.7%、30代 73.2%、50代 69.6%、10代 63.9%、60代 45.8%、70歳以上 24.3%となっています。

【居住地域別】

「使っている」は、明治中学校区 57.5%、上三川中学校区 57.1%、本郷中学校区 56.3%とほとんど差はありません。

キャッシュレス決済を日常的に使っている割合(属性別)

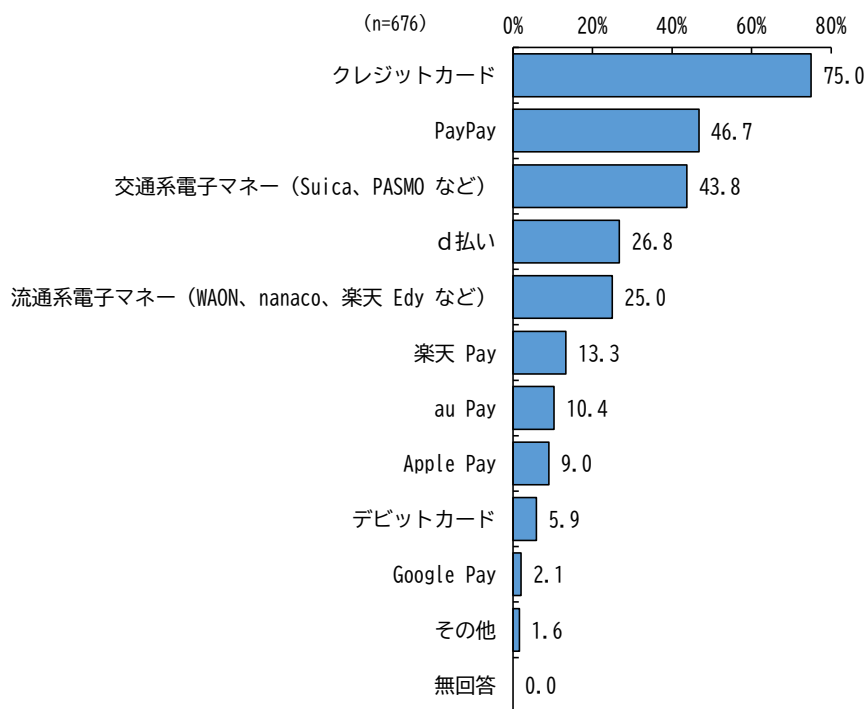


(8) で「1. 使っている」を選んだ方に伺います。

(9) あなたが、日常的に使っているキャッシュレス決済サービスは次のうちどれですか。
(あてはまるものすべてに○印)

日常的に使用するキャッシュレス決済サービスは、「クレジットカード」75.0%、「PayPay」46.7%、「交通系電子マネー (Suica、PASMO など)」43.8%、「d払い」26.8%、「流通系電子マネー (WAON、nanaco、楽天 Edy など)」25.0%と続きます。

日常的に使っているキャッシュレス決済サービス



【性別】

「クレジットカード」は、女性 80.8%が男性 68.4%を上回りますが、「PayPay」は男性 49.3%が女性 44.9%を上回ります。

【年代別】

10代を除いては、すべての年代で「クレジットカード」が7～8割と高い割合となっています。10代は「PayPay」が74.4%と「クレジットカード」を大きく上回ります。

日常的に使っているキャッシュレス決済サービス(属性別)

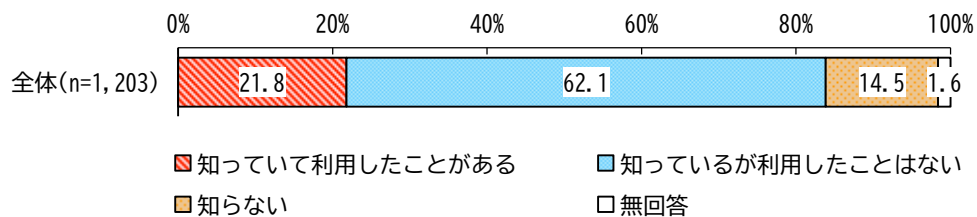
単位: %

		(n=)	クレジットカード	PayPay	交通系電子マネー(Suica, PASMOなど)	d払い	On! naco、楽天edyna()	流通系電子マネー(WAON、nanaco、楽天edyna)	楽天Pay	auPay	Apple Pay	デビットカード	Google Pay	その他	無回答
性別	男	304	68.4	49.3	45.4	26.3	17.8	13.2	11.2	9.2	6.3	2.3	1.3	0.0	
	女	365	80.8	44.9	42.2	26.6	31.0	13.4	9.6	8.5	5.8	1.9	1.9	0.0	
年代別	10代	39	23.1	74.4	66.7	7.7	12.8	10.3	0.0	15.4	2.6	5.1	0.0	0.0	
	20代	89	76.4	66.3	60.7	15.7	7.9	16.9	10.1	21.3	5.6	2.2	5.6	0.0	
	30代	112	83.0	51.8	31.3	25.0	21.4	20.5	9.8	8.9	4.5	5.4	2.7	0.0	
	40代	112	75.9	47.3	33.9	28.6	24.1	20.5	16.1	9.8	3.6	0.9	1.8	0.0	
	50代	142	85.9	43.7	50.0	31.7	32.4	9.2	9.9	6.3	5.6	1.4	0.0	0.0	
	60代	115	73.0	34.8	44.3	33.0	37.4	7.8	12.2	4.3	9.6	0.9	0.9	0.0	
	70歳以上	65	70.8	21.5	30.8	32.3	26.2	4.6	6.2	0.0	9.2	0.0	0.0	0.0	
居住歴別	生まれてからずっと	151	62.9	51.7	45.7	21.2	23.8	11.9	8.6	10.6	7.3	1.3	0.7	0.0	
	Uターン	117	83.8	44.4	42.7	26.5	19.7	10.3	13.7	10.3	5.1	2.6	1.7	0.0	
	県内他市町村から転入	252	77.8	45.2	41.7	27.8	28.2	13.9	11.5	7.1	4.4	0.8	2.4	0.0	
	県外から転入	155	76.1	46.5	45.8	31.0	25.2	16.1	7.7	9.0	7.7	4.5	1.3	0.0	
地域別 居住	本郷中学校区	174	69.0	45.4	39.1	33.3	25.3	11.5	12.1	8.6	6.3	2.9	0.6	0.0	
	上三川中学校区	292	79.8	44.9	44.5	28.1	22.9	15.1	9.6	7.9	4.8	1.7	1.4	0.0	
	明治中学校区	199	73.9	51.8	46.2	19.1	28.1	12.6	10.6	10.1	7.5	2.0	2.5	0.0	

(10) あなたは上三川町ORIGAMIプラザをご存じですか。(1つに○印)

上三川町ORIGAMIプラザについて、「知っているが利用したことはない」が62.1%、次いで「知っていて利用したことがある」21.8%、「知らない」14.5%となっています。利用は2割にとどまります。

上三川町ORIGAMIプラザの認知度



【性別】

「知っていて利用したことがある」は、女性 24.7%が男性 18.8%を上回るのに対し、「知らない」は男性 17.4%が女性 11.8%を上回ります。

【年代別】

「知っていて利用したことがある」は、30代が45.1%と他の年代を大きく上回ります。「知らない」は10代24.6%、20代24.8%で多くなっています。

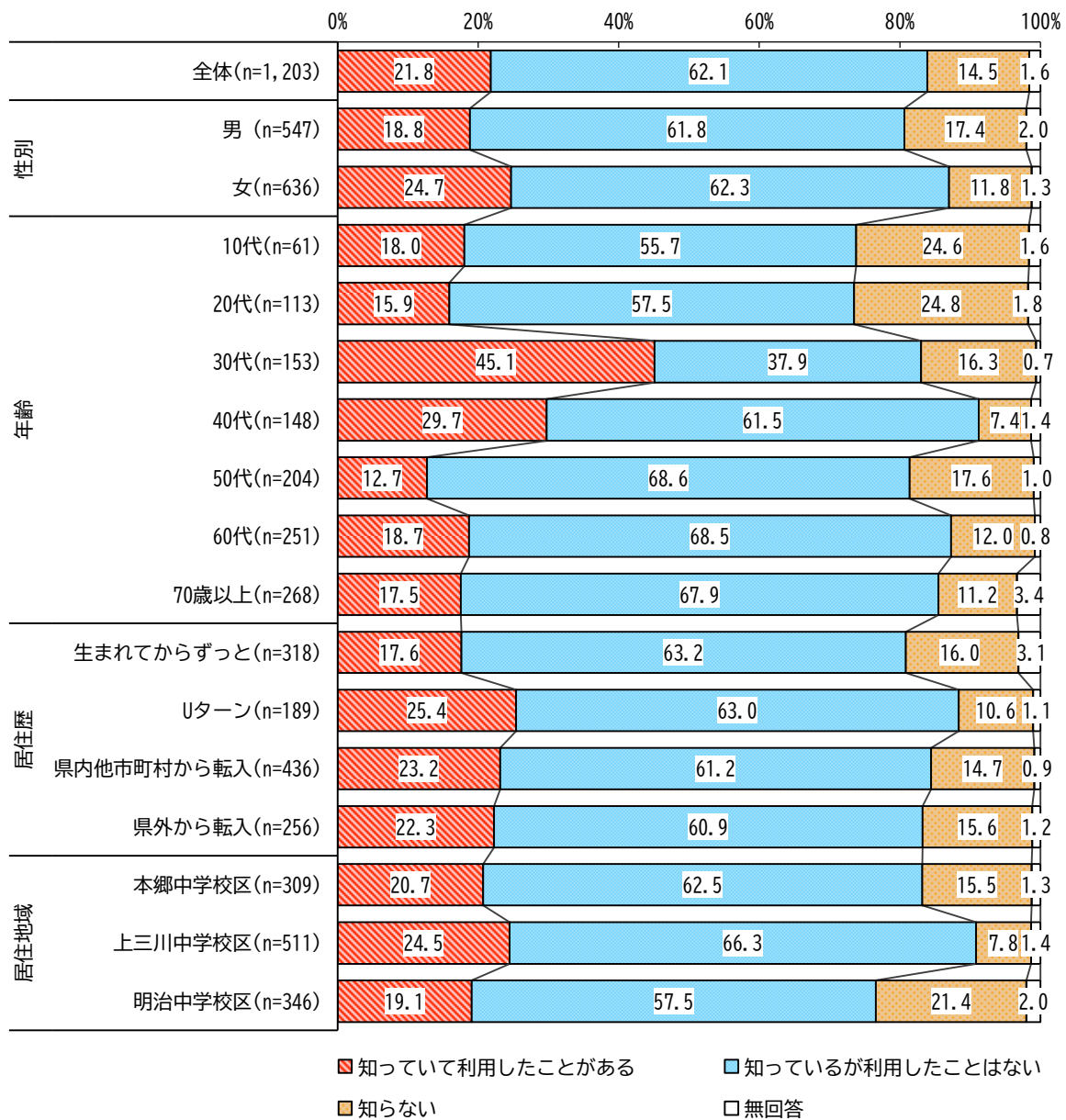
【居住歴別】

「知っていて利用したことがある」は、Uターン 25.4%、県内各市町村から転入してきた人 23.2%、県外から転入してきた人 22.3%、生まれてからずっと住んでいる人 17.6%となっています。

【居住地域別】

「知っていて利用したことがある」は、上三川中学校区 24.5%、本郷中学校区 20.7%、明治中学校区 19.1%となっています。「知っているが利用したことはない」は、やはり上三川中学校区で最も多くなっています。「知らない」は、明治中学校区で2割超えと他地域を上回ります。

上三川町ORIGAMIプラザの認知度(属性別)

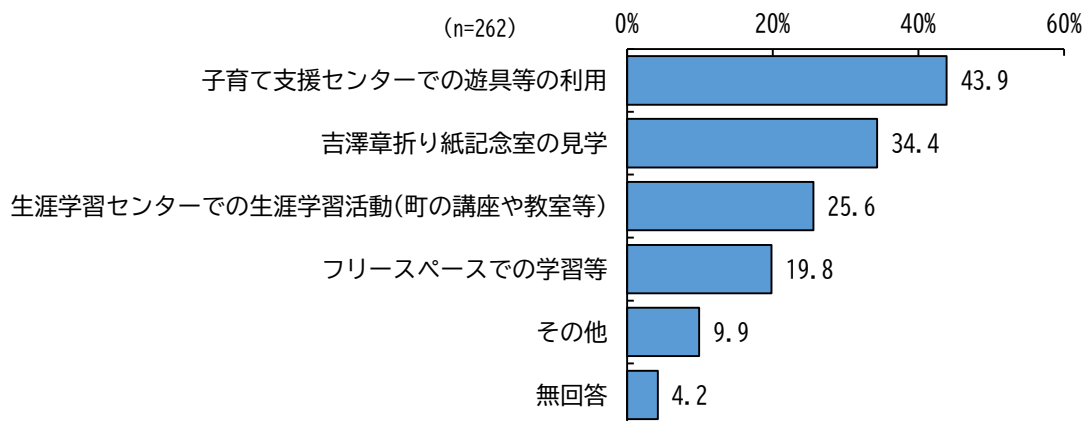


上記（10）で「2.知っている利用したことがある」を選んだ方に伺います。

（11）何を利用しましたか。（あてはまるものすべてに○印）

利用は、「子育て支援センターでの遊具等の利用」43.9%が最も多く、次いで「吉澤章折り紙記念室の見学」34.4%、「生涯学習センターでの生涯学習活動(町の講座や教室等)」25.6%、「フリースペースでの学習等」19.8%、「その他」9.9%となっています。

上三川町ORIGAMIプラザで利用したもの



【性別】

「フリースペースでの学習等」を除いては、女性が男性を上回ります。

【年代別】

「子育て支援センターでの遊具等の利用」は、30代89.9%、40代63.6%、「吉澤章折り紙記念室の見学」は50代42.3%、60代で57.4%、「フリースペースでの学習等」は10代81.8%、20代50.0%、「生涯学習センターでの生涯学習活動(町の講座や教室等)」は70歳以上48.9%が最も多くなっています。

【居住歴別】

いずれの居住歴も「子育て支援センターでの遊具等の利用」が多くなっています。

【居住地域別】

「子育て支援センターでの遊具等の利用」は、上三川中学校区52.8%、明治中学校区42.4%ですが、本郷中学校区は26.6%にとどまります。本郷中学校区は、「吉澤章折り紙記念室の見学」が43.8%と最も多くなっています。

上三川町ORIGAMIプラザで利用したもの(属性別)

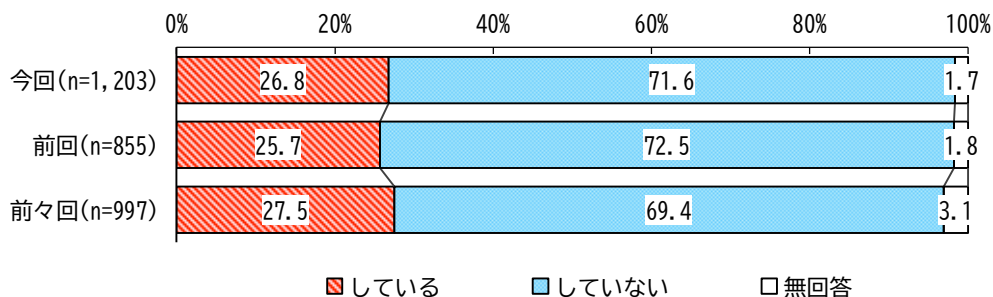
単位:%

		(n=)	生涯学習センターでの生涯学習活動(町の講座や教室等)	子育て支援センターでの遊具等の利用	吉澤章折り紙記念室の見学	フリースペースでの学習等	その他	無回答
性別	男	103	22.3	36.9	29.1	20.4	12.6	5.8
	女	157	28.0	48.4	37.6	19.1	8.3	3.2
年代別	10代	11	0.0	9.1	18.2	81.8	0.0	9.1
	20代	18	5.6	33.3	0.0	50.0	5.6	11.1
	30代	69	7.2	89.9	24.6	13.0	1.4	0.0
	40代	44	22.7	63.6	29.5	18.2	11.4	2.3
	50代	26	34.6	19.2	42.3	7.7	19.2	3.8
	60代	47	40.4	21.3	57.4	17.0	8.5	8.5
	70歳以上	47	48.9	6.4	42.6	14.9	21.3	4.3
居住歴別	生まれてからずっと	56	23.2	33.9	32.1	30.4	5.4	8.9
	Uターン	48	27.1	41.7	22.9	12.5	10.4	4.2
	県内他市町村から転入	101	20.8	46.5	36.6	19.8	11.9	4.0
	県外から転入	57	35.1	50.9	42.1	15.8	10.5	0.0
地域別 居住	本郷中学校区	64	25.0	26.6	43.8	17.2	17.2	9.4
	上三川中学校区	125	22.4	52.8	32.8	24.0	6.4	1.6
	明治中学校区	66	33.3	42.4	31.8	16.7	10.6	1.5

(12) あなたは、週1回以上、スポーツ活動をしていますか。(1つに○印)

週1回以上のスポーツ活動について、「していない」71.6%、「している」26.8%となっています。前回調査及び前々回調査との比較では、「している」は同程度となっています。

週1回以上スポーツ活動をしている割合(経年比較)

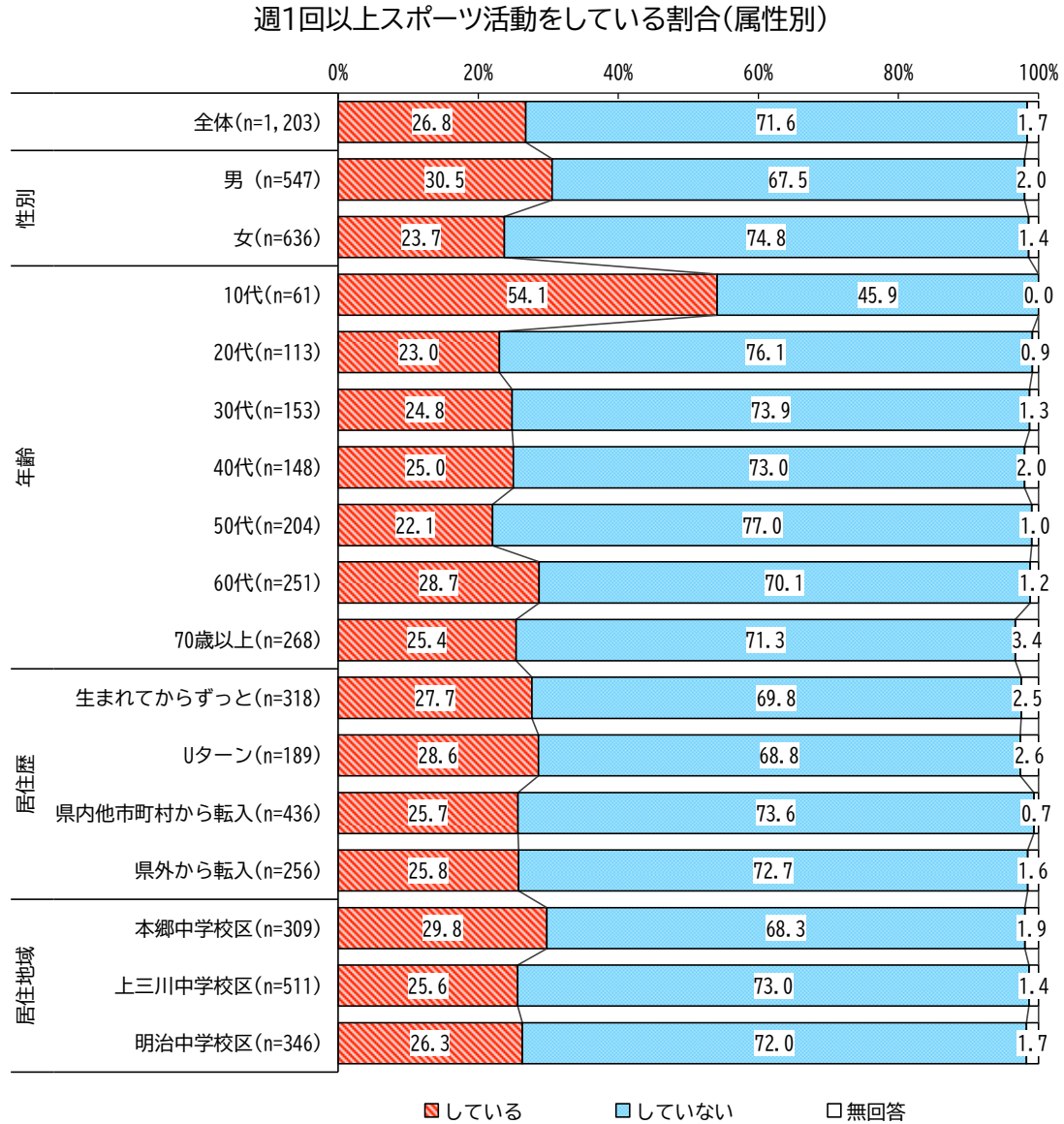


【性別】

「している」は、男性 30.5%が女性 23.7%を上回ります。

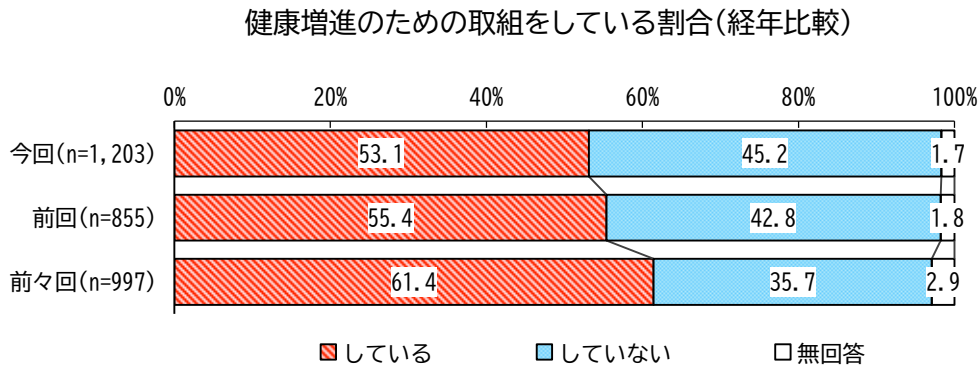
【年代別】

「している」は、10代のみ 54.1%と「していない」を上回ります。



(13) あなたは、日頃、健康増進のための取組（食生活の改善や運動など）をしていますか。
(1つに○印)

健康増進のための取組を「している」53.1%、「していない」45.2%となっています。前回調査及び前々回調査との比較では、「している」は減少しています。



【性別】

「している」は、男性 53.2%、女性 53.5%、ほぼ同じです。

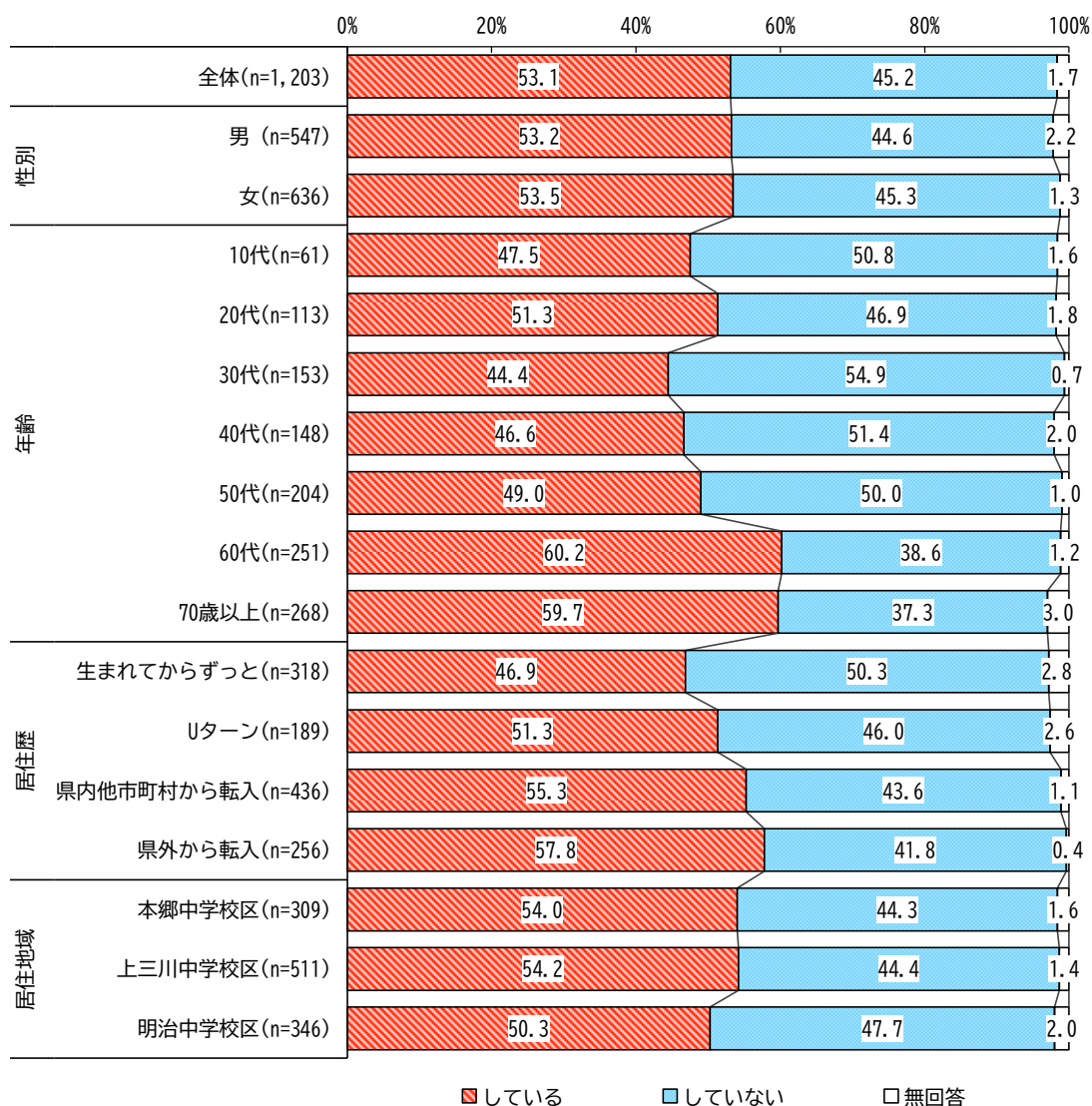
【年代別】

「している」は、60代 60.2%、70代以上 59.7%、20代 51.3%の順ですが、これらの年代は「している」が「していない」を上回ります。30代、40代、50代といった働き盛り世代では「していない」が「している」を上回ります。

【居住地域別】

「している」は、上三川中学校区 54.2%、本郷中学校区 54.0%、明治中学校区 50.3%ですが、いずれも「していない」を上回ります。

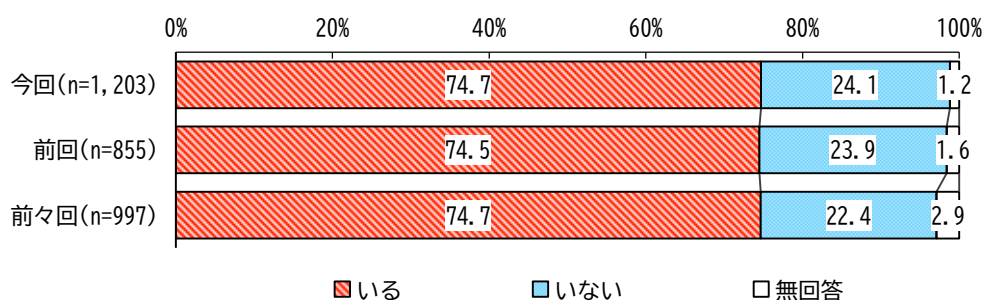
健康増進のための取組をしている割合(属性別)



(14) あなたは、かかりつけ医はいますか。(1つに○印)

かかりつけ医について、「いる」74.7%、「いない」24.1%となっています。前回調査及び前々回調査との比較では、「いる」は変わりませんが、「いない」はやや増加しています。

かかりつけ医がいる割合(経年比較)

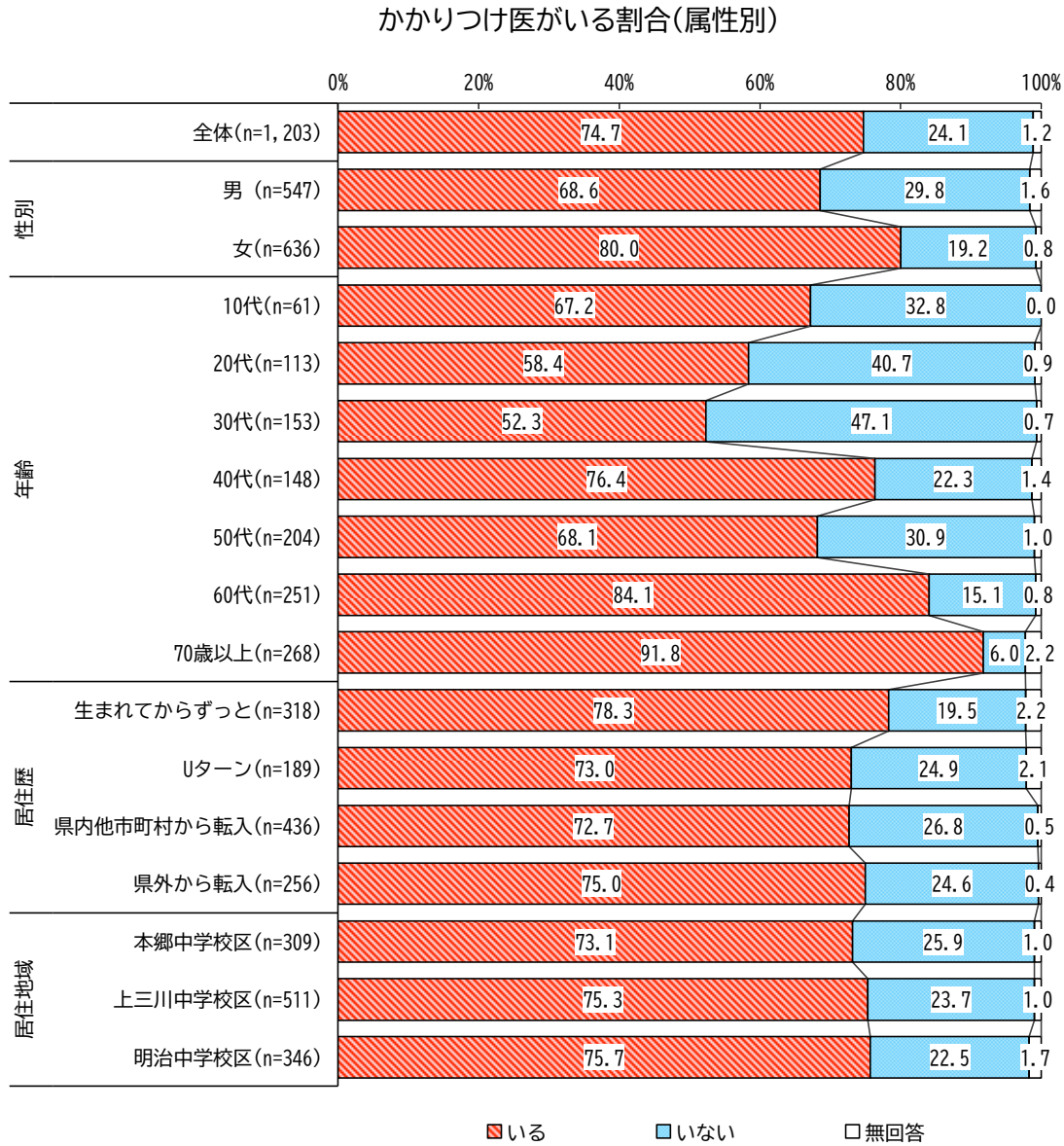


【性別】

「いる」は、女性 80.0%が男性 68.6%を上回ります。

【年代別】

「いる」は、70歳以上 91.8%、60代 84.1%、40代 76.4%、50代 68.1%、10代 67.2%、20代 58.4%、30代 52.3%となっています。



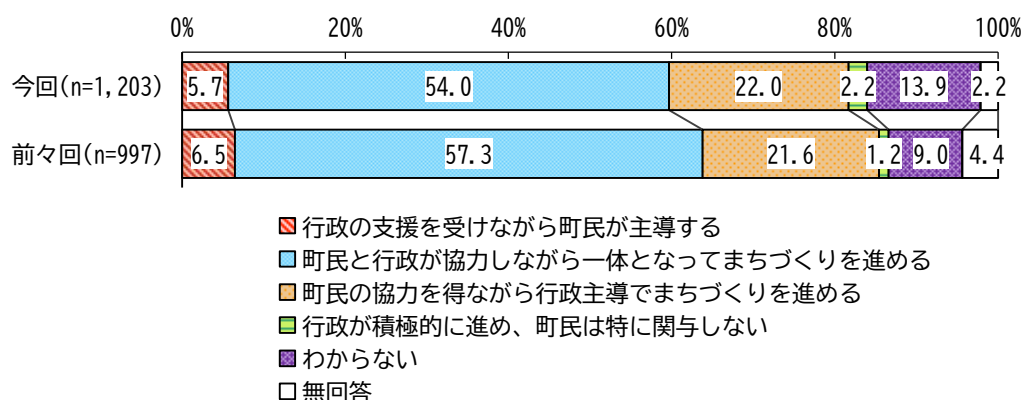
6 協働のまちづくりとコミュニティ活動等への参加について

問 13 あなたは、まちづくりにおけるこれからの行政と町民のあり方について、どのようにお考えですか。(1つに○印)

行政と町民のあり方について、「町民と行政が協力しながら一体となってまちづくりを進める」54.0%が最も多く、次いで「町民の協力を得ながら行政主導でまちづくりを進める」22.0%「行政の支援を受けながら町民が主導する」5.7%、「行政が積極的に進め、町民は特に関与しない」2.2%であり、「わからない」は13.9%となっています。

前々回調査との比較では、「町民と行政が協力しながら一体となってまちづくりを進める」「行政の支援を受けながら町民が主導する」がやや減少し、「わからない」「行政が積極的に進め、町民は特に関与しない」が増加しています。

まちづくりにおけるこれからの行政と町民のあり方(前々回調査との比較)



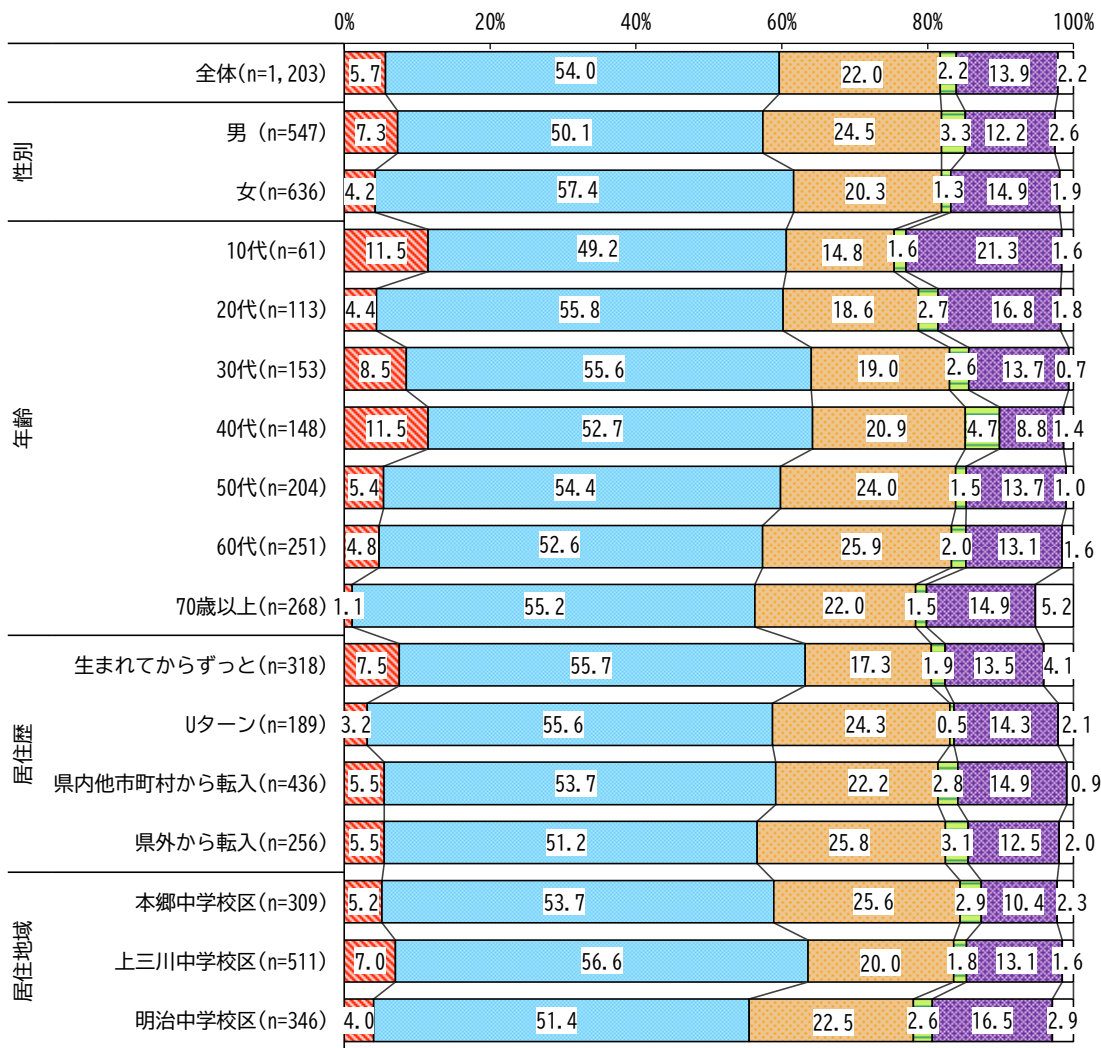
【性別】

「町民と行政が協力しながら一体となってまちづくりを進める」は女性 57.4%が男性 50.1%をやや上回ります。

【年代別】

「町民と行政が協力しながら一体となってまちづくりを進める」は、10代を除いてはいずれも5割を超えています。「行政の支援を受けながら町民が主導する」は10代及び40代ともに11.5%があげられています。「町民の協力を得ながら行政主導でまちづくりを進める」は70歳以上を除いては年齢とともに高くなります。

まちづくりにおけるこれからの行政と町民のあり方(属性別)



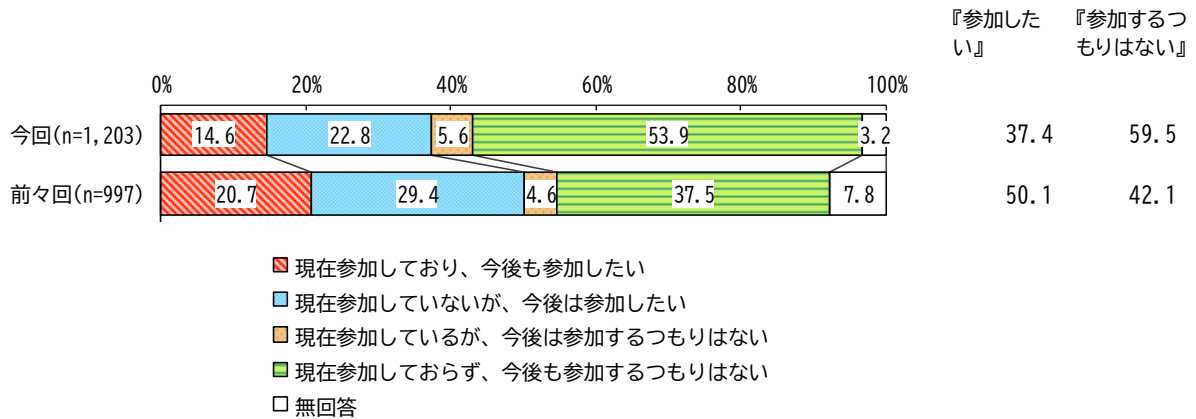
- 行政の支援を受けながら町民が主導する
- 町民と行政が協力しながら一体となってまちづくりを進める
- 町民の協力を得ながら行政主導でまちづくりを進める
- 行政が積極的に進め、町民は特に関与しない
- わからない
- 無回答

問 14 あなたの現在のコミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。（1つに○印）

コミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動への参加は、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が53.9%、「現在参加しているが、今後は参加するつもりはない」5.6%を合わせると『参加するつもりはない』は59.5%、約6割です。これに対し、「現在参加していないが、今後は参加したい」22.8%、「現在参加しており、今後も参加したい」14.6%の『参加したい』は37.4%、約4割となっています。

前々回調査との比較では、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が大きく増加し、「現在参加しており、今後も参加したい」、「現在参加していないが、今後は参加したい」がいずれも減少しています。

現在のコミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動への参加状況と
今後の参加意向(前々回調査との比較)



【性別】

「現在参加しており、今後も参加したい」は、男性16.3%が女性13.5%をやや上回ります。「現在参加していないが、今後は参加したい」を合わせた『参加したい』は、女性39.8%が男性35.5%を上回ります。

【年代別】

「現在参加しており、今後も参加したい」は、40代以上で1割を超えています。『参加したい』については、60代46.6%、10代42.6%、30代41.2%、50代40.2%、40代39.2%、20代29.4%、70歳以上26.9%となっており、20代及び70歳以上を除いては同程度となっています。

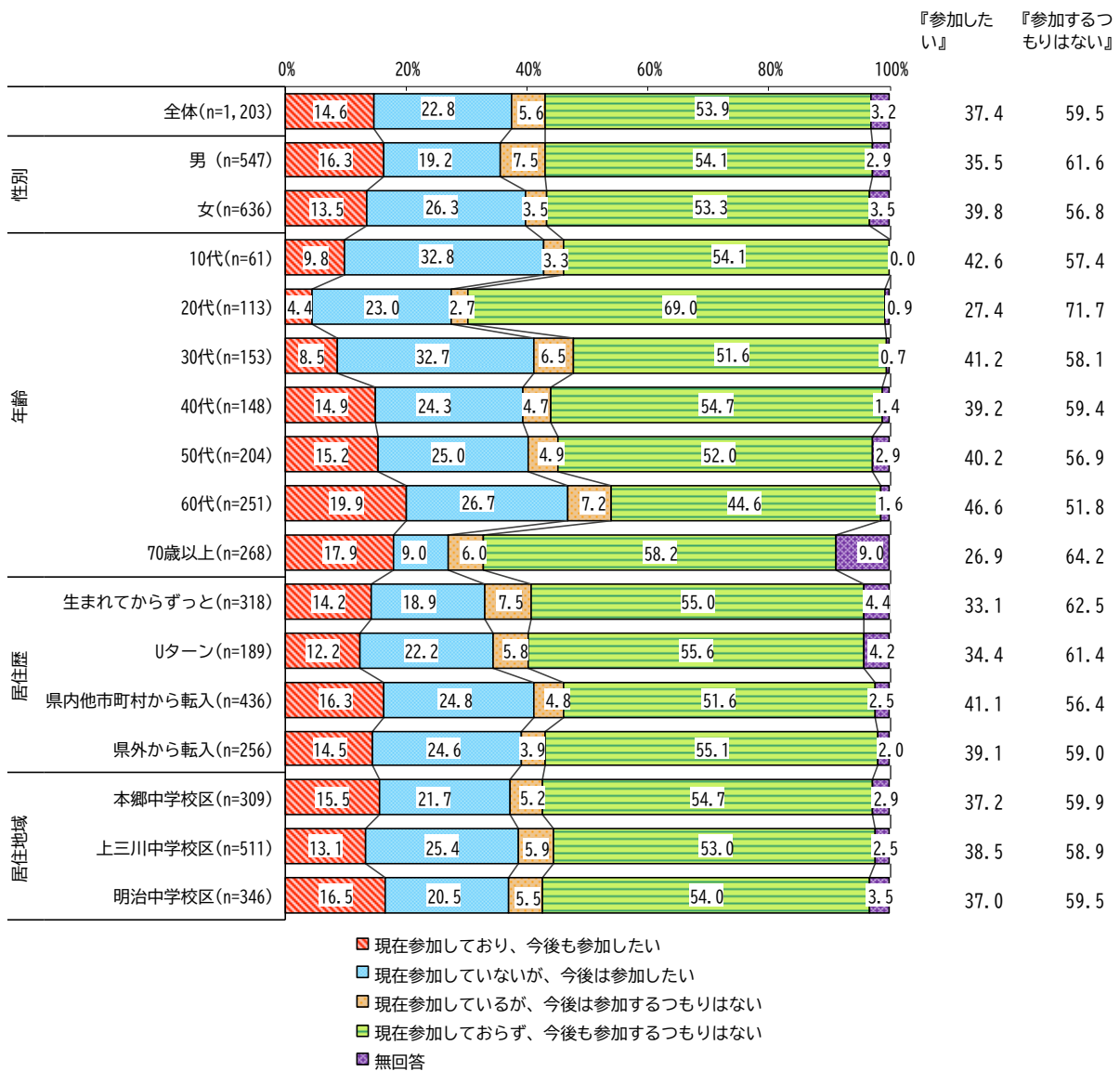
【居住歴別】

「現在参加しており、今後も参加したい」は、居住歴にかかわらず1割を超えています。『参加したい』は、県内他市町村から転入してきた人が41.1%と多く、次いで県外から転入してきた人39.1%と、転入してきた人の参加意向が高くなっています。

【居住地域別】

「現在参加しており、今後も参加したい」は、明治中学校区16.5%、本郷中学校区15.5%、上三川中学校区13.1%とほぼ同じであり、『参加したい』についても上三川中学校区38.5%、本郷中学校区37.2%、明治中学校区37.0%と同じ順となっています。

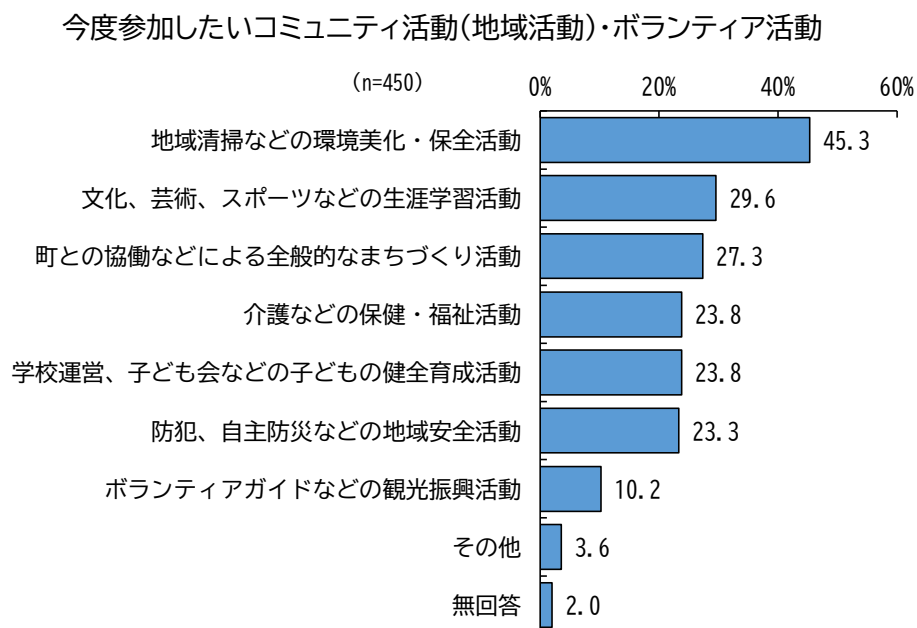
現在のコミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向(属性別)



問15 問14で「1. 現在参加しており、今後も参加したい」または「2. 現在参加していないが、今後は参加したい」に○印をつけた方にうかがいます。

あなたは、今後（今後とも）どのようなコミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（3つまで○印）

参加したいコミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動は、「地域清掃などの環境美化・保全活動」が45.3%と多くあげられ、以下の項目と大きな差があります。以下は、「文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動」29.6%、「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」27.3%、「介護などの保健・福祉活動」「学校運営、子ども会などの子どもの健全育成活動」ともに23.8%、「防犯、自主防災などの地域安全活動」23.3%、「ボランティアガイドなどの観光振興活動」10.2%となっています。



【性別】

「地域清掃などの環境美化・保全活動」は、男性48.5%が女性42.7%を上回りますが、「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」「防犯、自主防災などの地域安全活動」「学校運営、子ども会などの子どもの健全育成活動」においても男性が女性を上回ります。女性が男性を上回るのは「文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動」「介護などの保健・福祉活動」「ボランティアガイドなどの観光振興活動」となっています。

【年代別】

「地域清掃などの環境美化・保全活動」は、30代以上に多く、70歳以上では58.3%、60代48.7%と年齢の高い層で多くなっています。10代及び20代は「文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動」が最も多く、各42.3%、45.2%となっています。

「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」は60代35.0%、40代32.8%で3割を超えます。

【居住歴別】

「地域清掃などの環境美化・保全活動」は県外から転入してきた人 51.0%、県内他市町村から転入してきた人 45.8%と、転入してきた人が生まれてからずっと住んでいる人 42.9%、Uターン 40.0%を上回ります。

「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」や「学校運営、子ども会などの子どもの健全育成活動」は、転入してきた人よりも生まれてからずっと住んでいる人及びUターンに多くなっています。

【居住地域別】

「地域清掃などの環境美化・保全活動」は本郷中学校区 48.7%、明治中学校区 45.3%、上三川中学校区 43.7%であり、「町との協働などによる全般的なまちづくり活動」及び「学校運営、子ども会などの子どもの健全育成活動」についても同順位となっています。

今度参加したいコミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動(属性別)

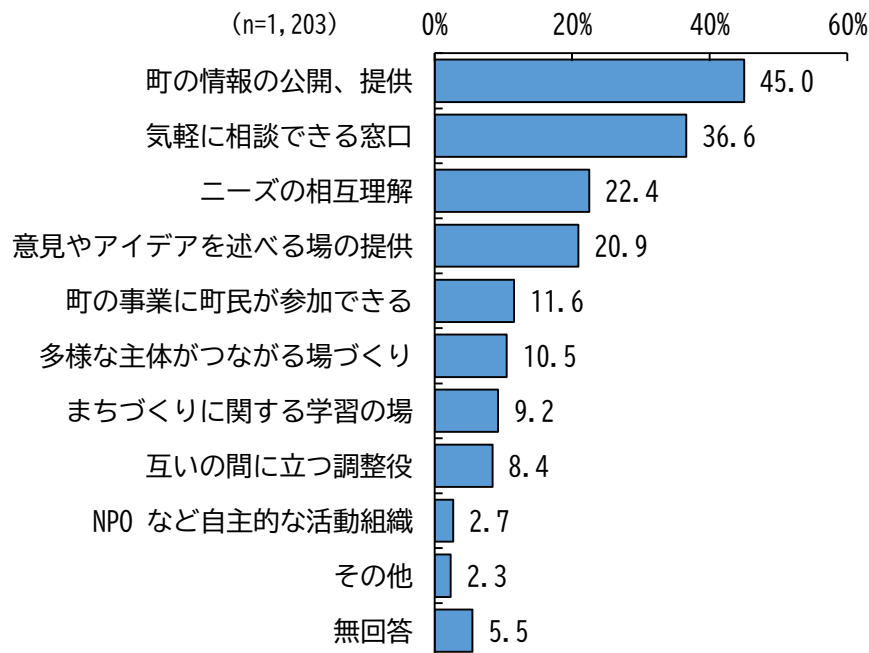
単位：%

		(n=)	地域清掃などの環境美化・保全活動	文化、芸術、スポーツなどの生涯学習活動	町との協働などによる全般的なまちづくり活動	介護などの保健・福祉活動	学校運営、子ども会などの子どもの健全育成活動	防犯、自主防災などの地域安全活動	ボランティアガイドなどの観光振興活動	その他	無回答
性別	男	194	48.5	27.3	29.4	15.5	28.4	33.5	7.7	2.1	1.0
	女	253	42.7	31.2	25.3	30.0	20.2	15.8	12.3	4.7	2.8
年代別	10代	26	38.5	42.3	15.4	26.9	30.8	11.5	23.1	0.0	0.0
	20代	31	29.0	45.2	25.8	22.6	32.3	19.4	9.7	9.7	0.0
	30代	63	39.7	25.4	22.2	25.4	34.9	22.2	6.3	6.3	0.0
	40代	58	41.4	24.1	32.8	15.5	34.5	24.1	13.8	3.4	1.7
	50代	82	45.1	30.5	23.2	30.5	23.2	24.4	9.8	0.0	4.9
	60代	117	48.7	28.2	35.0	16.2	16.2	23.9	10.3	1.7	1.7
	70歳以上	72	58.3	27.8	23.6	33.3	12.5	27.8	6.9	6.9	2.8
居住歴別	生まれてからずっと	105	42.9	27.6	31.4	25.7	28.6	24.8	11.4	1.9	1.0
	Uターン	65	40.0	32.3	32.3	21.5	30.8	23.1	13.8	1.5	4.6
	県内他市町村から転入	179	45.8	31.3	25.7	26.3	21.2	22.3	8.4	6.1	1.7
	県外から転入	100	51.0	26.0	23.0	19.0	19.0	24.0	10.0	2.0	2.0
地域別 居住	本郷中学校区	115	48.7	28.7	30.4	18.3	27.8	23.5	12.2	3.5	0.0
	上三川中学校区	197	43.7	30.5	24.4	25.9	20.3	24.4	10.2	4.1	2.5
	明治中学校区	128	45.3	30.5	29.7	25.8	25.8	22.7	9.4	1.6	2.3

問 16 これからのまちづくりにおいては、より多くの町民の皆様が町政に参画し、行政と協力して課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なことはなんだと思いますか。(2つまで○印)

「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なことについて、「町の情報の公開、提供」45.0%、次いで「気軽に相談できる窓口」36.6%、「ニーズの相互理解」22.4%、「意見やアイデアを述べる場の提供」20.9%などとなっています。

「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なこと



【性別】

「町の情報の公開、提供」は、男性 43.9%、女性 45.4%、ほぼ同じとなっています。男女でやや差がある項目は「ニーズの相互理解」男性 25.0%、女性 20.3%、「多様な主体がつながる場づくり」女性 12.4%、男性 8.2%をあげることができます。

【年代別】

「町の情報の公開、提供」は、10代の34.4%を除いてはいずれも4割台となっています。「ニーズの相互理解」は30代の39.8%、「意見やアイデアを述べる場の提供」は10代の29.5%、30代の28.8%、「気軽に相談できる窓口」は50代以上で4割を超えるなどとなっています。

【居住歴別】

「町の情報の公開、提供」「気軽に相談できる窓口」はほぼ共通してあげられています。「ニーズの相互理解」は県外から転入してきた人 28.5%、Uターン 27.0%でやや多く、「意見やアイデアを述べる場の提供」は生まれてからずっと住んでいる人を除いては2割を超えてあげられています。また、「町の事業に町民が参加できる」は県外から転入してきた人のみ1割以下であり、「まちづくりに関する学習の場」は県内他市町村から転入してきた人のみ1割以上となっています。

【居住地域別】

「町の情報の公開、提供」は、本郷中学校区が48.9%と最も多くなっています。「気軽に相談できる窓口」は、上三川中学校区の40.5%、「ニーズの相互理解」は、明治中学校区の25.1%をあげることができます。

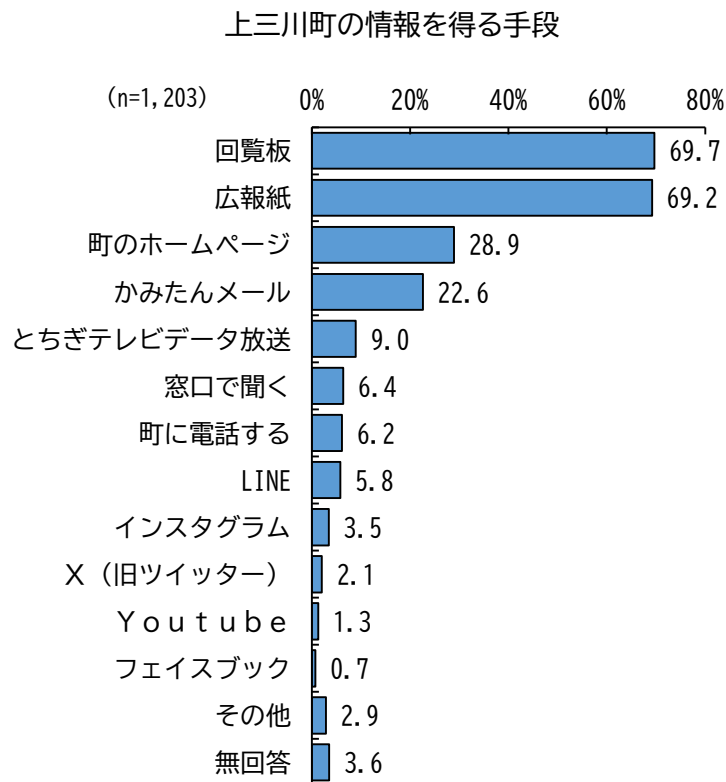
「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために必要なこと(属性別)

		(n=)	町の情報の公開、提供	気軽に相談できる窓口	ニーズの相互理解	意見やアイデアを述べる場の提供	町の事業に町民が参加できる	多様な主体がつながる場づくり	まちづくりに関する学習の場	互いの間に立つ調整役	そのほか自主的な活動組織	その他	無回答
性別	男	547	43.9	36.4	25.0	21.6	12.2	8.2	8.6	9.9	2.7	2.7	6.0
	女	636	45.4	36.5	20.3	20.4	11.2	12.4	9.9	7.2	2.7	1.9	5.0
年代別	10代	61	34.4	16.4	24.6	29.5	18.0	16.4	16.4	11.5	1.6	3.3	3.3
	20代	113	43.4	30.1	39.8	22.1	11.5	12.4	10.6	7.1	1.8	1.8	0.9
	30代	153	45.1	28.8	29.4	28.8	9.2	9.8	7.2	10.5	3.9	2.0	2.6
	40代	148	43.2	29.1	29.1	25.0	15.5	9.5	10.1	10.1	3.4	3.4	2.0
	50代	204	44.6	41.2	25.0	22.5	9.8	11.3	8.3	7.8	3.4	2.0	1.5
	60代	251	48.2	43.0	18.3	15.1	9.6	10.4	10.0	8.8	2.4	1.6	5.6
	70歳以上	268	46.6	42.9	8.6	15.3	12.7	9.0	7.5	6.0	1.9	2.6	14.6
居住歴別	生まれてからずっと	318	45.6	37.7	19.8	17.3	12.6	10.1	8.8	8.2	3.5	1.3	7.9
	Uターン	189	41.3	33.9	27.0	22.8	13.8	12.7	6.9	8.5	1.6	3.2	4.2
	県内他市町村から転入	436	46.8	37.6	18.6	22.0	11.7	11.0	12.4	9.4	3.0	2.5	3.9
	県外から転入	256	44.5	34.8	28.5	22.3	8.2	8.6	6.3	6.6	2.0	2.3	6.3
地域別 居住	本郷中学校区	309	48.9	33.7	21.0	19.4	10.4	10.7	11.0	4.9	4.2	3.2	6.8
	上三川中学校区	511	42.7	40.5	22.1	21.9	12.5	11.4	8.2	9.2	2.3	1.8	4.7
	明治中学校区	346	44.8	31.8	25.1	21.7	12.1	9.5	9.8	10.4	1.4	1.7	5.2

7 デジタルの活用について

問 17 あなたは、上三川町の情報をどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○印)

町の情報を得る手段としては、「回覧板」69.7%、「広報紙」69.2%が同程度となっています。次いで「町のホームページ」28.9%、「かみたんメール」22.6%、「とちぎテレビデータ放送」9.0%と続きます。



【性別】

男性は「回覧板」69.5%、女性は「広報紙」70.4%、「回覧板」70.0%、あまり差はありません。「町のホームページ」は男性、女性約29.0%でほぼ同じですが、「かみたんメール」は女性26.9%、男性17.6%となっています。

【年代別】

「回覧板」「広報紙」は、60代、70歳以上では8割前後と多くなっています。「町のホームページ」は、20代から50代までは3割台ですが、60代では27.9%、70歳以上では15.7%にとどまります。「かみたんメール」は、40代40.5%、50代27.0%、30代23.5%と40代に目立ちます。

上三川町の情報を得る手段(属性別)

単位: %

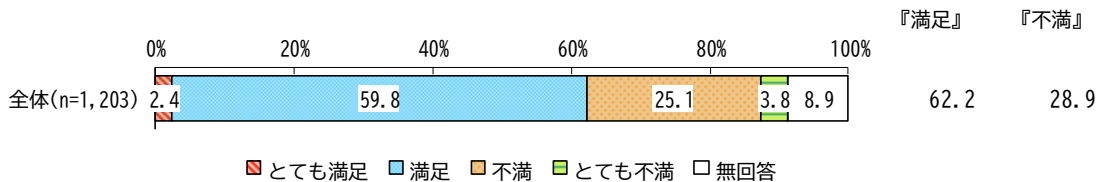
		(n=)	回覧板	広報紙	町のホームページ	かみたんメール	放送 とちぎテレビデータ	窓口で聞く	町に電話する	LINE	インスタグラム	X(旧ツイッター)
性別	男	547	69.5	67.8	29.3	17.6	8.0	6.9	6.2	5.3	2.2	2.7
	女	636	70.0	70.4	29.2	26.9	9.6	6.1	6.1	6.3	4.7	1.6
年代別	10代	61	60.7	45.9	26.2	14.8	8.2	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0
	20代	113	43.4	41.6	33.6	5.3	7.1	7.1	1.8	3.5	2.7	6.2
	30代	153	57.5	61.4	34.0	23.5	6.5	7.8	7.2	5.2	11.8	4.6
	40代	148	61.5	71.6	35.8	40.5	5.4	2.7	2.0	6.1	6.1	4.7
	50代	204	71.1	70.6	37.3	27.0	6.4	6.4	5.4	8.3	3.4	1.0
	60代	251	83.3	78.5	27.9	21.9	10.0	7.2	8.8	7.6	1.2	0.4
	70歳以上	268	80.6	79.1	15.7	18.3	14.6	8.2	9.0	4.5	0.4	0.4
居住歴別	生まれてからずっと	318	66.0	65.1	23.9	17.0	12.6	5.0	4.4	3.1	2.5	2.5
	Uターン	189	72.0	72.0	25.9	22.8	9.5	5.8	4.8	6.9	3.7	2.1
	県内他市町村から転入	436	69.5	68.8	31.7	27.1	7.8	6.7	6.7	6.4	4.6	2.5
	県外から転入	256	72.7	72.3	33.2	21.9	6.3	8.2	8.2	7.4	2.7	0.8
地域別 居住	本郷中学校区	309	75.1	70.9	27.5	24.6	7.4	5.2	6.5	4.9	2.9	1.6
	上三川中学校区	511	65.2	71.2	31.9	22.3	10.6	6.1	5.1	5.9	4.3	2.2
	明治中学校区	346	72.3	66.8	26.9	22.5	6.6	8.1	7.2	6.9	2.9	2.6

		(n=)	Youtube	フェイスブック	その他	無回答
性別	男	547	1.6	0.7	3.1	4.0
	女	636	1.1	0.8	2.8	3.1
年代別	10代	61	0.0	0.0	4.9	4.9
	20代	113	1.8	0.9	9.7	4.4
	30代	153	2.0	0.0	2.6	2.0
	40代	148	0.7	1.4	2.7	0.7
	50代	204	0.0	2.0	3.4	2.5
	60代	251	0.8	0.4	2.0	3.6
	70歳以上	268	3.0	0.4	0.4	6.3
居住歴別	生まれてからずっと	318	2.2	1.3	3.5	5.3
	Uターン	189	0.5	1.1	3.2	1.6
	県内他市町村から転入	436	0.9	0.2	2.8	4.1
	県外から転入	256	1.6	0.8	2.3	2.0
地域別 居住	本郷中学校区	309	1.9	0.6	4.2	3.2
	上三川中学校区	511	0.6	1.0	2.7	3.9
	明治中学校区	346	2.0	0.6	2.3	3.2

問 18 上三川町における、行政サービスのデジタル化の現状に対する満足度を教えてください。(1つに○印)

行政サービスのデジタル化の現状に対する満足度は、「とても満足」2.4%、「満足」59.8%、合わせた『満足』は62.2%であり、これに対し「不満」25.1%、「とても不満」3.8%、合わせた『不満』は28.9%となっています。『満足』が約6割、『不満』が約3割です。

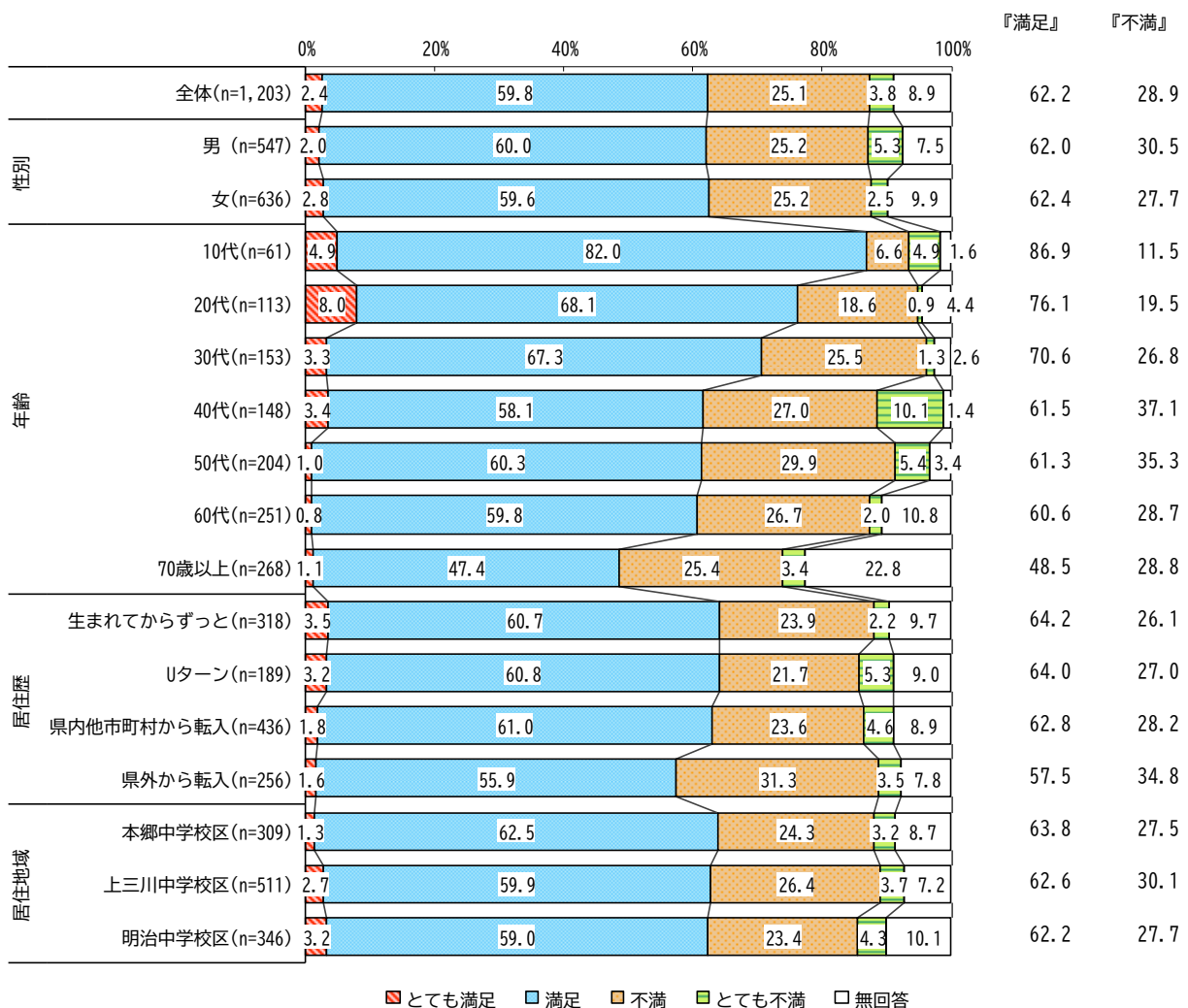
行政サービスのデジタル化の現状に対する満足度



【年代別】

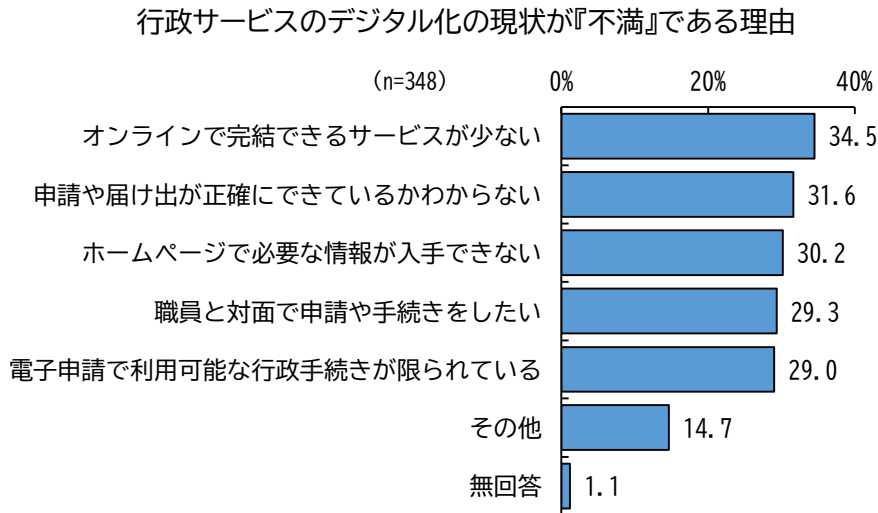
『満足』は10代86.9%、20代76.1%、30代70.6%、40代61.5%、50代61.3%、60代60.6%、70歳以上48.5%と年齢が若いほど満足度は高くなっています。

行政サービスのデジタル化の現状に対する満足度(属性別)



問19 問18で「3. 不満」または「4. とても不満」を選んだ方に伺います。
その理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

不満の理由は、「オンラインで完結できるサービスが少ない」34.5%、「申請や届け出が正確にできているかわからない」31.6%、「ホームページで必要な情報が入手できない」30.2%、「職員と対面で申請や手続きをしたい」29.3%、「電子申請で利用可能な行政手続きが限られている」29.0%、「その他」14.7%となっています。



【性別】

「オンラインで完結できるサービスが少ない」は、男性 38.9%、女性 31.3%となっています。「電子申請で利用可能な行政手続きが限られている」は、男性 34.1%が女性 25.0%を大きく上回ります。

【年代別】

20代から60代は、「オンラインで完結できるサービスが少ない」が最も多くなっていますが、10代は「ホームページで必要な情報が入手できない」が57.1%、70歳以上では「職員と対面で申請や手続きをしたい」が最も多くなっています。

行政サービスのデジタル化の現状が『不満』である理由(属性別)

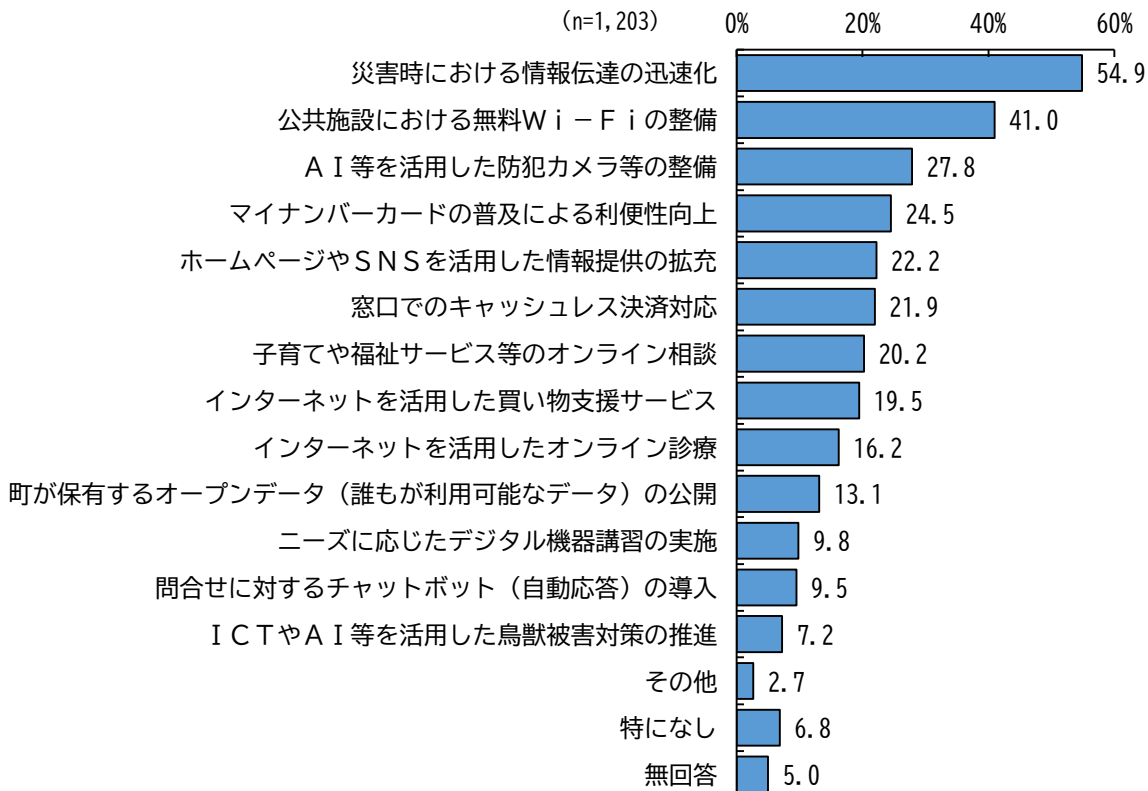
単位: %

		(n=)	オンラインで完結できるサービスが少ない	申請や届け出が正確にできているかわからない	ホームページで必要な情報が入手できない	職員と対面で申請や手続きをしたい	電子申請で利用可能な行政手続きが限られている	その他	無回答
性別	男	167	38.9	31.7	30.5	27.5	34.1	14.4	1.2
	女	176	31.3	31.3	29.5	30.7	25.0	15.3	1.1
年代別	10代	7	42.9	42.9	57.1	0.0	28.6	28.6	0.0
	20代	22	45.5	9.1	36.4	13.6	36.4	22.7	0.0
	30代	41	48.8	31.7	36.6	22.0	29.3	17.1	2.4
	40代	55	50.9	29.1	32.7	12.7	43.6	16.4	0.0
	50代	72	37.5	31.9	30.6	27.8	29.2	12.5	1.4
	60代	72	37.5	30.6	29.2	30.6	34.7	9.7	1.4
	70歳以上	77	6.5	39.0	22.1	51.9	11.7	15.6	1.3
居住歴別	生まれてからずっと	83	25.3	32.5	30.1	34.9	25.3	12.0	1.2
	Uターン	51	35.3	39.2	27.5	37.3	33.3	13.7	2.0
	県内他市町村から転入	123	42.3	34.1	31.7	25.2	30.1	16.3	0.0
	県外から転入	89	32.6	22.5	30.3	24.7	29.2	15.7	2.2
地域別 居住	本郷中学校区	85	31.8	27.1	27.1	28.2	30.6	16.5	2.4
	上三川中学校区	154	35.7	31.8	35.1	30.5	29.9	12.3	0.0
	明治中学校区	96	37.5	32.3	26.0	28.1	29.2	17.7	2.1

問 20 あなたが、今後、町で重点を置くべきだと思うデジタル化施策についてお答えください。(あてはまるものすべてに○印)

今後町で重点を置くべきデジタル化施策は、「災害時における情報伝達の迅速化」54.9%、次いで「公共施設における無料Wi-Fiの整備」41.0%、「AI等を活用した防犯カメラ等の整備」27.8%、「マイナンバーカードの普及による利便性向上」24.5%、「ホームページやSNSを活用した情報提供の拡充」22.2%と続きます。

今後、町で重点を置くべきだと思うデジタル化施策



【性別】

「災害時における情報伝達の迅速化」は、女性 56.8%が男性 52.7%を上回ります。男女の差異がある項目は「マイナンバーカードの普及による利便性向上」の男性 29.1%、女性 21.2%、「子育てや福祉サービス等のオンライン相談」の女性 23.9%、男性 16.1%をあげることができます。

【年代別】

「災害時における情報伝達の迅速化」は 60代 61.0%、50代 60.3%で多くなっています。10代、20代は「公共施設における無料Wi-Fiの整備」が「災害時における情報伝達の迅速化」を上回り、各 57.4%、46.9%となっています。「公共施設における無料Wi-Fiの整備」は 30代から 50代でも多くなっています。「AI等を活用した防犯カメラ等の整備」は 40代の 41.9%、「窓口でのキャッシュレス決済対応」は 20代の 43.4%で多くなっています。

今後、町で重点を置くべきだと思うデジタル化施策(属性別)

単位: %

		(n=)	災害時における情報伝達の迅速化	公共施設における無料WiFiの整備	AI等を活用した防犯カメラ等の整備	マイナンバーカードの普及による利便性向上	ホームページやSNSを活用した情報提供の拡充	窓口でのキャッシュレス決済対応	子育てや福祉サービス等のオンライン相談	インターネットを活用した買い物支援サービス	インターネットを活用したオンライン診療	町が保有するオープンデータ(誰もが利用可能なデータ)の公開
性別	男	547	52.7	39.9	30.0	29.1	21.6	23.0	16.1	18.1	14.8	15.4
	女	636	56.8	42.5	25.6	21.2	23.0	21.5	23.9	20.9	17.6	11.2
年代別	10代	61	45.9	57.4	18.0	21.3	23.0	29.5	26.2	29.5	19.7	9.8
	20代	113	46.0	46.9	23.0	25.7	27.4	43.4	34.5	25.7	26.5	19.5
	30代	153	52.9	47.7	32.0	23.5	30.1	37.3	32.0	24.8	24.2	15.0
	40代	148	52.7	48.6	41.9	23.6	33.1	27.7	32.4	24.3	24.3	16.9
	50代	204	60.3	50.0	25.5	22.1	27.5	24.5	12.7	25.0	16.2	10.8
	60代	251	61.0	37.8	29.1	27.1	17.5	13.9	17.5	15.5	12.4	13.5
	70歳以上	268	52.6	23.5	22.8	25.7	10.1	5.2	7.8	8.6	5.6	9.3
居住歴別	生まれてからずっと	318	52.5	42.1	26.7	25.2	20.1	17.9	20.1	15.7	13.8	13.5
	Uターン	189	54.0	47.1	25.4	23.3	22.8	24.3	26.5	23.3	19.0	13.2
	県内他市町村から転入	436	56.2	39.2	30.0	25.0	22.5	22.7	21.1	20.9	17.0	12.8
	県外から転入	256	55.9	38.7	27.3	24.2	24.2	24.2	14.5	19.1	15.6	12.9
地域別 居住	本郷中学校区	309	58.3	42.7	24.6	22.7	22.7	20.4	20.1	19.4	16.2	13.6
	上三川中学校区	511	53.6	41.1	28.4	26.4	22.7	23.7	20.9	16.2	16.6	11.9
	明治中学校区	346	54.0	41.6	30.6	24.0	22.0	22.3	20.2	25.4	16.2	15.3

		(n=)	ニーズに応じたデジタル機器講習の実施	問合せに対するチャットボット(自動応答)の導入	ICTやAI等を活用した鳥獣被害対策の推進	その他	特になし	無回答
性別	男	547	10.4	9.3	9.1	3.5	6.4	5.9
	女	636	9.6	9.7	5.8	2.0	6.8	4.2
年代別	10代	61	13.1	16.4	3.3	0.0	8.2	3.3
	20代	113	11.5	13.3	8.0	2.7	1.8	0.9
	30代	153	6.5	15.0	11.1	2.6	7.8	2.6
	40代	148	8.8	16.2	10.1	2.0	4.1	0.7
	50代	204	8.8	7.4	6.4	4.9	4.9	1.5
	60代	251	11.6	5.2	4.4	3.2	7.2	4.8
	70歳以上	268	10.1	5.2	7.5	1.5	10.4	13.8
居住歴別	生まれてからずっと	318	9.7	11.6	4.7	1.3	8.8	8.2
	Uターン	189	10.1	10.6	7.4	2.1	5.3	3.2
	県内他市町村から転入	436	10.6	9.4	7.6	3.9	5.7	4.1
	県外から転入	256	8.6	6.3	9.8	2.7	7.0	3.9
地域別 居住	本郷中学校区	309	10.0	10.0	6.1	3.9	4.5	4.9
	上三川中学校区	511	9.6	10.0	7.6	2.5	5.9	4.9
	明治中学校区	346	11.0	9.0	8.1	2.0	9.5	4.0

8 自由意見

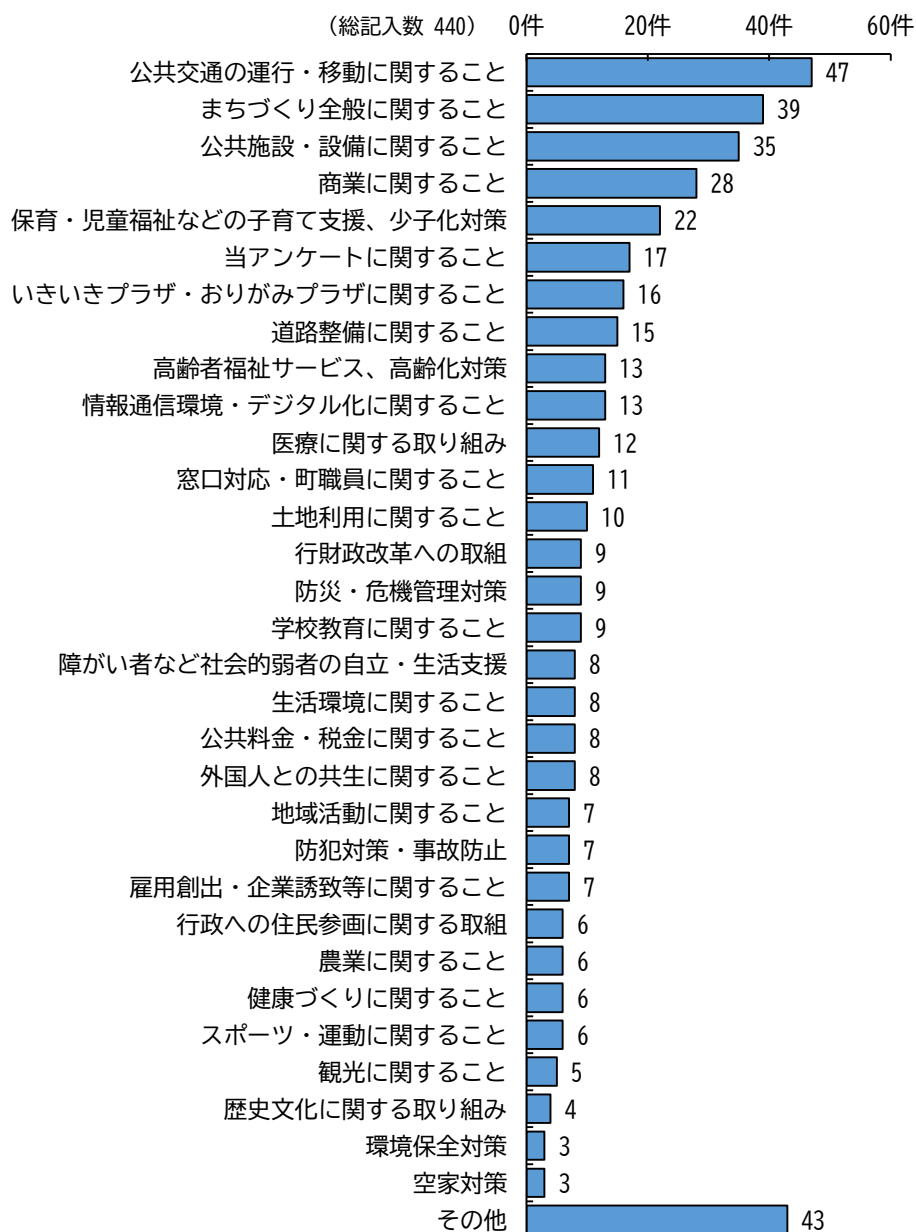
最後に、あなたが現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。

町の行政に望むことや、まちづくりに関する意見や提案について自由に記入していただいたところ、1,203人中340人から回答がありました。複数の内容に関して記入されたものを内容別に分類すると、記入総数は440件となります。

内容別に最も意見が多く寄せられたのは「公共交通の運行・移動に関すること」であり、次いで「まちづくり全般に関すること」、「公共施設・整備に関すること」、「商業に関すること」、「保育・児童福祉などの子育て支援、少子化対策」と続きます。

以下、各項目への主な意見を原文の通り掲載しています。

町の行政やまちづくり等に望むこと(自由意見)



●主な意見

〈公共交通の運行・移動に関すること〉

- ・ LRTのような交通機関を作ってほしい。LRTをインターパークを経由して、上三川町につなげてほしい。そうすることで人の移動がしやすくなるを感じる。自分は高校への通学が宇都宮にあり、自転車で通っていた。LRTをはじめとする交通機関が充実すれば通勤、通学の流れが活発になり、さらに人々が住みやすいより良い町になっていくと思う。(男性、20代)
- ・ 何年か先ですが車の運転しなくなった時の病院や買物に行く時の交通の便を気軽に出来るバスがあるといいと思う。(女性、50代)
- ・ かみたん号が土日祝日も利用できるとよい。駅からのバスの本数が少なくて不便。車が運転できる状態であれば良いが、車が運転できなくなると生活が不便。(男性、50代)
- ・ 高齢化社会になりバスなどが無い、駅も遠い、かみたん号の利用は町内の方が多く遠方のほうが使っていない印象、そこを改善すること(女性、40代)

〈まちづくり全般に関すること〉

- ・ 近年、上三川町のマスメディアへの露出が大変多くなり、何かと話題になっていることを喜ばしく思っています。今後共パブリシティの積極的な活用に努められ、町のイメージアップと町民間の地元愛の醸成を図ってほしいと願っています。(男性、70代)
- ・ 上三川町を活性化したいなら、高齢者に視点を置くのではなく、今後、上三川町を支えていく若者が、上三川町に残るような工夫を考えるべきだと思う。(女性、10代)
- ・ 町民が本当に求めているもの、必要なものを確実に掴んで活動して欲しい。高齢者支援も必要だが、今後の世代も見据えた活動も大切だと思う(男性、20代)
- ・ 進学や就職等で町を出ても、戻って子育てしたいと思う子育て世代が生活しやすい町づくり。(女性、20代)

〈公共施設・設備に関すること〉

- ・ 街灯が少ないから道が暗くて女からしたら怖いし危ない。また、草が生えすぎている場所があり、通れない。人があまり通らない場所でも街灯はほしい。(女性、20代)
- ・ 蓼沼親水公園に散歩に以前行った事があるのですが、草がのびていたり、八ッ橋の水がよどんでいたり、整備されているとは言えませんでした。美しく保つことは限られた財政的にも人員的にも難しいと思います。しかし散歩する場所(公園みたいな所)が限られている中でせめて散歩に来たことを後悔しない程度には整備していただきたいです。(「回答しない」を選択、40代)
- ・ 上三川地区に集中している町施設が使いづらい。本郷地区、明治地区の住民も使いやすくしてほしい。(女性、60代)
- ・ 犬を飼っています。休日に子供と犬と一緒に公園に遊びに行こうと思っても、上三川はペット禁止の公園が多く、下野市やその他の市の公園に遊びに行っていま

す。せっかく近所に公園があるのに利用できなくて残念です。もっとペットも入れる公園を増やしていただきたいです。(男性、30代)

〈商業に関すること〉

- ・ 新4号沿いの商業施設の開発。飲食店が少なすぎる。現状では素通りの町だと思う。飲食店、大型スーパー等の徹底開発。道の駅の開発。「人が寄りつく町の開発!!」「脱・田舎!!」(男性、40代)
- ・ ・まちに子供も大人も楽しめるカフェのような施設がほしい。・町の中に大きな商業施設がほしい(買い物、遊び場、食事ができる)(女性、30代)
- ・ 道の駅の件ですが、後発なので全国の人気ある道の駅の良い所を流用して造っていただきたい。直売所、レジャー施設、スポーツなど遊べる施設、宿泊もできた方がよい。一日で回りきれないくらいの道の駅が理想です。雇用も生まれるので早期オープンを望みます。期待しています。他の町から羨ましがられるくらい。(男性、50代)

〈保育・児童福祉などの子育て支援、少子化対策〉

- ・ 土日祝日の対応可能な行政窓口を設けてほしい。(宇都宮市のバンバ出張所のような) おむつ購入費の助成やベビーカー購入費の助成、第1子からの保育料免除(減免)等の、独自の子育て政策をさらに増やしてほしい。(出生時のカタログギフトはとてもありがたかったです)(女性、20代)
- ・ 子育て世帯ですが、近くの結城市などランドセル支給や給食費無償化などさまざまな子育て政策をしています。もっともっと積極的にサポートして頂ける政策を希望します。非課税世帯はいろいろと優遇されますがその非課税世帯の一つ上の世帯も同じように厳しいのが現状です。その辺も配慮して頂ける政策をお願いします。(「回答しない」を選択、40代)
- ・ 少子化対策の強化。保育料、教育等の無償化にしてほしい。子育て支援等を特に手厚い支援を期待しています。(女性、30代)

〈当アンケートに関すること〉

- ・ 町の施策などがわかるようなホームページのリンクやQRコードなどがあると、回答の参考になりより答えやすいと思った。(女性、20代)
- ・ 今回のアンケートでも、パソコンでやろうとしても、URLがうまくいかなかった。もう少し役場でも、簡単に出来る様にして欲しい。(結局、スマホでやる様になった。)(男性、50代)
- ・ 私は生まれた時から上三川町に住んでいるが、上三川町のことについてはあまり知らない。このアンケートを回答していても分からないことばかりだった。もっと子供にも情報が回るように発信してほしい。(女性、10代)

〈いきいきプラザ・おりがみプラザに関すること〉

- ・ いきいきプラザ、おりがみ館が1つのエリアになったことで町民同士の交流がより多く見られると感じる。ついでに図書館も。(女性、70代)

- ・ ORIGAMI プラザの学習室を利用するにあたり、団体ではない学生は無料で利用出来るようにならないでしょうか？ 団体利用していない日であれば、町内に住んでいる勉学に励みたい学生には、無料で学習利用させても良いと思います。学習室を利用しようとした際、有料になるとのことでしたので、町外に出て、宇都宮南図書館を利用しています。若い子達の育った環境を大切にしないと、町への愛着心が育たない気がします。(男性、50代)
- ・ いきいきプラザの料金について、町内、町外料金を別設定にしてはどうか？ 町内は65才以下でも今より安く、町外民は65才以上でも値上げする。自治体が主でやっている施設は町民、町外民(市外、市外民)で料金を変えているところが多いと思います。(女性、40代)

〈道路整備に関すること〉

- ・ 子供の頃から上三川町に住んでいました。歩道や自転車専用レーンが無い道路が多いので増やして下さい。大人は車で移動出来ますが、子供は自転車か徒歩しか移動手段が無いです。路側帯が広いところがありますが、何が起こるか分からないので歩く側でも車を運転する側でも怖いです。せめて縁石があると安心できます。正直公共交通機関の拡充を希望していましたが、もう無理だと諦めています。なので道路の整備だけでもお願いしたいです。(女性、20代)
- ・ 石橋駅東から上三川中心地への道路を整備して、上三川の人口増加に対応してもらいたい。(石橋駅から貨物ターミナル方面は道幅狭く、大型トラックも多い。高校生の自転車通学危険です。)(男性、60代)
- ・ 新4号線の上蒲生交差点を立体交差点にしてほしいです。朝晩渋滞する交差点で、立体化については町外の人達からも要望があります。(女性、40代)

〈高齢者福祉サービス、高齢化対策〉

- ・ 高齢者が増加する中で、シニア向けのコミュニティセンター等の教室を増やしてほしい。(外出するきっかけがほしい)(女性、60代)
- ・ 介護についての支援は不足していると思います。おむつの補助金の拡充。(女性、50代)
- ・ 地域での足を確保していただければ有難いです。自立度の低下の見られる年配者には介護保険や支援する体制が重要です。この町に住み続けたいと思える地域に町民と行政が築くまち作りだと思います。(男性、30代)

〈情報通信環境・デジタル化に関すること〉

- ・ デジタル化は進んでいるが決して利用者に優しいものではなく縦割り行政が透けて見えるような面倒さが目立つ。利用者目線でユーザーインターフェイス、手続きを改善し続けて欲しい。TV、YOUTUBEなどでの利用啓蒙なども充実して欲しい。(男性、60代)
- ・ 各事業の計画段階からのネット公開。議会のネット配信。議会だよりなどの紙面の無駄の廃止。公共事業の優先順位の透明化。(男性、50代)
- ・ 医療機関でのマイナンバーカードの使い方講習をご高齢の方向けに周知して行っ

て欲しい。ご高齢の方はデジタル化に否定的でデジタルとわかった瞬間に丸投げの方が多。ご高齢の方にも等しくサービスを受けてもらう為に全て手とり足とりで教えている。しかし、しわ寄せは他のところに来てしまう。正直なところ、一緒にやるとやってみたら簡単ね、という方も多。その中で、全ての人に同じ対応をしていると本当に緊急で対応しなければならない時、間に合わない可能性もある。悪循環をうむのではなく、社会的な流れをご高齢の方でも受け取りやすくするためにキャッチフレーズを作ってみたり、積極的に講習をして周知してみたりするのはどうでしょうか。(女性、20代)

〈医療に関する取り組み〉

- ・ 日曜日、平日の遅い時間帯、祝日など、上三川町内で受診出来る医療を作してほしい。(女性、50代)
- ・ 現在、特に不満はありませんが、できればオンライン診療を促進していただきたいです。(男性、30代)
- ・ 児童医療費の無料化。ワクチン接種費の補助等希望します。(女性、50代)
- ・ 病院の科目に偏りがあるので総合診療が受けられるようになれば良いと思う。皮膚科と眼科はどちらも専門診療所が上三川町にないので不便。(女性、40代)

〈窓口対応・町職員に関すること〉

- ・ 臨機応変に対応できる行政を望みます。困っている人に手を差し伸べてほしい！1日締め切りが過ぎたらシャットアウト。話も聞いてもらえない。決まりはわかっていますが、他の人に示しがつかない等の理由でシャットアウトしてほしくない！町民の話を聞いて臨機応変に対応してほしい。特に子育て中の若いお母さんの話を聞いてください。子育てしやすい町と聞いた事がありますが、嘘です。働きながら子育てしているお母さんたちは困っていることがいっぱいあります。でもシャットアウトされ、泣き寝入り状態です。少子化に歯止めは効かないと思います。(女性、60代)
- ・ たまに役場の方が各家庭を回り配布物を渡していることがあるが、家の周りを数回ウロウロしたり敷地に入り中を覗いている様子がとても怖い…。ポスト投函したり、インターホンを鳴らすなど対策をとってほしい。(女性、20代)
- ・ 町職員が横柄だと感じる場面があります。カウンターにて「すみません」と声をかけても返事もできない人がいる。(男性、50代)

〈土地利用に関すること〉

- ・ 土地の有効活用による地域の発展。非耕作農地の転用(耕作放棄地、農作物生産ゼロの田畑を商業団地、工業団地、住宅地に区画を希望します。)街の発展につながるものと確信します。市街化調整区域の検討。(男性、70代)
- ・ 若い方が住めるよう、町中よりもその他に家を建てて(区画整理等)人口を増やしてもらいたい。(男性、30代)
- ・ 調整区域をなくして土地を自由に活用できるようにしてほしいです。(女性、60代)

〈行財政改革への取組〉

- ・ 町会議員定数の削減、議会を夜に行い、町民の方が議会を見る機会を増やせるようにする。各議員がどれくらい議員提案をしているか広報で教えていただきたい。町の職員の年功序列をやめてもらいたいのと、終身雇用をやめてほしい。(女性、70代)
- ・ 年配の方が悪いわけではないが、若い方や女性の方の意見が反映される組織作りが重要だと考えます(町議会議員など)。何かを決定する機関には特に女性を1/3入れて決議してほしい。(女性、40代)
- ・ 広報紙、かみのかわは多大な費用がかかると思うので、やめるべきだと思う。工場など、大きな開発がある時は、いち早く自治会に回覧板で知らせてほしい。(男性、70代)

〈防災・危機管理対策〉

- ・ ハザードマップ…避難所が有事の際効力を発揮できるのか不安!!(河川の近くにあり心情的に不安) 近隣の市町と連携をとり助け合う施策を考えてみてはどうか。(男性、70代)
- ・ 災害予告の時、真岡や宇都宮の音声は聞こえるが、上三川はいつさいない。災害の時の呼びかけがあると安心します。(男性、50代)
- ・ 消防防災に力を入れ、石橋地区消防組合との連携を強めていくべきである。(男性、20代)

〈学校教育に関すること〉

- ・ 子供の教育にお金をかけてほしい。→小中学校の体育館にエアコンをつけてほしい。→子供の担任が毎年非正規の講師であることに疑問を感じている。→通学路の整備(歩道の整備等)。→公園の整備等。(男性、40代)
- ・ 不登校や行きしぶりに対する施設を増やしてほしい。また、あずけられる時間を長くしてほしい。発達障がい児だけの遊び場がほしい。(女性、30代)
- ・ 子供の体力作りを促進する。学校の部活を通じ、心と体力の増進する。そのために教員を増やしてはどうか?(女性、70代)

〈障がい者など社会的弱者の自立・生活支援〉

- ・ 障がい者の等級によって利用できるサービスが限られているため、平等にサービスが受けられるようにしてほしい。例えば、妊婦は思いやりスペースを利用できるのに、障がい者は等級によって利用できなくなっている。肢体の不自由さは同程度なのに平等でないことが不満に感じます。障がいを持っている本人はその家族にも思いやりスペースを利用できるよう改善してください。(女性、30代)
- ・ 精神2級手帳所持です。手帳で無料になる場所を増やしてほしいです。他の県はもっと手厚いです。(女性、40代)
- ・ 障がいがある人の就労の場や共同生活の場が少ないため、様々な人が働きやすい場を増やしてほしいです。(女性、30代)

〈生活環境に関すること〉

- ・ オートバイ音に苦しむ。定期的に乗るだろうが、心臓がバクバク、子供の昼寝も起きてしまう。なんとかしてほしい。(男性、70代)
- ・ ・ペットボトル ゴミの回収を隔週ではなく 毎週にして欲しいです。 ・水道料金の口座支払い対応銀行を、増やして欲しいです。(女性、20代)
- ・ 町内の道路や田畑にポイ捨ての缶やペットボトル、ゴミが至る所目につきます。ゴミの多い町のままでは良い町として誇ることはできません。私も休日には自宅周辺のゴミ拾いや道路の除草をして、環境美化に努めていますが、捨てる人を減らす対策が必要と考えます。(女性、50代)

〈公共料金・税金に関すること〉

- ・ 引っ越して来てから8年位ですが、町民税、上下水道の料金が高いと感じています。仕方がないのだと思っていますが…。又、交通の便が悪いです。バスは特に。(女性、50代)
- ・ 法人税が、他自治体より多いと思うので、住民税を下げるか、低所得者、障害者への再分配の実施。(男性、50代)

〈外国人との共生に関すること〉

- ・ 市内に新しい工業団地ができ、それに係り外国人労働者や県外町外からの労働人口の流入が考えられる。既に住んでいる者、これから住む者、双方がマナー・モラルを守り、快適に住むことができる町行政の運営を期待しております。(女性、20代)
- ・ 外国人が多くなってきたので、交流を図る機会があると良い。(男性、30代)

〈防犯対策・事故防止〉

- ・ 高齢化が進み、高齢者絡み(ルールを守れない)の交通事故が全国的に増えている為、町としても罪の無い犠牲者が増える前に何か考えて頂きたい。例えば運転免許の返納促進補助金など。(男性、40代)
- ・ 夜間、しらぎの住宅地は暗く、車の盗難があつたり怖いです！！また、外灯や防犯カメラなど少し増やしていただけたらありがたいです。(女性、30代)

〈雇用創出・企業誘致等に関すること〉

- ・ 企業誘致の促進 ・人口減少対策、町財政の確保には、企業誘致が欠かせない。更なる、更なる企業誘致を！ ・以前のように企業誘致で町民ともめないように進める必要もある。(男性、60代)
- ・ 企業が入り地域産業に活力ができる。活性化になるのでは？(女性、70代)

〈行政への住民参画に関する取組〉

- ・ 住民参加型のまちづくりはとても大切な事だと思います。上三川町でもまちづくりに関する様々なワークショップを行っていて、参加したこともあります。今後もこうした場を多く行って、行政と住民が協力し合っ形になればもっと住みやす

い街になると思います。行政と住民の意思疎通がもっと図れば良いですね。(男性、50代)

- ・ このアンケートのように、町民の意見を聞いてくれるのはありがたいですが、行政またはトップの方が考える町の魅力や問題点、アイデアを提示していただき、それについて町民が意見を出していくという形だと良いと思います。(女性、30代)

〈農業に関すること〉

- ・ 宇都宮という大都市を近隣にし、上三川町はとてもよくやっていると思う。便利だしとても住みやすい。農業を離れていく方の田畑の有効的な利用やこれから農業をやっていきたいと思っている方々とのマッチングが上手にやっていけたらよりよい町になっていけるのではないかなと思う。(女性、40代)
- ・ これからの食糧難の時代に備えて、農業地域としての上三川町の特色をもっと出して行くべきです。そのために、まずは農業従事者の高齢化に伴う耕作放棄地の急速な拡大について、どうすればよいか町民を含めて真剣に考えて行く必要があると思います。簡単ではないと思いますが、上三川町のご指導をお願いして行きたいです。(男性、60代)

〈健康づくりに関すること〉

- ・ 元気アップ教室、認知症、講習会等、大変勉強になっております。今後もぜひ続けていただきたいと思います。諸先生、先輩方、大変どうもありがとうございます。(女性、50代)
- ・ ウォーキングアプリ使って運動促すのはいいのですが、アプリの評価が悪いとダウンロード躊躇います。アプリを利用してもらうのであれば、ちゃんとしたものを使ってもらえれば、参加する方増えると思います。(女性、30代)

〈スポーツ・運動に関すること〉

- ・ 真岡や壬生さくら市など同規模の市町は栃木 SC スポンサーになったり、ブレックスチケットプレゼントがあるが、上三川はない。いきプラの習い事も町民は割引すべき。その他、他の市等と比べ努力が足りない。エコチャレンジも宇都宮のみ。(男性、40代)
- ・ 栃木 SC の試合をたまに観に行きます。他の市町村は市民デーや町民デーがあるのですが、上三川町はないと思います。スポーツ事業にも積極的に参加してほしいなと思います。栃木 SC の試合に上三川町民デーを作ってほしい！(男性、30代)

〈観光に関すること〉

- ・ 町のバスを利用した体験ツアーなどを増やしてほしい。(男性、50代)
- ・ ・街歩きを楽しめるように、例 ORIGAMI TOWN DAY”を決めて折り紙だけでなく、座禅とか写経とか、寺ヨガやお茶会(寺や生活家)、神社は紙の何かを作る、など持っている物を利用し、”上三川はいろいろあるよ”がわかるといいな。文化祭の TOWN 版でしょうか。(女性、60代)

〈歴史文化に関する取り組み〉

- ・ コロナ禍でなくなってしまった盆踊りや稚児行列を行っていた秋祭りなど、昔から続く伝統的な祭りを復活してほしいです。おはやし団体に加入していても、夏祭りでの参加が少なく、発表できる場があるといいです。商工会のイベントなど、商工会以外の参加の申込などあったら、たくさんの町民がもっと楽しく参加できるのでは？祭りに関してもアンケートを取るなどするともう少し伝統が残ると思います。（女性、40代）

〈環境保全対策〉

1. 職員全体がスポークスマンの能力を身に付け積極的に町民との対話に従事してほしい。
2. 極力化石燃料を使用しないように行政として町民の目標となるような設備（例えば建物の屋根に太陽光パネルや風力発電）等などできる限り再生可能エネルギーを示してほしい。
3. 行政の乗物は出来る限りEV車に変えることが望ましい。
4. 再生エネルギー最先端のシティーを目指し予算の配分も検討すべき。（男性、70代）

〈空家対策〉

- ・ 空き家、空き地の活用なども検討していただきたいです。新規事業を考えてますが場所がなく（空き家情報なども役場で確認済）、役場に相談してもみつからず。商業可能エリアにあるシャッター街がもったいない。これからの上三川町発展に期待しています！（女性、30代）

〈その他〉

- ・ 上三川に住みはじめて6年ですが、野菜の直売所マップがあったらうれしいです。JAでなく、個人の畑で売ってるところが多くて安いしおいしいし、何曜の何時に出るって決まったら更にサイコーです。「おかあさんの店」も行きつけです。（女性、30代）
- ・ 野良猫、野良犬対策をしてほしい（野良に餌をやる人がいて住みついている）。(-、70代)
- ・ 町で支援している内容をわかりやすくしてほしい。把握できていない町民がたくさんいるため。（男性、40代）